

令和7年度

むつ市教育委員会の事務の  
点検及び評価に関する報告書

—令和6年度の実績—

むつ市教育委員会

## まえがき

むつ市教育委員会では、令和4年9月に第2期「むつ市教育大綱」を策定し、【学校教育の充実】、【社会教育の充実】の2つの柱を機軸に据えて、未来を担う子どもたちが高い自己肯定感を持ち、他者を尊重し、「生きる力」を育むことを教育方針に掲げ、むつ市の子どもたちの未来のために各種教育施策の充実に努めております。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされております。

むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を充実させ、着実にむつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

むつ市教育委員会では、この点検・評価の結果を今後の事務事業に活かし、むつ市の教育施策の推進に努めてまいります。

令和7年8月

むつ市教育委員会

# 目 次

◇点検・評価に当たって	1
◇むつ市教育大綱の概要	3
◇令和6年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要	5
◇むつ市教育大綱における各施策項目ごとの評価	7
◇具体的な取組の点検・評価	
<b>1 総務課</b>	
(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備	9
(2) 教職員の適正・適切な配置	15
(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編	15
(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討	16
(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	16
(6) コミュニティ・スクール制度の推進	18
(7) 奨学金制度の充実	19
(8) 学校保健の充実	20
(9) 学校給食の充実	24
(10)教職員の働き方改革	28
<b>2 生涯学習課</b>	
(1) 生涯学習の推進	29
(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	31
(3) 社会教育施設の機能充実	32
(4) 芸術・文化活動の奨励と振興	34
(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	35
<b>3 学校教育課</b>	
(1) 質の高い教育課程の創造	43
(2) 学力向上対策の充実	46
(3) ICTを活用した教育活動の充実	48
(4) 教育研修センター講座等の充実	50
(5) 幼・保・小連携及び小中一貫教育の充実	50
(6) 大学との連携強化	51
(7) 健康教育・安全教育の充実	53
(8) キャリア教育の充実	53
(9) 特別支援教育体制の充実	55
(10)国際化に対応する教育と郷土に対する 愛着と誇りを涵養する教育の推進	57

(11)生徒指導の充実と関係機関との連携強化	6 0
(12)教育相談体制の充実	6 1
<b>4 公民館(中央、川内、大畑、脇野沢)</b>	
(1) 公民館の適正管理と運営の充実	6 3
(2) 公民館事業の推進	6 5
(3) 社会教育関係団体等の育成支援	6 9
(4) 生涯学習関連機関等との連携促進	7 1
<b>5 図書館</b>	
(1) 図書館の適正管理	7 3
(2) 資料の収集・保存と活用	7 3
(3) 図書館サービス活動の充実	7 6
(4) 子供の読書活動の推進	7 9
(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進	8 1
<b>6 地域クラブ企画推進課</b>	
(1) クラブの運営	8 3
 ◇点検・評価対象事務事業一覧	 8 5

## ◇ 点検・評価に当たって

### 1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育大綱事業実施計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

#### (2) 点検・評価の対象

令和6年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために令和5年度に実施した具体的な取組を点検対象として、その点検結果を踏まえ、事業ごとに評価を行います。

#### (3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等からなる「点検・評価アドバイザー」に参集いただいた上で、その実施方法や内容について助言・指導をいただきました。

### 3 報告書の構成

(1) 教育大綱の基本方針ごとの評価は、各事業の成果や評価を踏まえて評価をしていません。

#### (2) 全体構成

報告書は〔1 総務課〕、〔2 生涯学習課〕、〔3 学校教育課〕、〔4 公民館〕、〔5 図書館〕、〔6 地域クラブ企画推進課〕の施策ごとに構成しています。

#### (3) 重点項目の点検（令和6年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

#### (4) 具体的な取り組み（事業）の評価（点検結果を踏まえた評価）

具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、評価・課題等を確認しています。

### 4 点検・評価アドバイザー会議の概要

#### (1) 令和7年度点検・評価アドバイザー（50音順、敬称略）

氏名	団体・役職
金 澤 寿々子	元むつ市教育部長
坂 部 大 介	むつ市連合PTA会長
和 田 正 顕	元田名部中学校長

## (2) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

期日 令和7年7月29日(火)

- <内容>
- ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
  - ・点検及び評価の実施方法に関する意見について
  - ・説明担当課：総務課、生涯学習課、地域クラブ企画推進課、学校教育課、公民館、図書館

## (3) アドバイザーからの主な意見

### ○報告書のつくり(表記など)に関して

- ・各事業について、できるだけわかりやすく記載していただきたい。
- ・事務事業を効果的に進めていくという観点から、できるだけ成果をデータで示していただきたい。

### ○事業に関して(概要)

#### P33 むつ市下北自然の家の管理・運営

現在の利用状況から難しいと思われるが、施設を一部改修等することによる事業継続等の検討はされたのか。また、地域の自然を活かした活動ができるような取組について検討していただきたい。

#### P46 学校支援員配置事業

県事業でのスクールサポートスタッフの配置において、複数校を兼務するケースもあるとのことなので、市としての支援員配置事業を継続してもよいのではないか。

#### P61「新たな学びの場」検証事業

メタバースは新たな取組のため、見えない部分も多いと思われるが、やはり、在籍している学校に登校できることが望ましいと考えられる。子どもたちが、メタバースを利用しなくても良いように教育活動が展開されることを期待する。

#### P83 地域の文化・スポーツクラブ推進事業

特にスポーツクラブでのケガ等への対応において、マネージャーの負担が大きくないか。指導者とも連携しての研修会等が必要である。

また、指導者の中には言葉使い等が厳しい方もいるようなので、コンプライアンス的な部分での研修会も開催していただきたい。

### 事業全般について

教育大綱の柱である学校教育と社会教育の充実に向けて、事業が実施されていることが感じられた。現在、働き方改革を始めとする様々な社会的課題の解決に向けた過渡期にあるが、子育てしやすい環境づくり、学びがい・働きがいのある学校づくり、生きがいとなる学びの場づくりに向けて、必要な施策や事業が着実に展開されることを願うとともに、今後も人に優しい教育行政を推進していただきたい。

## ◇むつ市教育大綱の概要

### 1. 学校教育の充実

#### (1) 学力の向上

##### ①明確な目標設定

「むつ市教育プラン」に具体的な数値目標を定め、授業改善とICTの活用を推進し、全国トップクラスの学力の育成に努めます。

##### ②教員の資質向上

新たな課題にも適切に対応できる多様な専門性を持った教職員の育成に資するよう、キャリアステージに応じた学校内外での研修の充実に努めます。

##### ③主体的な学習の推進

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け多様な学習活動に取り組みます。

##### ④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進

新入学児童への相談体制の充実やスタートカリキュラムの導入、小中一貫教育の推進、志高く高等教育機関への進学を希望する生徒を支援します。

#### (2) 体育・健康教育の充実

##### ①健康な体を育む学校づくり

健康についての正しい知識を身に付けさせ、自ら健康な生活を実践する能力や態度を育てます。

##### ②安全・防災教育の推進

起こりうる危険を予測し、子供たちが自ら安全に関する情報をもとに正しく判断して、いかなる状況においても、身を守る行動ができるような資質・能力を育てます。

#### (3) 夢を育む教育

##### ①キャリア教育の充実

自分の生き方について自覚を深め、急速な社会の変化に適切に対応するため、キャリア教育のさらなる充実に努めます。

##### ②特別支援教育の充実

個々の能力や適性に応じたきめ細かい指導・支援を更に充実させるとともに、就学前における早期の相談を実施するなど教育相談体制の充実に努めます。

##### ③豊かな心の育成

他者への思いやりなど豊かな心の育成に努めるとともに、一人ひとりの状況に合わせた支援ができるよう、教育相談体制と生徒指導の充実に努めます。

##### ④高等教育機関との連携

高等教育機関と連携し、市内における教育機会の充実に努め、地域の将来を担う人材育成を図ります。

#### (4) 地域とともにある学校

##### ①ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育

文化財や伝統芸能、ジオパークなどの地域資源について学び、知識を得ることができるよう学習機会の提供を推進します。

## ②コミュニティ・スクールの推進

コミュニティ・スクール機能を生かした特色ある学校づくり、地域づくりを図ります。

## 2. 社会教育の充実

### (1) 社会教育・文化の充実と文化財の保存活用

#### ①スポーツ活動の推進

むつ市版総合型スポーツクラブを創設し、スポーツ活動の推進、中学校部活動の地域移行を図ります。

##### 【主な事業と目標】

ア 中学校運動部活動の地域移行を図るため、総合型地域文化・スポーツクラブの創設に向けて、関係機関との協議や意見交換を進めます。

#### ②生涯を通じた学びの推進

人生100年時代を見据えた「いつでも、どこでも、何度でも、誰でも」学べる環境整備と学習機会の提供を図ります。

##### 【主な事業と目標】

ア 青少年教育、成人教育等、各年齢に応じた事業を、参加者の満足度が80%以上となるよう、テーマや開催方法を工夫して実施できるよう努めます。

イ 図書館の貸し出し点数が増加していくよう、周知等のイベントやPRに努めます。

#### ③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成

むつ市地域学校協働本部を設置し、地域住民が学校と協働して、子供を取り巻く課題を共有するとともに、様々な活動を通して子供たちの交流の促進を図る等環境づくりを推進します。

また、社会教育の推進にあたり、地域の指導者等の人材育成に努めます。

#### ④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実

文化財の活用を通して郷土愛の醸成を図ります。

また、文化・芸術に触れる機会の創出に努めるとともに、中学校文化部活動について、スポーツ部活動と方向性を合わせ、地域移行を推進します。

### (2) 変化に対応できる人材の育成

#### ①持続的発展のための人材の育成

高等教育機関との連携し、講習受講履歴の適正な評価及び指導者・リーダーの育成のあり方を研究やリモート学習やICTを活用など、社会の変化に対応した学び方を推進します。

#### ②社会人の学び直しの推進

社会が大きく変わる中で、求められる能力を身につけるため、リカレント教育等を受けられるよう企業や高等教育機関と協議して、持続可能な社会の創り手を育成するための研究を行います。

## ◇令和6年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要

この「むつ市教育大綱事業実施計画」は、「むつ市教育大綱」に示した理念を実現するために、大綱の趣旨に沿って教育委員会で実施する事業の具体的な実施計画となります。また、子どもたちを育む家庭、学校、地域社会に期待される役割を明らかにし、事業を計画・実施するための基本的な指針としていきます。

計画には、各所属において毎年度の予算に基づき実施する事業を明記し、当該年度において着実に実施するとともに、実施した事業について毎年度検証及び評価を行い、子どもたちにとってよりよい施策となるよう努めるものとします。

### 【各所属における重点項目】

#### 1. 総務課

子どもが豊かな心を持ち、自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を育成するための教育環境の整備を推進する。また、活力ある学校教育を推進するため、教職員の適切な配置を図るとともに、その他教育環境の整備と保健衛生及び学校給食の充実を図る。

- (1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備
- (2) 教職員の適正・適切な配置
- (3) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (4) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (6) コミュニティ・スクール制度の推進
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実
- (10) 教職員の働き方改革の推進

#### 2. 生涯学習課

社会教育では、地域学校協働本部において、学校と地域との連携・協働を強化し、様々な活動を通して子どもたちが自主的に活動できる学びの場を提供する。

文化財については、既存の施設において適正な保存に努めるとともに、収蔵品の活用を図りながら文化財に親しむ機会の充実に努める。

子どもから大人までが一層文化活動に親しめる環境を整備する。

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進
- (3) 社会教育施設の機能充実
- (4) 文化・芸術活動の奨励と振興
- (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

#### 3. 学校教育課

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するために、校長の強力なリーダーシップのもと、「教育は人づくり」という視点に立ち、全教職員が協働して特色ある学

校運営を図り、「郷土に根ざし、生きる力と夢をはぐくむ」学校教育の推進に努める。

- (1) 質の高い教育課程の創造
- (2) 学力向上対策の充実
- (3) ICTを活用した教育活動の充実
- (4) 教育研修センター講座等の充実
- (5) 幼・保・小連携及び小中一貫教育の充実
- (6) 大学との連携強化
- (7) 健康教育・安全教育の充実
- (8) キャリア教育の充実
- (9) 特別支援教育体制の充実
- (10) 国際化に対応する教育と郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- (11) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (12) 教育相談活動の充実

#### 4. 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

市民の最も身近な生涯学習施設として、学習活動の支援や豊かな地域づくり・人づくりのため、公民館活動の充実に努める。

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育関係団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連機関等との連携促進

#### 5. 図書館

市内全域の読書環境の保全に努めるとともに、多種多様な資料や情報等の積極的な収集・整備による読書活動の拠点として図書館機能の充実を図り、地域の教育・文化の向上発展に寄与する。

- (1) 図書館の適正管理
- (2) 資料の収集・保存と活用
- (3) 図書館サービス活動の充実
- (4) 子どもの読書活動の推進
- (5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進

#### 6. 地域クラブ企画推進課

中学生の文化・スポーツ活動の選択肢を拡充し、生徒一人ひとりの充実した放課後活動を確保するため、むつ市地域文化・スポーツクラブ「むつ☆かつ」を運営主体としながら、中学校部活動の段階的な地域移行を図る。

最終的には、子どもから大人までが、いつでも、だれでも、いつまでも文化・スポーツ活動を楽しむことができる社会の実現を目指し、総合型地域文化・スポーツクラブを設置する。

- (1) クラブの運営

## ◇むつ市教育大綱における各施策項目ごとの評価

### 重点項目 1. 学校教育の充実

#### 施策項目(1) 学力の向上

各種学力調査については、全国学力・学習状況調査では、小学校6年生・中学校3年生ともすべての教科で全国を下回る平均正答率となった。しかし、県との比較では中学校3年生においては、国語は同値、数学では+1ポイントであり、全国との比較でも、数学において令和5年度からの差は大きく縮まった（令和5年度：-7.0ポイント⇒令和6年度：-1.5ポイント）。このことは、各校の地道な指導をはじめ、学校教育課の取組である「むつ市総合学力調査の結果返却の工夫」「学力向上に向けた協議会の開催」「日常ミニ訪問」等による成果が、少しずつ表れてきたことによるものと考えられる。

また、ICTに関する取組においても、「ロイロノートの活用推進」「電子黒板等の配備」「AIドリルの導入」等の事業により、児童生徒及び教員のICT環境を整えることができた。

しかし、成果が見られている一方で、他の学力調査の結果では課題が見られている教科もある。よって、次年度も「授業が分かる」「授業が楽しい」と子どもたちが思えるよう日々の授業改善を進めることができるよう学校を支援し、学習意欲の向上につなげていく。

#### 施策項目(2) 体育・健康教育の充実

各校では、新体力テスト等の結果をもとに、教科体育や業間活動において多様な運動場を設定している取組により、項目によっては国や県を上回るものもあった。今後も、運動する機会を計画的に設定したり、外遊びの励行等により、日頃から体を動かす活動を意図的に取り入れていくよう引き続き各校に周知していく。

弘前大学大学院医学研究科附属健康未来イノベーションセンターや青森県医師会附属健やか力推進センターの協力のもと実施している「『健康の未来』を変えるプロジェクト授業」では、今年度は3校において実施した。そして、測定・結果・健康教育までを実施する「QOL健診」の内容を取り入れたことにより、子どもたちが自身の健康状態をもとに日常生活を見直し、家庭にも健康の大切さを伝えていく取組を展開することができた。

安全・防災に関する取組としては、令和5年度に改定した学校危機管理マニュアルの活用について、学校訪問等の機会に改めて周知し、認識を深めてもらうことができた。

#### 施策項目(3) 夢を育む教育

令和6年度において、「児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業」を活用した学校は8校であり、どの学校からも事業の効果があり、今後の事業継続を要望する報告が寄せられた。令和8年度に向けた検討事項としては、各校の希望制としている本事業を市内全小中学校を対象とした計画に修正し、より多くの児童生徒への支援ができるようにしていく予定である。また、特別支援教育や生徒指導における教育的ニーズに応じた指導・支援の充実や、キャリア教育等の推進も含めて、児童生徒が夢や志をもって自らの将来を切り開いていこうとする意欲を高めることができるよう努めていく。

## 施策項目(4) 地域とともにある学校

各学校では、学校運営協議会を適切に開催し、保護者や地域の意見を踏まえた学校運営に取り組んでおり、活動内容について、各校とも前向きな評価をいただいていることから、引き続き、学校経営方針を共有し、地域に開かれた学校を目指していく。

地域の資源を学校活動に取り入れていくことに関しては、ジオパークを活用した学習が根付いてきたところであるが、令和6年度は、本市においてジオパーク全国大会が開催され、多くの学校がステージ発表をするなど、これまでの活動の成果を示すことができた。

今回の全国大会が大変好評であったことは、児童生徒にも大きな自信を与える結果になったととらえており、引き続き、地域の資源を学習活動に生かしていきたい。

また、郷土芸能などについても、地域の協力を得ながら積極的に活用するなど、郷土を愛する心情の育成に努めていく。

## 重点項目2. 社会教育の充実

### 施策項目(1) 社会教育・文化の充実と文化財の保存活用

社会教育について、従来から実施している市民大学などの成人教育は、参加者数が減少傾向にあるが、継続要望もあることから、引き続き魅力ある事業実施を検討していく。一方で、少子高齢化、国際化、IT化など、社会教育法の制定時とは、世界が大きく変容していることから、自治体の社会教育について、公民館施設の在り方なども含めて根本的に見直すことも検討する必要がある。

文化財に関して、旧大湊水源地水道施設の修理事業が完了に近づいており、今後の保存と活用について検討する必要がある。

また、文化財収蔵庫に保存している文化財については、可能な範囲で展示などに努めている。人的資源が不足していることから、多くの見学機会を設けることができないのが実情であるが、取組を継続することで、市民が文化財の価値を認識し、それを守り、次世代に継承していく機運の醸成を図りたい。

地域文化に関して、令和6年3月に「むつ市伝統行事及び民俗芸能の継承発展に関する条例」を制定したところであるが、伝統行事及び民俗芸能を主催する団体、事業者、市民、そして行政がそれぞれの役割を果たすことで、郷土愛が育まれるとともに、地域コミュニティの形成に資するよう取り組んでいく。

地域学校協働活動推進事業については、中学校、養護学校、高等学校の学校長からの相談も増え、地域の力が必要な学校運営業務について寄与することができた。

中学校部活動に関しては、地域移行の受け皿として「むつ市地域文化・スポーツクラブ（愛称：むつ☆かつ）」を設立し、取組を展開してきたところである。

概ね、計画どおりに進行しており、令和7年度に地域移行が完了する見込みであるが、持続可能な取組にするべく、今後の体制づくりを進めていく。

### 施策項目(2) 変化に対応できる人材の育成

青森大学と連携しむつキャンパスを会場に公開講座を開催したほか、中学校部活動の地域移行に関して、昭和大学メンタルヘルス研究所所長を講師に招き、指導者を対象とした研修会を開催することができた。本市内で、大学教授等から直接講義を受けることは、成人の学習意欲を大きく向上させるとともに、それぞれの社会における活動に生かされることとなるため、関係機関との連携に努め、当地域において学ぶ機会を提供できるよう取り組んでいく。

◇ 具体的な取組の点検・評価

1 総務課

■ 具体的な取組の評価 ■

(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備

事業名	スクールバス運行管理事業		
大綱施策	なし		
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスを運行する。		
計画	<p>○下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関根地区 (烏沢)</li> <li>・ 奥内地区 (大室平・金谷沢・中野沢)</li> <li>・ 大湊地区 (角違・城ヶ沢)</li> <li>・ 川内地区 (戸沢・蛸崎・湯野川)</li> <li>・ 大畑地区 (小目名・釣屋浜)</li> <li>・ 脇野沢地区 (九艘泊・小沢)</li> </ul> <p>※計画人数 : 141人</p>	実績・成果	<p>○事故等なく運行できた。 輸送実人数は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関根地区 : 27人</li> <li>・ 奥内地区 : 11人</li> <li>・ 大湊地区 : 18人</li> <li>・ 川内地区 : 43人</li> <li>・ 大畑地区 : 39人</li> <li>・ 脇野沢地区 : 7人</li> </ul> <p>合計 : 145人</p>
予算	<p>予算総額 106,631,123 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関根地区 9,312,600 円</li> <li>奥内地区 17,023,057 円</li> <li>大湊地区 13,370,742 円</li> <li>川内地区 31,677,809 円</li> <li>大畑地区 23,802,240 円</li> <li>脇野沢地区 11,444,675 円</li> </ul>	決算	<p>決算総額 104,328,532 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関根地区 8,945,640 円</li> <li>奥内地区 16,852,000 円</li> <li>大湊地区 13,081,332 円</li> <li>川内地区 31,350,000 円</li> <li>大畑地区 22,813,560 円</li> <li>脇野沢地区 11,286,000 円</li> </ul>
評価	対象地区に居住している児童生徒のフォローに対しては柔軟・迅速に対応できている。		
課題	児童生徒数の減少、中学校部活動地域移行といった教育環境の変化のほか、地域の運転手不足という社会状況を踏まえて、スクールバス（児童生徒の移動手段）を検討する必要がある。	今後の方針	児童生徒の減少に伴うバス停留所の適正配置について検討する。 令和7年度末に奥内小学校が、令和8年度末に近川中学校が閉校し、それぞれ第三田名部小学校、田名部中学校への統合を予定していることから、奥内地区における路線拡張に向けて、適正な路線の計画を検討する。

事業名	G I G Aスクール端末等購入事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	文部科学省のG I G Aスクール構想により整備したG I G Aスクール端末及びソフトウェアや周辺機器等の整備、更新を行う。		
計画	○故障Windowsタブレット代替機購入 ○令和6年度 300台更新予定	実績・成果	○更新台数 260台 ○青森県公立学校情報機器等整備事業費補助金対象事業
予算	予算総額 22,110,000 円 (内訳) 消耗品費 0 円 修繕費 0 円 委託料 0 円 備品購入費 22,110,000 円	決算	決算総額 15,821,520 円 (内訳) 消耗品費 0 円 修繕費 0 円 委託料 0 円 備品購入費 15,821,520 円 ※決算総額のうち8,447,000円は県補助金
評価	当初の計画では、児童生徒使用タブレットの更新のみを予定していたが、台数を見直した結果、予定より少ない台数で予備機も確保することができた。これにより、市内小中学校における学習用タブレットはChromebookへ統一され、教育の質の向上に繋がったと考えている。今後はGIGAスクール構想第二期に向け、適宜更新を実施していく。		
課題	膨大な端末を管理運用するための体制。端末の経年劣化等による更新に係る費用。更新後の端末処分に係る費用。	今後の方針	端末の管理運用及び経年劣化等による更新に努める。更新費用の平準化を図りながら、端末が十分に活用されるよう努める。

事業名	校務用パソコン等購入事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	経年劣化した校務用パソコン及び財務情報システム用パソコンを更新する。		
計画	○平成29年度、平成30年度に購入した校務用パソコンの更新。	実績・成果	○更新 小学校 60台 中学校 50台 合計 110台
予算	予算総額 17,364,000 円 (内訳) 使用料及び賃借料 46,000 円 (内訳) 備品購入費 17,364,000 円	決算	決算総額 14,197,700 円 (内訳) 使用料及び賃借料 0 円 (内訳) 備品購入費 14,197,700 円
評価	3か年計画での更新が完了し、教職員の校務の効率化に繋がったと考えている。今後は経年劣化等による故障台数が増加することが考えられるため、代替機等の対応が必要である。		
課題	故障発生時の対応。耐用年数を越える端末に係る費用。	今後の方針	端末の管理運用及び経年劣化等による更新に努める。

事業名	学校情報通信環境管理運営事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	市内小中学校のネットワークや端末等のICT環境の維持管理や、ICT環境の変化により業務負担が増加する教員の支援などを行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の通信回線の維持管理、モバイルルーターの維持管理</li> <li>○学校のICT環境の維持管理</li> <li>○教員の支援</li> <li>○ネットワークアセスメントの実施</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○18校分の通信回線の維持管理</li> <li>○特別教室用モバイルルーターの維持管理</li> <li>○Googleフォーム、ロイロノート等アプリの活用支援、定期訪問等によるヒアリングの実施</li> <li>○ネットワークアセスメントの結果、ネットワーク環境改善を実施</li> </ul>
予算	予算総額 53,100,000 円 (内訳) 消耗品費 222,000 円 役務費 5,748,000 円 委託料 42,690,000 円 使用料 0 円 備品購入費 4,440,000 円	決算	決算総額 47,609,343 円 (内訳) 消耗品費 196,654 円 役務費 5,513,238 円 委託料 37,644,805 円 使用料 0 円 備品購入費 4,254,646 円
評価	ICT環境の維持管理を継続して行うことができた。また、ネットワークアセスメントを行うことで現状の課題を可視化でき、学校情報ネットワーク環境改善に繋がった。これにより安定したネットワーク環境が提供でき、今後のICT教育の推進に繋がるものとする。		
課題	学校のデジタル化の進展に伴い、教員の支援の必要性が増している。	今後の方針	引き続き、ICT環境の維持管理を行う。また、教員の支援の拡充を検討する。

事業名	小学校整備事業（市立第二田名部小学校オイルタンク改修工事）		
大綱施策	なし		
概要	第二田名部小学校の地下オイルタンクが、消防法上の設置年数50年を経過しているため、地上タンクを新設する。		
計画	○オイルタンク新設	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R6.5.20 設計業務委託契約</li> <li>○R6.7.19 設計業務委託完了</li> <li>○R6.9.26 工事契約</li> <li>○R7.3.6 工事完成</li> </ul>
予算	予算総額 17,157,000 円 (内訳) 委託料 2,214,000 円 工事請負費 14,943,000 円	決算	決算総額 10,813,000 円 (内訳) 委託料 1,320,000 円 工事請負費 9,493,000 円
評価	予定どおりに事業を完了することができた。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら計画的に実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	小学校整備事業（市立第一田名部小学校駐車場整備工事）		
大綱施策	なし		
概要	第一田名部小学校には駐車場がなく、教職員は学校外周に、保護者の送迎時はグラウンド前に駐車している状態である。これを解消するため、現在使用されていないプール跡地を改修し駐車場を整備する。		
計画	○プール解体工事 ○駐車場新設工事	実績・成果	○R6. 12. 26 工事契約 ○R6. 3. 21 変更工事契約 (工期変更R7. 3. 28→R7. 9. 30) 前払金額 20,416,000円 残額R7通次繰越 30,624,000円
予算	予算額 0円 (内訳) 工事請負費 0円	決算	決算総額 20,416,000円 (内訳) 工事請負費 20,416,000円 (R7へ繰越 30,624,000円)
評価	照明器具の納期遅延及び、駐車場排水計画の見直しにより年度内での事業完了が見込めないことから、令和7年度への繰越とした。		
課題	学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	小学校冷房設備整備事業（ルームエアコン及びポータブルクーラー購入）		
大綱施策	なし		
概要	令和5年度夏、むつ市史上初の猛暑日を観測したほか、熱中症アラートの発令により休校措置が講じられたことから、児童の健康上の危険を回避し、安全な教育環境を確保するため、市内小学校の教室等に冷房設備（ルームエアコン及びポータブルクーラー）を購入するものである。		
計画	○ルームエアコン及びポータブルクーラーの購入 対象校 第一田名部、第二田名部、第三田名部、 苫生、大平、大湊、奥内、関根、大畑、 正津川、川内、脇野沢	実績・成果	○ルームエアコン 233台 ○ポータブルクーラー 143台 ○ウィンドクーラー 52台
予算	予算総額 183,500,000円 (内訳) 備品購入費 183,500,000円	決算	決算総額 152,899,340円 (内訳) 備品購入費 152,899,340円 (R7へ繰越 33,044,000円)
評価	納期遅延のため一部（大平、大畑）を令和7年度への繰越としたが、最終スケジュールである令和7年の夏までには終了の予定である。		
課題	学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	小学校環境整備事業（市立小学校トイレ改修工事）		
大綱施策	なし		
概要	各家庭において洋式トイレが広く普及しているなか、学校のトイレは和式が大半を占めており、数少ない洋式トイレに利用が集中している状況にある。これを解消し、快適な教育環境を確保するため、和式トイレの洋式化を行うものである。		
計画	○第一田名部小学校、第二田名部小学校、大平小学校、苫生小学校の和式トイレから洋式トイレへの改修	実績・成果	○R6. 10. 10工事契約（第一田名部小学校）（繰越） ○R6. 10. 3工事契約（第二田名部小学校）（繰越） ○R6. 9. 24工事契約（大平小学校）（繰越） ○R6. 10. 11工事契約（苫生小学校） ○R7. 3. 31工事完了（苫生小学校）
予算	予算額 0 円 (内訳) 工事請負費 0 円	決算	決算総額 83, 112, 000 円 (内訳) 工事請負費 83, 112, 000 円 (R7へ繰越67, 709, 000円)
評価	学校運営中の施工となることから、十分な施工時間の確保が難しいことや、資材の納品遅れにより予定どおりの事業完了が困難なため、一部を令和7年度への繰越とした。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	中学校整備事業（市立田名部中学校駐輪場設置工事）		
大綱施策	なし		
概要	田名部中学校には駐輪場のラックがないため、強風時などは頻繁に転倒し、自転車の破損が発生していた。これを解消するため駐輪場を整備し、併せて来客用の駐車場の整備を行うものである。		
計画	○駐輪場整備 480台分 ○駐車場整備 14台分	実績・成果	○R6. 12. 18 工事契約 ○R7. 3. 27 工事完成
予算	予算額 0 円 (内訳) 工事請負費 0 円	決算	決算総額 23, 243, 000 円 (内訳) 工事請負費 23, 243, 000 円
評価	予定どおりに事業が完了し、生徒の安全性の確保及び来校者の利便性の向上が図られた。		
課題	学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	中学校冷房設備整備事業（ルームエアコン及びポータブルクーラー購入）		
大綱施策	なし		
概要	令和5年度夏、むつ市史上初の猛暑日を観測したほか、熱中症アラートの発令により休校措置が講じられたことから、生徒の健康上の危険を回避し、安全な教育環境を確保するため、市内中学校の教室等に冷房設備（ルームエアコン及びポータブルクーラー）を購入するものである。		
計画	○ルームエアコン及びポータブルクーラーの購入 対象校 田名部、むつ、大平、大湊、近川、関根、大畑、川内、脇野沢	実績・成果	○ルームエアコン 142台 ○ポータブルクーラー 89台 ○ウィンドクーラー 26台
予算	予算総額 107,500,000 円 (内訳) 備品購入費 107,500,000 円	決算	決算総額 95,921,760 円 (内訳) 備品購入費 95,921,760 円 (R7へ繰越12,177,000円)
評価	納期遅延のため一部（大平）を令和7年度への繰越としたが、最終スケジュールである令和7年の夏までには終了の予定である。		
課題	学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	中学校環境整備事業（市立中学校トイレ改修工事）		
大綱施策	なし		
概要	各家庭において洋式トイレが広く普及しているなか、学校のトイレは和式が大半を占めており、数少ない洋式トイレに利用が集中している状況にある。これを解消し、快適な教育環境を確保するため、和式トイレの洋式化を行うものである。		
計画	○田名部中学校、むつ中学校、大平中学校の和式トイレから洋式トイレへの改修	実績・成果	○R6. 9.25工事契約（田名部中学校） ○R7. 3.17工事完了（田名部中学校） ○R6. 10.11工事契約（むつ中学校）（繰越） ○R6. 10.10工事契約（大平中学校）（繰越）
予算	予算額 0 円 (内訳) 工事請負費 0 円	決算	決算総額 105,093,000 円 (内訳) 工事請負費 105,093,000 円 (R7へ繰越63,812,000円)
評価	学校運営中の施工となることから、十分な施工時間の確保が難しいことや、資材の納品遅れにより予定どおりの事業完了が困難なため、一部を令和7年度への繰越とした。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

(2) 教職員の適正・適切な配置

事業名	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理		
大綱施策	なし		
概要	より良い学習環境を整備するため、適正な人事配置を要請するとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。		
計画	○県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を要請する。 ○代替教員の配置を適正に行うよう要請する。	実績・成果	○人事異動については、概ね適正な配置が行われた。 ○代替教員の配置については、人材が確保できず配置できない学校もあった。
予算	0 円	決算	0 円
評価	県の指導及び助言等に基づき、概ね適正な配置、管理等がなされているものと考えているが、代替人材の不足等により、一部において定数人員を確保できず、学校に負担が生じている状況にある。		
課題	通常学級において、個別の支援を要する児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。	今後の方針	引き続き、市のスクールサポーターによる対応の強化に努めていくほか、教科指導のできる教員の増員について、県教委へ要望していく。

(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名	むつ市通学区域審議会の設置		
大綱施策	なし		
概要	小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。		
計画	○必要に応じて行う	実績・成果	○なし
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	令和6年度において審議対象事案がなかった。		
課題	なし	今後の方針	現在、審議対象がなく、設置されていないが、審議対象が生じた場合設置する。

(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校規模適正化のための地域説明会等の開催				
大綱施策	1-(2)-②安全・防災教育の推進				
概要	よりよい教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。				
計画	○児童生徒の推移を注視し、統廃合等の必要性について検討する。	実績・	○奥内小学校及び近川中学校の統廃合に向けた説明会（学校運営協議会、保護者説明会、住民説明会）を実施		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円
評価	複数の説明会の実施及び保護者や地域の考えを確認しながら進めていった結果として、奥内小学校は令和7年度、近川中学校は令和8年度をもって、統廃合することとなった。				
課題	国の手引きが示す「複式学級が存在する」、「クラス替えができない」学校が、複数存在する。	今後の方針	令和7年4月1日に全部改正した「むつ市学校規模適正化に関する方針」に則って、また、今後の児童生徒数の動向にも留意しながら学校規模の在り方を検討していく。		

(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名	要保護児童生徒援助事業				
大綱施策	なし				
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して修学旅行費を給付し就学の援助を図る。（生活保護受給世帯）				
計画	○対象者：11人 ○支給額：910,000円	実績・	○対象者：11人 ○支給額：897,500円		
予算	予算総額	910,000 円	決算	決算総額	897,500 円
算	(内訳) 小学生(4名)	150,000 円	(内訳) 小学生(4名)	239,000 円	
	中学生(9名)	760,000 円	中学生(8名)	658,500 円	
評価	必要な児童生徒に援助することができる。				
課題	年度途中で要保護対象者となる場合があるため、生活福祉課との連携が必要となる。月例の異動報告は月末に一括しての報告となるため、生活保護認定のタイミングによっては就学支援制度認定まで時間差が生じる。	今後の方針	引き続き生活福祉課との連携をしっかりと行う。月例の異動報告だけではなく、随時の異動報告についても検討を実施する。		

事業名	準要保護児童生徒援助事業		
大綱施策	なし		
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を図る。(市民税所得割が非課税であるなど援助が必要と認められる方)		
計画	○対象者：402人 ○支給額：48,639,000円	実績・成果	○対象者：327人 ○支給額：37,481,121円
予算	予算総額 48,639,000 円 (内訳) 学用品費 7,435,000 円 新入学学用品費 5,754,000 円 修学旅行費 7,835,000 円 校外活動費 495,000 円 給食費 27,120,000 円	決算	決算総額 37,481,121 円 (内訳) 学用品費 6,005,316 円 新入学学用品費 3,574,000 円 修学旅行費 6,218,744 円 校外活動費 608,122 円 給食費 21,074,939 円
評価	必要な児童生徒に援助することができている。		
課題	認定基準の緩和や支給費目の拡大について要望する声がある。	今後の方針	市全体としての子育て施策の状況も踏まえ、就学援助制度の在り方について、財政部局とも協議の上、検討していく。

事業名	医療的ケア児童生徒就学支援事業		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	医療的ケアを必要とする児童生徒の健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るため、訪問看護師の派遣による専門的な処置を行う。		
計画	○対象者：2名 ○事業額：2,590,000円 ・週3日まで@5,550×120日×2名＝1,332,000円 ・週4日以降@6,550×80日×2名＝1,048,000円 ・延長料金(1日6時間)@5,200×3回×2名＝31,200円 ・緊急訪問看護加算@2,650×3日×2名＝15,900円	実績・成果	○対象者：3名 ○内容：血糖値測定及びインスリン注射 ○事業額：2,218,487円 ・週3日まで@5,550×264日＝1,465,200円 ・週4日以降@6,550×115日＝753,250円 ※対象児童3名は医師の指示書のもと血糖値測定とインスリン注射を行った。
予算	予算総額 2,590,000 円 (内訳) 面談報酬 78,000 円 面談費用弁償 84,000 円 訪問看護委託料 2,428,000 円	決算	決算総額 2,218,487 円 (内訳) 面談報酬 0 円 面談費用弁償 37 円 訪問看護委託料 2,218,450 円 ※決算総額のうち732,000円は国補助金
評価	対象児童の登校日に加え、遠足等の校外活動を行う日にも訪問看護を実施した。児童の体調面を考慮しつつ、児童が学習活動への参加ができた。		
課題	事例の蓄積がまだ少なく、宿泊を伴う校外活動等への対応の可否など、未検討の課題も多い。時間的・人力的な制約により、保護者や学校の要望に対応しきれないケースが出てくること懸念される。	今後の方針	児童生徒が安心して通える環境の整備を万全にするため、主治医・保護者・学校・訪問看護事業所・子育て支援課(学校休業日の学童保育における医療的ケア実施担当課)等関係者との連携を密にしながら実施していく。

事業名	特別支援教育就学奨励事業		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。		
計画	○対象者：148人 ○支給額：7,389,000円	実績・ 成果	○対象者：134人 ○支給額：6,630,932円
予算	予算総額 7,389,000 円 (内訳) 学用品費 1,084,000 円 新入学学用品費 821,000 円 修学旅行費 426,000 円 校外活動費 337,000 円 通学費 0 円 給食費 4,721,000 円	決算	決算総額 6,630,932 円 (内訳) 学用品費 971,255 円 新入学学用品費 698,095 円 修学旅行費 392,730 円 校外活動費 266,649 円 通学費 0 円 給食費 4,302,203 円
評価	特別支援学級在籍児童生徒の大半が支給対象（一部辞退者、所得による対象外あり）となっており、保護者の経済的な負担軽減に寄与している。		
課題	生活保護基準の見直しにより、対象者数が大きく変わる場合がある。 年度途中で入級する児童生徒の申請について、学校と連携して対応する必要がある。	今後の 方針	今後も対象者に対し適正に支給を行う。

#### (6) コミュニティ・スクール制度の推進

事業名	学校運営協議会の設置		
大綱施策	1-(4)-②コミュニティ・スクールの推進		
概要	地域住民、保護者及び教職員等を委員とする学校運営協議会を設置し、学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進する。		
計画	○学校運営協議会実施校 市内全校 ※合同で実施する地区も有り ○実施回数 各校（地区）3回程度を目安とする	実績・ 成果	○学校運営協議会実施校 市内全校 ・単一校実施 11校 ・地区実施 5地区（10校） ○実施回数 各校（地区） 合計50回実施
予算	予算総額 1,996,000 円 (内訳) 報酬 480,000 円 費用弁償 1,306,000 円 需用費 210,000 円	決算	決算総額 1,083,134 円 (内訳) 報酬 238,000 円 費用弁償 664,209 円 需用費 180,925 円
評価	授業参観や学校運営の現状についての情報提供・意見交換を主に行っており、学校運営協議会での意見を取り入れ、学校運営等の改善に向けて取り組んでいる。		
課題	学校及び地域関係者において「学校運営協議会」そのもののあり方、考え方に差があるため、制度の意義等に関し、更なる周知徹底を図っていく必要がある。	今後の 方針	各学校に対する制度の周知及び活用方法について検討し、併せて先進地区の優良事例等があれば共有する等、学校運営協議会の活性化を図り、よりよい学校運営を目指す。

(7) 奨学金制度の充実

事業名	奨学金貸付事業		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	当市に住所を有する者の子弟で高等学校又はそれと同等以上の学校に修学している者に対して、修学に必要な学費の一部を貸与し、人材の育成を図る。		
計画	○貸与 ・高校生：2,520,000円 (継続4人、新規10人 計14人) ・大学生等：38,160,000円 (継続66人、新規40人 計106人) ○返還 ・現年度分：34,650,000円 ・滞納分：17,032,000円	実績・成果	○貸与 ・高校生：1,260,000円 (継続4人、新規3人 計7人) ・大学生等：32,730,000円 (継続63人、新規31人 計94人) ○返還 ・現年度分：33,465,000円 ・繰上返還分：9,015,000円 ・滞納分：2,402,650円
予算	予算総額 78,204,000 円 (内訳) 委員報酬 59,000 円 費用弁償 104,000 円 需用費 12,000 円 役務費 33,000 円 委託料 184,000 円 貸付金 40,680,000 円 積立金 37,132,000 円	決算	決算総額 79,938,746 円 (内訳) 委員報酬 32,500 円 費用弁償 22,398 円 需用費 0 円 役務費 0 円 委託料 0 円 貸付金 33,990,000 円 積立金 45,893,848 円
評価	令和6年度は新規34名を含む101名への貸与を行った。新規で応募のあった者は、全員貸与対象者となった。		
課題	本奨学金はあくまで貸与型であり、貸与額も高校生で月額1万5千円、大学生等で月額3万円とやや少額であるが、無利子で返還しやすいこともあり、修学に係る経済的負担を軽減する制度の一つとして求められている。他の制度と併用している方が多いため、国や県、他自治体の動向を注視し、給付型奨学金の創設を含め奨学金制度の見直しについて調査研究していく必要がある。 経済的理由により進学を断念することがないように、市内の中学校及び高等学校の生徒や保護者、学校関係者に対して十分に制度を周知していく必要がある。	今後の方針	給付型奨学金の実施には新たな財源が必要となるため現状では難しい。他の制度と併せて検討し利用してもらえるよう、引き続き周知・運用していく。 加えて、国や県、他自治体等の多様な取組を参考に、進学を望む生徒たちのよりよい将来を考え、制度設計や運用について柔軟に検討していく。 また、業務の効率化のためシステムの導入についても検討を進める。

○貸与金 (単位：人、円)

区分	貸与者数	貸与額	
高校生	継続貸与者	4	720,000
	新規貸与者	3	540,000
大学生等	継続貸与者	63	21,570,000
	新規貸与者	31	11,160,000
合計	101	33,990,000	

○育英基金の状況

歳入	前年度末残高	187,201,143
	奨学金貸付金元金収入	44,882,650
	緊急支援金貸付金元金収入	1,005,000
	寄附金	0
	預金利息・運用利息	6,198
	今年度歳入合計	233,094,991
	今年度奨学金貸与貸付金	33,990,000
今年度末基金残高	199,104,991	

事業名	むつ市大学医学部修学助成金交付事業（未来人材育成奨学金プロジェクト）		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	市内の高等学校から大学に進学し、医学を履修する課程を修学する者に対し、修学上必要な学費の一部を助成し、将来医師となる人材を育成するとともに、市の医師不足の解消、明確な目的を持った学習による高校生の学力向上を図る。		
計画	○決定人数：5人 （継続4人、新規1人） ○助成金額：2,500,000円 （1人当たり500,000円）	実績・成果	○決定人数：4人 （継続4人、新規0人） ○助成金額：2,000,000円 （1人当たり500,000円）
予算	予算総額 2,500,000 円 （内訳）助成金 2,500,000 円	決算	決算総額 2,000,000 円 （内訳）助成金 2,000,000 円
評価	新規交付申請は無かったが、継続者への助成金交付を滞りなく実施した。		
課題	当市の医師不足の解消につなげることが本事業の趣旨の一つであるが、それが「しぼり」のように感じられ、学生の負担となるという市民からの指摘もあった。近年は申請のない状況が続いている。	今後の方針	申請実績に鑑みて令和7年度から新規募集を停止し、継続者が卒業（R10.3.31）後、本事業廃止予定。

#### （8）学校保健の充実

事業名	健康診断委託事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期に実施する。		
計画	○対象児童生徒数：3,454人 ○対象教職員数：300人	実績・成果	○受診児童生徒数：3,380人 ○受診教職員数：254人 ※未受診者は、個別に人間ドック等を受診
予算	予算総額 7,866,161 円 （内訳）委託料内訳 尿検査 690,800 円 心電図検査 1,650,000 円 貧血検査 491,502 円 教職員健診 4,828,150 円 教職員ストレスチェック 205,709 円	決算	決算総額 7,267,654 円 （内訳）委託料内訳 尿検査 676,000 円 心電図検査 2,152,000 円 貧血検査 458,348 円 教職員健診 3,775,300 円 教職員ストレスチェック 206,006 円
評価	教職員健康診断は毎年全4日間（内1日は脇野沢診療所）で実施しており、今年度も発熱等で受診できなかった人のために当初予定よりも2日追加し、希望者が受診できるようにした。海外赴任している教職員については、個別に病院と契約し、年度末までに健診を実施することができた。県費負担教職員及びスクールサポーター422人の内、教職員健康診断受診者数は254人、受診率は60.1%（ドック、ヤングヘルス等受診者を除く）。		
課題	教職員健康診断について、平日の早朝に実施後、通常勤務のため、体力的に厳しいという声が上がっている。そのため、夏休み等の実施を検討する必要がある。	今後の方針	教職員健康診断について、実施時期を青森県総合健診センターと相談の上、見直していく。

事業名	学校医委託事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るよう各種健康診断や健康相談業務を行うため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒400人以下 @226,000円×16人</li> <li>・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×10人</li> </ul> </li> <li>○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数500人以下 @224,000円×18人</li> <li>・児童生徒数501人以上 @291,200円×1人</li> </ul> </li> <li>○学校薬剤師 @157,000円×21人</li> <li>○産業医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> </ul> </li> <li>○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) <ul style="list-style-type: none"> <li>・眼科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>・眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> <li>・耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>・耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒400人以下 @226,000円×22人</li> <li>・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×4人</li> </ul> </li> <li>○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数500人以下 @224,000円×17人</li> <li>・児童生徒数501人以上 @291,200円×1人</li> </ul> </li> <li>○学校薬剤師 @157,000円×21人</li> <li>○産業医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> </ul> </li> <li>○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) <ul style="list-style-type: none"> <li>・眼科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>・眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> <li>・耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>・耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> </ul> </li> </ul>
予算	<p>予算総額 15,334,000 円</p> <p>(内訳) 委託料内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校医 6,554,000 円</li> <li>学校歯科医 4,323,200 円</li> <li>学校薬剤師 3,297,000 円</li> <li>産業医 360,000 円</li> <li>眼科耳鼻科医 800,000 円</li> </ul>	決算	<p>決算総額 14,703,400 円</p> <p>(内訳) 委託料内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校医 6,147,200 円</li> <li>学校歯科医 4,099,200 円</li> <li>学校薬剤師 3,297,000 円</li> <li>産業医 360,000 円</li> <li>眼科耳鼻科医 800,000 円</li> </ul>
評価	委嘱等も滞りなく行い、医師会等としっかりと連携がとれた。		
課題	令和7年度の地域保健協議会解散に伴い、医師等との委託契約方法を検討する必要がある。	今後の方針	医師会、歯科医師会、学校薬剤師会との契約で委託業務の実施が可能か協議を進める。

事業名	学校災害共済給付事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	保護者の同意を得て文部科学省が所管する日本スポーツ振興センターとの間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金(1人当たり) ・一般、準要保護：935円 ・要保護：55円	実績・成果	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金(加入者数：3,365人) ・一般：935円(市負担：475円) ・準要保護：935円(全額市負担) ・要保護：55円(全額市負担)  ○日本スポーツ振興センター災害共済 ・災害発生件数：194件 ・医療費給付額：1,490,901円
予算	予算総額 3,255,505 円 (内訳) 負担金内訳 一般、準要保護 3,229,490 円 要保護 2,640 円 転入者分 23,375 円	決算	決算総額 3,033,190 円 (内訳) 負担金内訳 一般 2,811,545 円 準要保護 218,550 円 要保護 2,160 円 転入者分 935 円
評価	学校管理下の災害に対して、日本スポーツ振興センターの災害共済に加入していることで、医療費を給付するものである。18歳未満の医療費無償化開始に伴いむつ市の財政負担が大きくなるため、学校災害に限り窓口負担のうへ4割給付の内1割は療養に要する費用としての加算分の申請をするよう周知が必要。現在、保護者では無く学校が主体となって病院との事務手続きを行っており、むつ市の子ども医療費給付事業と併用して窓口負担が無かったとしても加算分1割分が給付されるため、実際に制度を利用した保護者から好評を得た。認知度が低く、1回の通院で治療終了した児童へも利用の呼びかけが課題。		
課題	給付の請求漏れがないよう、保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の方針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

【参考】肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率

1. 令和5年度

	単位	小 学 校							中 学 校				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
男 子 むつ市	受検者数	173	173	192	208	208	202	1,156	244	193	226	663	
	軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	9	20	24	26	18	22	119	21	16	15	52	
	中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	8	10	13	24	26	21	102	26	13	14	53	
	高度肥満 (肥満度50%以上)	2	3	8	10	11	10	44	12	8	9	29	
	肥満計	19	33	45	60	55	53	265	59	37	38	134	
	肥満傾向児出現率	10.98	19.08	23.44	28.85	26.44	26.24	22.92	24.18	19.17	16.81	20.21	
	青森県肥満傾向児出現率	12.58	13.19	13.30	20.65	17.44	19.15		19.62	16.53	14.25		
	全国肥満傾向児出現率	5.03	7.36	9.87	12.20	13.30	13.05		13.50	11.93	10.48		
			小 学 校							中 学 校			
	女 子 むつ市	受検者数	174	200	158	178	203	185	1,098	208	189	206	603
軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)		15	10	12	13	16	16	82	15	12	9	36	
中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)		5	13	12	13	15	9	67	12	7	12	31	
高度肥満 (肥満度50%以上)		1	4	4	3	5	3	20	7	4	4	15	
肥満計		21	27	28	29	36	28	169	34	23	25	82	
肥満傾向児出現率		12.07	13.50	17.72	16.29	17.73	15.14	15.39	16.35	12.17	12.14	13.60	
青森県肥満傾向児出現率		9.00	9.92	12.82	11.82	11.88	15.12		12.83	10.35	9.29		
全国肥満傾向児出現率		4.71	7.31	8.58	9.82	9.02	9.70		9.33	8.50	7.64		

※出典：令和5年度学校保健統計調査、下北養護教諭会会誌「はまなす」

2. 令和6年度

	単位	小 学 校							中 学 校				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
男 子 むつ市	受検者数	170	174	167	185	204	205	1,105	211	246	193	650	
	軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	12	8	23	17	24	22	106	20	20	17	57	
	中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	6	14	9	19	20	24	92	23	19	11	53	
	高度肥満 (肥満度50%以上)	2	5	3	6	9	8	33	10	16	6	32	
	肥満計	20	27	35	42	53	54	231	53	55	34	142	
	肥満傾向児出現率	11.76	15.52	20.96	22.70	25.98	26.34	20.90	25.12	22.36	17.62	21.85	
	青森県肥満傾向児出現率	6.40	10.65	13.00	17.14	21.06	20.35		12.97	16.70	12.84		
	全国肥満傾向児出現率												
			小 学 校							中 学 校			
	女 子 むつ市	受検者数	174	169	197	158	180	206	1,084	187	207	191	585
軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)		8	12	22	12	13	15	82	14	9	10	33	
中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)		4	7	10	12	12	15	60	7	12	12	31	
高度肥満 (肥満度50%以上)		2	2	4	4	2	4	18	6	9	5	20	
肥満計		14	21	36	28	27	34	160	27	30	27	84	
肥満傾向児出現率		8.05	12.43	18.27	17.72	15.00	16.50	14.76	14.44	14.49	14.14	14.36	
青森県肥満傾向児出現率		7.37	7.68	13.57	13.77	12.02	16.07		15.27	12.66	10.28		
全国肥満傾向児出現率													

※出典：令和6年度学校保健統計調査、下北養護教諭会会誌「はまなす」作成用の統計データ

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、  
肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

事業名	学校災害入院補償事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	○入院日数別の補償金額及び想定件数 ・15日以下 : 10,000円× 8件 ・16日以上30日以下 : 20,000円× 2件	実績・成果	○入院日数別の補償金額及び想定件数 ・15日以下 : 10,000円× 2件 ・16日以上30日以下 : 20,000円× 0件
予算	予算総額 120,000 円 (内訳) 補償補填 120,000 円	決算	決算総額 20,000 円 (内訳) 補償補填 20,000 円
評価	滞りなく2件分の給付ができた。学校管理下における入院が伴う負傷件数は昨年より1件減少した。		
課題	給付の請求漏れがないよう保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の方針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

(9) 学校給食の充実

事業名	学校給食管理事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	共同調理場3施設、単独調理場9施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。		
計画	市直営の共同調理場2施設、単独調理場9施設の維持管理を行う。また、1共同調理場施設の調理・運搬業務を委託をする。市内小中学校21校に「安全・安心」な給食を提供する。	実績・成果	児童生徒への安全・安心な給食を提供するために、安全管理及び衛生管理に努めた。 また、調理員等の衛生管理の徹底を行い、食中毒等の発生予防を行った。
予算	予算総額 197,390,000 円 (内訳) 給料 71,368,000 円 職員手当 17,432,000 円 需用費 25,339,000 円 役務費 2,882,000 円 委託料 80,314,000 円 工事請負費 0 円 原材料費 0 円 負担金 40,000 円 公課費 15,000 円	決算	決算総額 200,151,726 円 (内訳) 給料 76,865,366 円 職員手当 16,968,814 円 需用費 24,275,129 円 役務費 2,658,277 円 委託料 79,329,640 円 工事請負費 0 円 原材料費 0 円 負担金 39,500 円 公課費 15,000 円
評価	「安全・安心」な給食を提供することができた。また、学校給食運営及び給食施設の維持管理を安全に行うことができた。		
課題	老朽化した調理施設では、衛生環境の維持に労力を要する状況となっている。 近年、食物アレルギーを有する児童生徒が増加傾向にある。	今後の方針	既存施設については、調理施設の機能維持に必要な修繕等を実施し、引き続き、食中毒等の事故防止に努める。 また、新たに稼働する防災食育センターでは、衛生管理基準に適合したアレルギー対応を適切に進める。

事業名	学校給食設備整備事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、耐用年数の超過した調理機器・用具の修繕又は購入をとおして調理環境の整備を図る。		
計画	○現有機器の修繕及び点検・調整等  ○老朽機器の更新	実績・成果	○現有機器の修繕及び点検・調整等・修繕（冷蔵庫修繕等） 13件 1,232,077円  ○老朽機器の更新（牛乳用冷蔵庫購入等） 8件 1,251,580円
予算	予算総額 3,544,000 円 (内訳) 需用費 1,201,000 円 役務費 88,000 円 備品購入費 2,255,000 円	決算	決算総額 2,526,887 円 (内訳) 需用費 1,232,077 円 役務費 43,230 円 備品購入費 1,251,580 円
評価	「安全・安心」な学校給食を提供するため、調理機器・用具の修繕等を行い、調理環境の整備が図られた。		
課題	既存施設は耐用年数が過ぎた機器が多いため故障が多く、修繕費が嵩む傾向にある。	今後の方針	既存の老朽化した調理機器等は適切に修繕を行い、修繕が不可能な機器は廃止した給食施設の使用可能な調理器具で代用することも含めた対応をしていく。

事業名	(仮称) 防災食育センター建設事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	平時は食育の推進及び高度な衛生管理による安全な学校給食を提供し、有事の際には防災機能を果たすことができる総合的施設を建設し、学校給食と防災両面の環境改善・向上を図る。		
計画	令和7年度供用開始に向け、本体建設工事と付随する工事監理、給食搬入に伴う給食搬入口改修工事等を行うほか、補助金申請にあたり東北防衛局との調整を行う。	実績・成果	○R5.5.16 補助金交付決定 ○R6.6.5 搬入口改修工事契約(大湊地区)(繰越) ○R6.6.7 搬入口改修工事契約(大平地区)(繰越) ○R6.6.12 搬入口改修工事契約(田名部地区)(繰越) ○R6.6.28 搬入口改修工事監理業務委託契約(繰越) ○R7.2.18 本体工事完成 ○R7.2.28 工事監理業務委託契約完了 ○R7.2.28 設計意図伝達業務委託契約完了 ○R7.4.24 補助金交付(R6単歳603,756,000円) ○R7.4.25 補助金交付(R5国債1,350,000,000円)工事請負費に充当 ○防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金対象事業(1,953,756,000円)工事請負費に充当 ○青森県核燃料物質等取扱税交付金対象事業(76,601,000円)備品購入費に充当 ○最終工事費(3,057,318,000円)

予 算	予算総額 3,079,148,000 円 (内訳) 旅 費 428,000 円 需 用 費 86,457,000 円 役 務 費 828,000 円 委 託 料 22,796,000 円 工事請負費 2,825,187,000 円 備品購入費 143,058,000 円 公 課 費 394,000 円	決 算	決算総額 2,910,964,019 円 (内訳) 旅 費 0 円 需 用 費 86,456,993 円 役 務 費 827,978 円 委 託 料 15,423,980 円 工事請負費 2,665,018,000 円 備品購入費 143,057,068 円 公 課 費 180,000 円
	評価		令和7年度供用開始に向け、スケジュールどおりに本体工事、備品購入は達成した。学校との調整の関係から一部工事（給食搬入口改修工事）は令和7年度への繰越とした。
課 題	一調理場として、これまでにない食数を扱うことと、配送範囲が拡大することから、より一層の食中毒発生や配送における事故防止、そして施設運営に支障が出ないように日々の業務を行わなければならない。	今後の 方針	学校、運営委託事業者、市との連携・情報共有を密にし、適切に学校給食を提供する。



むつ市防災食育センター

事業名	学校給食費無償化事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	子育て支援策の一環として、義務教育における保護者の負担を軽減するため、市内小・中学校の学校給食費の無償化を実施する。		
計画	令和6年10月から給食費の無償化を開始する。 ○小学校 12校 68,113,326円 単価 330円(大湊小340円) ○中学校 9校 39,814,425円 単価 350円	実績・成果	計画通り令和6年10月から給食費の無償化を実施した。 ○小学校 65,987,719円 単価 330円(大湊小340円) R6年12月以降 全校351円 ○中学校 38,220,111円 単価 350円 R6年12月以降 全校375円
予算	予算総額 107,928,000 円 (内訳) 補助金 107,928,000 円	決算	決算総額 104,207,830 円 (内訳) 補助金 104,207,830 円
評価	給食費の無償化を実施したことにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。		
課題	物価高騰による食材価格等の高騰により財政負担が増大することが懸念される。	今後の方針	県補助金の基準単価の引き上げ等の要望など財源の確保に努める。

事業名	給食弁当代替者支援事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	学校給食費の無償化に伴い、食物アレルギー等の事情で給食の提供を受けることができない児童生徒の家庭を支援するため、保護者による弁当対応の経費を補助する。		
計画	令和6年10月からの給食費無償化に合わせて開始する。 ○小学校対象者 1名 28,080円 単価 270円 ※牛乳は提供されているため、牛乳代のみ給食費無償化事業で負担。 弁当代替者補助金からは牛乳代70円を差し引きして支給。 ○中学校対象者 1名 36,750円 単価 350円	実績・成果	計画通り令和6年10月から実施した。 ○小学校対象者 1名 27,930円 単価 270円 R6年12月以降 281円 ○中学校対象者 1名 34,575円 単価 350円 R6年12月以降 375円
予算	予算総額 65,000 円 (内訳) 補助金 65,000 円	決算	決算総額 62,505 円 (内訳) 補助金 62,505 円
評価	保護者の経済的負担を軽減することができた。		
課題	補助金の手続きが児童生徒の出席状況等に応じた個別対応となる。	今後の方針	各学校と連携を密にして、事務に遺漏の無いよう努める。

(10) 教職員の働き方改革

事業名	校務支援システム導入事業		
大綱施策	なし		
概要	教職員の働き方改革への取り組みの一つとして、児童生徒の情報や成績に関する情報などを一元管理できる校務支援システムを導入する。		
計画	市内全小中学校に校務支援システムを導入する。	実績・成果	○R6.4～8 プロポーザルの実施 ○R6.8 仕様等打合せ ○R6.9 契約締結 ○R7.1 導入完了、研修実施、試験運用 ○R7.4～ 本格運用
予算	予算総額 14,556,000 円 (内訳) 委託料 14,556,000 円	決算	決算総額 14,555,420 円 (内訳) 委託料 14,555,420 円
評価	令和7年度からの運用開始に向けて、システムの導入及び研修を終えた。		
課題	県が方針を転換し、共同調達を進めることになったが、市で導入したシステムと異なるメーカーのシステムの導入を決定した。	今後の方針	基本的には、今回導入したシステムを使い続けるが、高校との連携や他自治体の動向も踏まえ、必要に応じて使用するシステムの検討をする。

事業名	時間外電話切替機導入事業		
大綱施策	なし		
概要	教職員の働き方改革への取り組みの一つとして、勤務時間外の電話応対を自動音声(応答メッセージ)に切り替える時間外電話切替機の導入を行う。		
計画	市内8校(小5、中3)に時間外電話切替機の導入を行う。また、市教委名での保護者へのお知らせや関係機関との調整を行う。	実績・成果	○R6.6～ 導入に向けた事前調査 ○R6.10 指名競争入札にて契約締結 ○R6.11～ 運用方針の検討、決定 ○R6.12 保護者へ通知、関係機関へ周知 ○R7.1～ 試験運用開始 ○R7.4～ 本格運用
予算	予算総額 2,068,000 円 (内訳) 委託料 2,068,000 円	決算	決算総額 1,749,000 円 (内訳) 委託料 1,749,000 円
評価	令和7年度からの運用開始に向けて、機器の設置及び運用方針を定めた。また、保護者への周知及び関係機関との調整も実施した。		
課題	切替の時間については、市内で統一したいという意見や学校の事情に応じて変更したいという意見があるため、市全体への導入に向けて、検討をする必要がある。	今後の方針	令和6年度に設置できなかった学校について、令和7年度で設置を完了させる。

■ 総務課の重点項目の総括評価 ■

<p>防災食育センターを予定通り年度内に完成させることができ、令和7年から給食を提供する体制を整備することができた。</p> <p>また、児童生徒の快適な学習環境を提供することを目的に整備している、教室へのエアコンの設置やトイレの洋式化などは、一部に遅延はあるもののほぼ予定どおり整備することができた。</p> <p>教員の働き方改革の推進では、校務支援システムの導入や時間外電話切替機の導入など教員が働きやすい環境の構築を図った。今後も教員が本来の業務である学習指導等に専念できるような働き方改革を推進していく。</p>
---

## 2 生涯学習課

### ■ 具体的な取組の評価 ■

#### (1) 生涯学習の推進

事業名	社会教育委員の設置																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																						
概要	社会教育法第15条1項の規定に基づき設置。社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる。生涯学習活動の充実を図る。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員定数 13人以内</li> <li>○任命期間 2年間</li> <li>○会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市社会教育委員会議</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会</li> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会</li> </ul> </li> <li>○団体構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会及び下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動する。</li> </ul> </li> <li>○研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上のため各種研修会へ参加する。</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員定数 12人</li> <li>○任命期間 令和5年10月1日～令和7年9月30日（2年間）</li> <li>○会議開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市社会教育委員会議 1回</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会 4回</li> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会 4回</li> </ul> </li> <li>○研修参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度東北地区社会教育研究大会・第54回青森県社会教育研究大会</li> <li>・下北地区社会教育研究会東通大会 各1回</li> </ul> </li> </ul>																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">637,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">384,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">203,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">39,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	637,000 円	(内訳) 報酬	384,000 円	費用弁償	203,000 円	消耗品	39,000 円	負担金	11,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">626,481 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">331,500 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">191,141 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">35,640 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">68,200 円</td> </tr> </table>	決算総額	626,481 円	(内訳) 報酬	331,500 円	費用弁償	191,141 円	消耗品	35,640 円	負担金	68,200 円
予算総額	637,000 円																						
(内訳) 報酬	384,000 円																						
費用弁償	203,000 円																						
消耗品	39,000 円																						
負担金	11,000 円																						
決算総額	626,481 円																						
(内訳) 報酬	331,500 円																						
費用弁償	191,141 円																						
消耗品	35,640 円																						
負担金	68,200 円																						
評価	令和6年度東北大会社会教育研究大会・第54回青森県社会教育研究大会（開催：青森市）に参加。多岐にわたるテーマが取り上げられ、それぞれの研究が深く掘り下げられており、今後の活動に大いに参考となった。																						
課題	社会教育委員の社会教育活動に対するスキルアップが必要である。	今後の方針	今後も会議や研究大会などへの参加を促し、委員活動への積極的な活動機会を提供する。																				

事業名	社会教育指導員による学習支援		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	社会教育指導員を配置し、社会教育活動の充実を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育指導員を1人配置</li> <li>・任期 令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年間）</li> <li>・地域学校協働活動本部の統括</li> <li>・社会教育団体に関する情報収集</li> <li>・自然観察学習会の企画、実施</li> <li>・学習相談への対応</li> <li>・「むつ市の教育行政」の作成</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育指導員の配置：1人</li> <li>・任期 令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年間）</li> <li>・地域学校協働活動本部の統括</li> <li>・地域学校協働活動全般の企画、実施 24件</li> <li>・社会教育団体に関する情報収集 4件</li> <li>・自然観察学習会の企画、実施 8件</li> <li>・学習相談への対応</li> <li>・「むつ市の社会教育行政」R6.6月発行</li> </ul>
予算	予算総額 2,410,000 円 (内訳) 報酬 1,886,000 円 職員手当等 346,000 円 費用弁償 178,000 円	決算	決算総額 2,583,847 円 (内訳) 報酬 2,030,394 円 職員手当等 399,853 円 費用弁償 153,600 円
評価	地域ニーズを把握するため、主催事業参加者からの聞き取りやアンケート調査を行っている。この結果を参考に事業内容を精査し、企画立案、実行していることで、社会教育活動の充実を図ることができた。		
課題	業務内容に多岐にわたる専門性が求められるとともに、人材育成能力も必要である。	今後の方針	可能な人員配置の中で、職員のスキルアップを図りながら、多様化している地域ニーズの把握に努め、企画立案等につなげる。また、社会教育に係る課題や活動を周知していく。

事業名	二十歳の集い		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	二十歳を迎える若者を祝福し、将来を担う市民としての自覚を促す。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象者（見込） 395人</li> <li>※平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれの市内在住及び市外在住の参加希望者</li> <li>○実行委員会制の導入</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和7年二十歳の集い</li> <li>・開催日 令和7年1月12日（日）</li> <li>・開催場所 下北文化会館</li> <li>・参加者 304人</li> <li>・実行委員会委員 6人</li> </ul>
予算	予算総額 806,000 円 (内訳) 報償費 90,000 円 費用弁償 16,000 円 消耗品 419,000 円 印刷製本費 133,000 円 食糧費 25,000 円 役員費 69,000 円 委託料 54,000 円	決算	決算総額 865,950 円 (内訳) 報償費 95,500 円 費用弁償 600 円 消耗品 511,100 円 印刷製本費 99,000 円 食糧費 35,120 円 役員費 70,840 円 委託料 53,790 円
評価	初めて二十歳の集い対象者で構成する実行委員会を組織した。方針の決定時期等に遅れが生じたものの、恩師からのビデオメッセージなどの新しい企画を実施し、大変好評であった。		
課題	実行委員会の運営において決定事項の変更等が周知されておらず、変更内容に対する準備期間を充分確保できなかった。	今後の方針	方針決定時期を早め、実行委員会と所管の役割の棲み分けを明確にした上で、所管案も提示しながら、スケジュールに遅れが生じないように調整していく。

(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進

事業名	地域学校協働活動推進事業																										
大綱施策	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成																										
概要	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域の魅力を学ぶための各種事業を実施し、地域との連携を図っていく。																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市地域学校協働本部運営委員会開催</li> <li>○地域学校協働本部の推進員等の登録事務配置の調整、事業実施</li> <li>○財源の負担割合（国、県各1/3、市1/3）</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営委員会：委員13人 会議開催3回</li> <li>○地域学校協働本部推進員等登録10人 任期：令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年間）</li> <li>○内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア 43回</li> <li>・こどもの学び応援隊育成研修会 1回</li> <li>・自然観察学習会 4回</li> <li>・地域講座 6回</li> <li>・大湊小学校こども教室 25回</li> <li>・脇野沢小学校こども教室 50回</li> <li>・音楽によるまちづくり事業2024 市内事業者への委託により実施</li> </ul> </li> </ul>																								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">7,953,000 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報償費</td> <td style="text-align: right;">2,501,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">301,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">322,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">305,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">4,524,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	7,953,000 円	（内訳） 報償費	2,501,000 円	費用弁償	301,000 円	需用費	322,000 円	役務費	305,000 円	委託料	4,524,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">6,656,893 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報償費</td> <td style="text-align: right;">1,865,308 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">191,967 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">245,805 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">185,913 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">4,167,900 円</td> </tr> </table> <p>※決算総額のうち1,885,000円は県補助金</p>	決算総額	6,656,893 円	（内訳） 報償費	1,865,308 円	費用弁償	191,967 円	需用費	245,805 円	役務費	185,913 円	委託料	4,167,900 円
予算総額	7,953,000 円																										
（内訳） 報償費	2,501,000 円																										
費用弁償	301,000 円																										
需用費	322,000 円																										
役務費	305,000 円																										
委託料	4,524,000 円																										
決算総額	6,656,893 円																										
（内訳） 報償費	1,865,308 円																										
費用弁償	191,967 円																										
需用費	245,805 円																										
役務費	185,913 円																										
委託料	4,167,900 円																										
評価	多様な学校種において支援活動を実施したことから、学校支援ボランティアの件数が大幅に増加した。また、地域の魅力を学び発信する各種事業は概ね好評である。																										
課題	一部のこども教室の活動がボードゲーム等に偏り事業の主旨である「多様な学びの機会の提供」に至っていないことがある。	今後の方針	推進員等の確保及びスキル向上のための研修を継続し事業の充実を図る。国、県との情報交換を密にしていく。																								

(3) 社会教育施設の機能充実

事業名	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	本施設は、川内地区の情報発信と豊かな自然にふれあいながら学ぶことを目的とした社会教育施設である。指定管理者制度を導入し、地域教育をはじめ地域と連携した事業展開を推進することで集客を図り、安定した施設運営を目指す。		
計画	<p>【指定（主催）事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貝殻の常設展示、企画展示</li> <li>・海の生物常設展示、企画展示</li> <li>・海や森の自然体験教室</li> <li>・冬の体験館祭り</li> </ul> <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子でイルカウォッチング</li> <li>・第3回むつ川内ホタテフェスティバル</li> <li>・かわうち・まりん・びーちクリーンアップ DAY2024</li> </ul>	実績・成果	<p>【指定管理者】</p> <p>NPO法人シェルフォレスト川内</p> <p>【指定管理期間】</p> <p>令和6年4月1日～令和9年3月31日</p> <p>【6年度中の施設利用者（人数）】</p> <p>12,010人</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>○常設展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山口和雄コレクション世界の貝」（世界の貝殻約100種） 3,036人</li> <li>・海の生きもの生態展示「下北の自然 むつ湾の生きもの」 3,036人</li> </ul> <p>○館外活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の体験館祭り（2/1） 1,000人</li> <li>・自然体験教室（6/8、10/13） 10人</li> </ul> <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子でイルカウォッチング（6/1） 28人</li> <li>・第3回むつ川内ホタテフェスティバル（6/23） 1,800人</li> <li>・かわうち・まりん・びーちクリーンアップ DAY2024（中止）</li> <li>・GOMA展KAWAUCHI（10/22～11/24） 2,590人</li> <li>・下北の海と海洋ゴミ企画展（12/4～22） 77人</li> <li>・イグルー作り体験 in 川内（1/25） 28人</li> </ul>
予算	<p>予算総額 9,921,000 円</p> <p>（内訳）委託料 9,921,000 円</p>	決算	<p>決算総額 10,296,100 円</p> <p>（内訳）委託料 9,921,000 円 需用費 375,100 円</p>
評価	自主事業でGOMA展が開催され、施設の認知度や地域の方々に広く施設の存在を知ってもらうことができた。		
課題	<p>蛍光灯及び水銀灯の製造中止に伴い、室内照明の交換が必要となる。</p> <p>また、施設の老朽化により設備等の不具合が目立つようになってきている。</p>	今後の方針	<p>今後も指定管理者と連携し利用者増に繋がる事業を目指す。</p> <p>照明設備の改修については、LED交換工事を行う。その他の設備改修については、川内庁舎と連動した修繕など効率的な対応を検討する。</p>

事業名	むつ市下北自然の家の管理・運営		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	本施設は、生涯学習の拠点として食事提供及び宿泊機能を備えた社会教育施設である。指定管理者制度を導入し、豊かな自然環境を活用し利用者のニーズに対応したサービスを提供する。		
計画	<p>【指定（主催）事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○四季を通して、様々な体験活動を楽しみながら、参加者同士や親子のふれあいを深めることを目的とする事業等</li> </ul> <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり事業</li> <li>○伝統体験事業</li> </ul> <p>【受入事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校や団体の受入れ（施設周辺の自然観察学習・体験学習）</li> </ul>	実績・成果	<p>【指定管理者】</p> <p>一般財団法人むつ市教育福祉振興会</p> <p>【指定管理期間】</p> <p>令和5年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>【施設の利用状況】（総数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体数 244団体</li> <li>・利用者実人数 4,605人</li> <li>・利用者延人数 6,043人</li> <li>・宿泊者人数 1,378人</li> </ul> <p>【指定（主催）事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング体験デイ(4/30、5/29) 16人</li> <li>・ツーリング体験(6/2) 28人</li> <li>・季節のイベント(7/27、9/28、1/25) 69人</li> <li>・ふれあい開放day(9/21、22、23) 50人</li> <li>・里山ふれあいウォッチング(4/11、10/24、2/13) 61人</li> <li>・黒森山登山(5/25、11/9) 36人</li> <li>・体感するジオパーク(4/25、10/31) 56人</li> <li>・冒険半島しもきた(8/6～9、1/9～11) 59人</li> <li>・チャレンジ宿泊3年生(10/12、13) 30人</li> </ul> <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり事業(5/16、11/21) 53人</li> <li>・ファミリーキャンプ(7/13、14) 28人</li> <li>・伝統体験(12/1、12/15、2/22～24) 107人</li> </ul> <p>【受入事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校や団体の受入れ 施設周辺の自然観察学習・体験学習 158件</li> </ul>
予算	<p>予算総額 91,261,000 円</p> <p>(内訳) 需用費 362,000 円</p> <p>委託料 89,934,000 円</p> <p>賃借料 76,000 円</p> <p>備品購入費 889,000 円</p>	決算	<p>決算総額 92,413,640 円</p> <p>(内訳) 需用費 237,600 円</p> <p>役務費 46,960 円</p> <p>委託料 91,207,000 円</p> <p>使用料 75,240 円</p> <p>備品購入費 846,840 円</p> <p>※決算総額のうち65,000,000円は国庫補助金</p>
評価	児童を対象とした宿泊事業は好評であるが、利用者延べ人数は年々減少しており、前年度比▲5.3%となっている。		
課題	利用者の減少に加え、多額の指定管理料と施設運営を継続した場合に必要な大規模改修が大きな課題である。	今後の方針	令和7年度をもって施設は廃止するが、自然体験事業実施の可能性のほか、施設の民間譲渡について検討していく。

(4) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示																		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																		
概要	むつ市表彰条例に基づき、むつ市において主に文化芸術分野で著しい功績をあげた方を文化及び文化奨励賞の対象者として選定、推薦し、審査会に諮る。 また、受賞者の功績を広く市民に紹介するため受賞者紹介展を開催する。																		
計画	むつ市の文化賞・文化奨励賞対象者を抽出選定し、推薦する。 また、受賞者が出た場合は受賞者紹介展を開催する。	実績・成果	○文化奨励賞対象者1名推薦・受賞 成田 昭大氏 ○文化奨励賞受賞者記念紹介展 ・期間 令和6年11月2日～10日 ・会場 北の防人大湊 式番館																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>74,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>45,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>23,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>6,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	74,000 円	(内訳) 報償費	45,000 円	消耗品費	23,000 円	役務費	6,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>45,074 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>35,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>10,074 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算総額	45,074 円	(内訳) 報償費	35,000 円	旅費	10,074 円	役務費	0 円
予算総額	74,000 円																		
(内訳) 報償費	45,000 円																		
消耗品費	23,000 円																		
役務費	6,000 円																		
決算総額	45,074 円																		
(内訳) 報償費	35,000 円																		
旅費	10,074 円																		
役務費	0 円																		
評価	文化賞の対象となる顕著な活動をした個人を選出・推薦し、受賞に繋げることができた。																		
課題	表彰対象者について、担当課だけの情報収集では厳しいことから、情報収集のあり方の検討が必要。	今後の方針	社会教育関係団体等から情報収集するなど、幅広く候補者の洗い出しを図る。																

事業名	東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室																
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																
概要	東京藝術大学（アドバイザー：佐野教授）の協力のもと、新進気鋭の若手演奏家を派遣いただき、小中学生の豊かな情操を育む。																
計画	○東京藝術大学出身の若手演奏家を市内小中学校に招聘し、鑑賞教室を開催。 音楽をとおして児童生徒と交流する。	実績・成果	○講師 ・大関 一成氏 (トロンボーン) ・松井 くるみ氏 (フルート) ・渡辺 友梨香氏 (ピアノ) ・山下 靖喬氏 (津軽三味線) ○開催日 ・令和6年7月9日～10日 ○開催校 ・川内小中学校、大湊小中学校														
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>432,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>132,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>300,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	432,000 円	(内訳) 報償費	132,000 円	旅費	300,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>389,674 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>120,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>267,160 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>2,514 円</td> </tr> </table>	決算総額	389,674 円	(内訳) 報償費	120,000 円	旅費	267,160 円	需用費	2,514 円
予算総額	432,000 円																
(内訳) 報償費	132,000 円																
旅費	300,000 円																
決算総額	389,674 円																
(内訳) 報償費	120,000 円																
旅費	267,160 円																
需用費	2,514 円																
評価	開催校の児童生徒からは、本事業をきっかけに、音楽や楽器に対して気づきや関心をもつことができたという感想が寄せられていることから、情操教育に寄与することができた。																
課題	学校区の地域の方も鑑賞できないか開催校との調整が必要。	今後の方針	地域の方も鑑賞いただけるよう、学校との調整及び所管の関係機関等を通じて周知を行う。														

(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名	むつ市の芸術、文化団体、民俗芸能の保存と伝承等支援事業		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	市内の芸術文化団体（23団体）で組織されたむつ市文化団体協議会の市民文化祭開催事業に補助金を交付し、芸術文化活動の振興を図る。民俗芸能の伝承団体等に対し、保存、伝承活動に関する助成金等の情報を提供し、活動を支援する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「市民文化祭」などの事業に対して活動費等の補助を行う。</li> <li>○民俗芸能の伝承団体に対し、保存、伝承活動に関わる補助及び助成金に関する情報を提供し、活動を支援する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第53回むつ市民文化祭参加人数3,069人</li> <li>○むつ市文化団体協議会補助金80,000円</li> <li>○文化芸術活動に対する共催・後援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共催承認 3件</li> <li>・後援承認 9件</li> </ul> </li> <li>○財団等助成金情報の提供 7件</li> </ul>
予算	予算総額 80,000 円 (内訳) 補助金 80,000 円	決算	決算総額 80,000 円 (内訳) 補助金 80,000 円
評価	第53回むつ市民文化祭については、活発な活動等に約3,069人の鑑賞者が訪れ、市民の心豊かな生活の実現に寄与している。また、民俗芸能伝承団体へは国、民間の助成金情報を提供し、保存団体等7件が活用することができた。		
課題	むつ市伝統行事及び民俗芸能の継承発展に関する条例については、本条例の理念とするところが市民等に浸透されていない。	今後の方針	課題解決にむけ、伝承団体等に対して助成金をはじめとし、周知活動を継続していく。

事業名	文化財・自然、その他調査事業		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	文化財の保護・保存・活用を目的に、各分野における調査・研究等を実施し、その成果を文化財調査報告として年度末に刊行する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎調査 5回</li> <li>・釜臥山周辺調査</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎調査 (5月、7月、9月、10月、2月) 5回</li> <li>・釜臥山周辺調査 (7月) 1回</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 1,169,000 円 (内訳) 報償費 315,000 円 費用弁償 20,000 円 消耗品費 30,000 円 印刷製本費 792,000 円 食糧費 12,000 円	決算	決算総額 118,266 円 (内訳) 報償費 0 円 費用弁償 0 円 消耗品費 19,778 円 印刷製本費 88,000 円 食糧費 10,488 円
評価	令和4年度に引き続き主に小学生の校外学習活動で行われている芦崎のジオ学習のため、芦崎の生息物ミニ図鑑を再刊した。芦崎調査報告書の刊行については、調査は実施できたものの事業の見直しが必要と思われることから、一旦取りやめることとした。		
課題	従来から、調査が天候に左右されやすいことに加えて、近年は熊出没の危険性が高くなっている。さらに、浚渫工事の実施もあり調査が難しくなっている。	今後の方針	調査が継続できるようにそのあり方を検討していく。また、芦崎調査報告書の発行間隔は調査状況やその成果により見定めていく。

事業名	文化財保護審議会の設置																																										
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																																										
概要	文化財保護法第190条第1項及びむつ市文化財保護条例第4条の規定に基づき、むつ市文化財保護審議会を設置し、当市における文化財の保存及び活用に資する。 また、下北地方文化財審議委員連絡協議会会員として、下北管内全域の文化財保護に資する。																																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員について <ul style="list-style-type: none"> <li>・定数 15人以内(現在12人)</li> <li>・任期 2年(令和5年12月1日～令和7年11月30日)</li> </ul> </li> <li>○会議の開催:年1回程度</li> <li>○下北地方文化財審議委員連絡協議会の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議委員は会員となっている</li> <li>・生涯学習課が下文審事務局</li> <li>・年1回の総会、年2回の研修会を開催</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市文化財保護審議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議開催日 4月18日</li> </ul> </li> <li>○委員委嘱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数 12人</li> <li>・期間 令和5年12月1日～令和7年11月30日(2年間)</li> </ul> </li> <li>○下北地方文化財審議委員連絡協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会、前期研修会開催日 5月28日</li> <li>・後期研修会開催日 10月15日</li> <li>・理事会開催日 4月18日、8月26日</li> </ul> </li> </ul>																																								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">679,000 円</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td></td> <td style="text-align: right;">358,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td></td> <td style="text-align: right;">292,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">12,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">17,000 円</td> <td></td> </tr> </table>	予算総額		679,000 円		(内訳) 報酬		358,000 円		費用弁償		292,000 円		需用費		12,000 円		負担金		17,000 円		決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">279,178 円</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td></td> <td style="text-align: right;">149,500 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td></td> <td style="text-align: right;">106,678 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">17,000 円</td> <td></td> </tr> </table>	決算総額		279,178 円		(内訳) 報酬		149,500 円		費用弁償		106,678 円		需用費		6,000 円		負担金		17,000 円	
予算総額		679,000 円																																									
(内訳) 報酬		358,000 円																																									
費用弁償		292,000 円																																									
需用費		12,000 円																																									
負担金		17,000 円																																									
決算総額		279,178 円																																									
(内訳) 報酬		149,500 円																																									
費用弁償		106,678 円																																									
需用費		6,000 円																																									
負担金		17,000 円																																									
評価	審議会開催に至る案件がなかったため、会議の開催回数は1回のみとなった。しかし、各審議委員がそれぞれの調査につき、相互に情報交換等を行いながら活動している。																																										
課題	下北地方文化財審議委員連絡協議会の事務局の負担が大きいため、本会の在り方については継続した協議をしていかなければならない。	今後の方針	審査委員の任期が満了となるため、次期委員の選定をおこなう。																																								

事業名	文化財収蔵庫の管理・運営		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	市内2ヶ所の文化財収蔵庫について、施設の管理と、収蔵品の適正な管理（収蔵品のデータ化作業、所在確認と清掃等）を行う。 むつ地区においては重要文化財指定品を収蔵しているため、施設管理人を配置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理人を1人配置。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ化作業 計測、写真撮影</li> <li>・施設管理</li> <li>・見学者対応他</li> </ul> </li> <li>○整理人夫による所在確認、清掃作業の実施</li> <li>○収蔵品の公開と活用</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理人（会計年度任用職員）1人</li> <li>・収蔵庫燻蒸</li> <li>・見学受入 <ul style="list-style-type: none"> <li>団体 2件</li> <li>個人 22人</li> </ul> </li> <li>・資料調査対応 5件</li> <li>・資料貸出 2件</li> <li>・画像提供 4件</li> <li>○整理作業実施 (14時間) 3人</li> <li>○収蔵品の紹介と活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度収蔵品展 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催期間 2月22日～3月2日</li> <li>開催場所 中央公民館</li> </ul> </li> <li>・地域講座「むつ市今昔物語」 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 11月12日</li> <li>開催場所 中央公民館</li> <li>参加人数 17人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
予算	<p>予算総額 5,144,000 円</p> <p>(内訳) 給料 105,000 円  消耗品費 140,000 円  電気料 2,307,000 円  上下水道料 165,000 円  役務費 306,000 円  委託料 2,121,000 円</p>	決算	<p>決算総額 4,899,764 円</p> <p>(内訳) 給料 87,258 円  消耗品費 135,710 円  電気料 2,195,259 円  上下水道料 162,471 円  役務費 290,666 円  委託料 2,028,400 円</p>
評価	収蔵品公開のための資料整理を進めており、現在は未整理品推定約20,000点のうち、進捗率は約17.1%。また、整理したものの一部を展示等に活用することができた。その他、6年ぶりに収蔵品の燻蒸を行うことができた。		
課題	収蔵品の受け入れ場所の確保、そのための環境整備が十分ではない。また、施設そのものの老朽化対策が必要である。その他、資料整理のための人員が足りないので検討しなければならない。	今後の	人員及び保管場所等について、関係各所と協議し検討していく。



関根小学校収蔵庫見学への対応



地域講座「むつ市今昔物語」での様子

事業名	北の防人大湊に関すること（ガイド活動支援等）																										
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																										
概要	水源池公園を中心とした北の防人大湊エリアの歴史や自然に親んでもらうためのガイドグループ活動を支援するとともに、スキルアップに繋がる研修等を実施する。																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイドスキルアップ講座の開講</li> <li>○ガイド活動団体の支援</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイドスキルアップ講座実施 3回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 7月19日</li> <li>場所 ニツ森貝塚</li> <li>内容 日頃の活動内容について</li> </ul> </li> <li>・ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 8月22日</li> <li>場所 安渡館</li> <li>内容 アナウンサーによる伝わる声づくり</li> </ul> </li> <li>・活動見学 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 10月18日</li> <li>場所 青森市街</li> <li>内容 街の魅力を発信するガイドの役割について</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ガイド活動団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動保険 17人分</li> <li>・活動必要品購入等</li> </ul> </li> <li>○学習活動への協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設等の案内</li> <li>・修復工事現場説明</li> <li>・大湊小学校6年生の総合的な学習の時間を利用したガイド講座への協力</li> </ul> </li> </ul>																								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">338,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">70,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">222,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">26,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	338,000 円	(内訳) 報償費	10,000 円	旅費	10,000 円	消耗品費	70,000 円	印刷製本費	222,000 円	役務費	26,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">299,118 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">7,440 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">114,858 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">143,880 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">22,940 円</td> </tr> </table>	決算総額	299,118 円	(内訳) 報償費	10,000 円	旅費	7,440 円	消耗品費	114,858 円	印刷製本費	143,880 円	役務費	22,940 円
予算総額	338,000 円																										
(内訳) 報償費	10,000 円																										
旅費	10,000 円																										
消耗品費	70,000 円																										
印刷製本費	222,000 円																										
役務費	26,000 円																										
決算総額	299,118 円																										
(内訳) 報償費	10,000 円																										
旅費	7,440 円																										
消耗品費	114,858 円																										
印刷製本費	143,880 円																										
役務費	22,940 円																										
評価	ワークショップでは、聞き取りやすい発声や文章を理解して話すためのポイント、腹式呼吸、滑舌訓練をアナウンサーから直接受けることができた。人に伝えるためのテクニックを学んだことはガイド活動のモチベーションを高めることにつながった。																										
課題	ガイドのスキルアップと高齢化を見据えた新たな人材の確保が必要である。	今後の	引き続きスキルアップのための講座を実施し、安定したガイド活動ができるよう支援する。																								



北の防人ボランティアガイド活動の様子

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業																																		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																																		
概要	遺跡(市内185ヶ所)における土木工事に対し、現場の事前確認や試掘などの予備調査を実施する。また、遺跡外であっても、大規模開発の場合には同様に予備調査を実施する。																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業者等の遺跡照会に対する窓口対応</li> <li>○遺跡内で土木工事等が行われる場合及び遺跡外でも大規模開発等が行われる場合の事前協議を実施</li> <li>○状況に応じて予備調査(現場確認、踏査、試掘確認調査等)を実施</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業者等による照会件数 87件</li> <li>○田名部館遺跡第4次調査(本調査)</li> <li>○工事立会 4件</li> </ul>																																
予算	<p>予算総額 4,274,000 円</p> <p>(内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>給料</td><td>1,215,000 円</td></tr> <tr><td>職員手当等</td><td>134,000 円</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>14,000 円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>229,000 円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>372,000 円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>60,000 円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>2,153,000 円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>97,000 円</td></tr> </table>	給料	1,215,000 円	職員手当等	134,000 円	報償費	14,000 円	旅費	229,000 円	需用費	372,000 円	役務費	60,000 円	委託料	2,153,000 円	賃借料	97,000 円	決算	<p>決算総額 1,513,609 円</p> <table border="0"> <tr><td>給料</td><td>769,086 円</td></tr> <tr><td>職員手当等</td><td>43,216 円</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>115,576 円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>200,731 円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>22,000 円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>363,000 円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>0 円</td></tr> </table>	給料	769,086 円	職員手当等	43,216 円	報償費	0 円	旅費	115,576 円	需用費	200,731 円	役務費	22,000 円	委託料	363,000 円	賃借料	0 円
給料	1,215,000 円																																		
職員手当等	134,000 円																																		
報償費	14,000 円																																		
旅費	229,000 円																																		
需用費	372,000 円																																		
役務費	60,000 円																																		
委託料	2,153,000 円																																		
賃借料	97,000 円																																		
給料	769,086 円																																		
職員手当等	43,216 円																																		
報償費	0 円																																		
旅費	115,576 円																																		
需用費	200,731 円																																		
役務費	22,000 円																																		
委託料	363,000 円																																		
賃借料	0 円																																		
評価	今年度当初、計画していた開発に伴う調査が、その後の協議結果により実施しない運びとなり、計画外の緊急案件も生じなかったため、予算上は余剰が生じている。出土遺物の基礎整理作業を進めたが、令和5年度に大量に出土した遺物に係る作業がまだ未完である。																																		
課題	遺物の基礎整理を踏まえた上で、作図等の報告書刊行まで漕ぎ着けることができていない。担当者がこれらの作業に携われる時間の確保が必要である。	今後の方針	人員確保を含め、十分な調査体制を整えられるよう関係各所と協議し検討していく。																																

事業名	文化財保護、保存管理事業		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	指定文化財及び天然記念物の保護や保存に努めるとともに、管理する施設(旧大湊水源地水道施設、むつ・川内地区文化財収蔵庫、壺番館等)の修繕や環境整備等を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財等施設管理 修繕、除草作業等の実施</li> <li>○啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財防火デー 1月26日 文化庁、消防庁が主唱する行事の実施</li> <li>・カモシカについては死体処理と、生体の場合は状況に応じて対応</li> <li>・ハクチョウについては大湊湾内を対応</li> </ul> </li> <li>○文化財パトロール(県事業)</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・壺番館他の除草作業の実施、侵入、防止杭の設置、砂利等整備</li> </ul> </li> <li>○啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財防火運動 防火デーの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 1月26日</li> <li>開催場所 常楽寺(むつ地区)</li> </ul> </li> <li>・下張り文書剥ぎ取りワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 5月9日</li> <li>開催場所 大畑公民館</li> <li>参加人数 7人</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○天然記念物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カモシカ死体処理 7件/13件(通報件数)</li> </ul> </li> <li>○文化財パトロール事業(県事業)</li> </ul>

予 算	予算総額	371,000 円	決 算	決算総額	252,538 円
	(内訳) 報 償 費	15,000 円		報 償 費	15,000 円
	旅 費	71,000 円		旅 費	141,040 円
	消 耗 品 費	30,000 円		消 耗 品 費	84,321 円
	燃 料 費	5,000 円		燃 料 費	3,014 円
	修 繕 料	90,000 円		修 繕 料	0 円
	委 託 料	110,000 円		委 託 料	0 円
	原 材 料 費	50,000 円		原 材 料 費	9,163 円
評 価	啓発活動の一つとして、文書資料に係るワークショップを開催。実習形式のため参加人数を絞らざるを得なかったが、専門家による指導の下、市民が自ら技術を学んでもらうことで今後の文化財保存への一助とすることができた。なお、その専門家により市指定文化財の屏風も調査して頂き、早急の修復が必要な状況であること等の指導も受けることができた。				
課 題	指定文化財をはじめとする当市内の文化遺産が失われないよう、修復や維持管理方法の改善等、様々な方策の検討が必要である。	今 後 の 方 針	民間が所有する文化財の修復に対する補助等を検討し、市民が文化遺産を守っていく機運の醸成を図る。		

事業名	重要文化財保存修理事業(二枚橋2遺跡出土品)				
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実				
概 要	平成24年9月に国の重要文化財に指定された「二枚橋2遺跡出土品」1,308点のうち、320点については、今後の保存活用のため令和12年度までかけて修復する。				
計 画	○専門業者に委託して修復業務を実施する。業務を進める際は、文化庁の指導監督を受け、当事担当者が立ち会う。修復予定320点のうち今年度は28点を修復する。 ・土製玉28点の修復 ・上記修復資料の一括保存台1点作製	実 績 ・ 成 果	○修復業務 ・鉢1点、土製玉28点の修復 ・土製玉の一括保存台1点作製 ・指導監督3回(開始前、中間、最終)		
予 算	予算総額	3,079,000 円	決 算	決算総額	3,077,313 円
	(内訳) 旅 費	319,000 円		(内訳) 旅 費	204,100 円
	需 用 費	10,000 円		需 用 費	63,813 円
	委 託 料	2,750,000 円		委 託 料	2,809,400 円
	※決算総額のうち1,538,000円は国庫補助額				
評 価	修復業務は順調に進んでいる。進捗率は320点中235点が終了し73.4%である。				
課 題	修復資料の見直しが必要である。	今 後 の 方 針	修復すべき資料の抽出を行う。		

事業名	重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地水道施設）		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	重要文化財である旧大湊水源地水道施設の修理事業を国庫補助金を活用し実施する。修理の期間は、平成28年度から令和7年度までと予定している。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保存修理事業の実施（国庫補助事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲水槽等保存修理工事</li> <li>・甲水槽等保存修理工事監理業務委託</li> <li>・第一引入口等保存修理工事</li> <li>・第一引入口等保存修理工事監理業務委託</li> <li>・文化庁調査官による現地指導</li> </ul> </li> <li>○修理専門委員会の開催</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保存修理事業の実施（国庫補助事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲水槽等保存修理工事</li> <li>・甲水槽等保存修理工事監理業務委託</li> <li>・第一引入口等保存修理工事</li> <li>・第一引入口等保存修理工事監理業務委託</li> <li>・文化庁調査官による現地指導</li> </ul> </li> <li>○修理専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地確認 1回（5月31日）</li> <li>・委員会開催 1回（10月3日）</li> </ul> </li> </ul>
予算	<p>予算総額 93,533,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 78,000 円</p> <p>旅費 523,000 円</p> <p>消耗品費 10,000 円</p> <p>委託料 13,429,000 円</p> <p>工事請負費 79,493,000 円</p>	決算	<p>決算総額 75,456,796 円</p> <p>(内訳) 報酬 65,000 円</p> <p>旅費 427,746 円</p> <p>消耗品費 0 円</p> <p>委託料 10,806,400 円</p> <p>工事請負費 64,157,650 円</p> <p>※決算総額のうち37,524,000円は国庫補助額</p> <p>※決算総額のうち33,800,000円は社会教育債</p>
評価	令和5・6年度の継続事業は無事終了した。令和6・7年度の事業においては、6年度実施分が冬期間に入ったことから翌年の7年度へ繰り越したが、7年度で事業完了できる見込みである。今後の進捗をしっかりと管理していく。		
課題	工事施行中に、埋設物が発見された場合、その修繕方法等の決定に時間を要するため工期延長が発生する可能性がある。	今後の方針	令和7年度で修理工事事業が完了する見込みであることから、市民の皆様が安心・安全に散策できるよう安全対策に係る検討を行う。



修理専門委員による視察



堰堤下流中央石積修理工事



石積み作業



児童による工事現場での石積み体験

### ■生涯学習課の重点項目の総括評価■

生涯学習の推進において、各種事業は概ね計画どおりに実施することができた。「二十歳の集い」は、初めて実行委員会を組織したが、当日の企画イベントについては好意的な意見が多く、全体として大変雰囲気の良い事業となった。文化遺産の保護及び保存と活用の取り組みは、時間を要するものの確実に調査研究は進められており、収蔵品の活用事業についても一定の評価を得ているものと感じている。一方で常設的に公開できる環境が整っていないことから、他施設の視察等で得た情報を検証し、特に重要文化財に指定されている出土品については、多くの人の目に触れる機会を作るよう研究を進める必要がある。

### 3 学校教育課

#### ■ 具体的な取組の状況 ■

##### (1) 質の高い教育課程の創造

事業名	むつ市学校教育プラン検証委員会開催		
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定		
概要	推進目標である「郷土を愛し、高い志を持って 主体的に未来を切り拓く人づくり」の達成に向けた取組状況等について検証する場を新たに設定する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「むつ市学校教育プラン」に対する取組状況等について、小・中学校校長、高等学校校長、幼保園関係者、PTA代表者等を招集して、「むつ市学校教育プラン検証委員会」を開催する。</li> <li>○児童生徒や教職員、保護者等を対象としたアンケートを実施する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市学校教育プラン検証委員会 ・令和7年1月28日(火)</li> <li>○アンケート調査 ・実施期間：10月 (児童生徒、教職員、保護者対象)</li> </ul>
予算	予算総額 84,000 円 (内訳) 報 酬 46,000 円 旅 費 38,000 円	決算	決算総額 64,410 円 (内訳) 報 酬 32,500 円 旅 費 31,910 円
評価	1月に「むつ市学校教育プラン検証委員会」を開催し、10月に実施したアンケート調査の結果を共有した。 アンケート調査のポジティブ評価は、児童生徒が83.4%、保護者が約73.7%、教員が93.4%であり、総集計としては83.8%であったため、目的は達成されたとと言える。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートや取組例などのほかにも、ホームページの充実なども含めて、様々な検証材料により、多面的・多角的に検討する必要がある。</li> </ul>	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に児童生徒・保護者・教職員へのアンケートを実施し、1月に検証委員会を開催して次年度の取組について協議を行う。結果については、学校へも送付し、次年度の取組に生かしてもらおう。</li> <li>・「めざす学校像」の実践例をまとめたものを資料とすることを検討する。</li> </ul>

事業名	指導の方針と重点に関する指導・支援事業		
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定		
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けた教育活動がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問により、むつ市学校教育の課題解決と各学校の教育目標の実現を支援する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明冊子を全教職員へ配付した。</li> <li>○学校訪問時の全体会において方針と重点の説明を行い、全教職員に直接要点を伝えることができた。</li> <li>○次年度に向けた説明会を、令和7年1月8日(水)に実施した。</li> </ul>
予算	予算総額 175,000 円 (内訳) 消耗品費 35,000 円 印刷製本費 138,000 円 材料費 2,000 円	決算	決算総額 164,644 円 (内訳) 消耗品費 27,144 円 印刷製本費 137,500 円 材料費 0 円

評 価	<p>○冊子「指導の方針と重点」については、4月初旬に市内小・中学校へ配付（持参）し、活用を依頼した。各校においては、各種事業をはじめ、講座内容や訪問要項等を随時確認するなど、年間を通じた活用が図られていた。</p> <p>○「指導の方針と重点」の内容については、以下の内容を計画訪問の全体会で教職員へ伝達し共通理解が図られた。各校においては、自校の校内研修や各小中一貫ブロックの取組にも活用した実践がなされていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの内容及び結果等について</li> <li>・各種学校訪問計画について</li> </ul>		
課題	<p>児童生徒の学力の実態に基づいて、各校の学力向上アクションプランに関する取組状況を把握し、工夫や好事例を周知する必要がある。</p>	<p>今後の方針</p>	<p>次年度は、説明会を開催せずに資料提供とすることにより、各校の参加者の負担軽減を図る。</p> <p>また、「指導の方針と重点」の冊子についても製本せずに、データによる提供に移行し、デジタル化を図る。</p>

事業名	児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	<p>児童生徒が高い志を持ち、夢の実現に向かうことができるよう、学校が学力向上等に資する新たな取組を行うことを支援する。また、教育委員会として必要な事業を実施する。</p>		
計画	<p>○各校の取組・キャリア講演会の支援 外部講師招聘に要する経費や、バス借上料等への支援</p> <p>○英検受験料補助 検定料の半額を補助（一人年1回）</p>	<p>実績・成果</p>	<p>○学校の取組支援 市内7小中学校の取組と、3中学校のキャリア講演会の実施を支援した。</p> <p>○英検受験料補助については、市内全中学校からの申込があった。申請率については65.8%であった。</p>
予算	<p>予算総額 5,595,000 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 310,000 円 旅 費 458,000 円 需 用 費 688,000 円 役 務 費 0 円 委 託 料 413,000 円 使用料及び賃借料 2,783,000 円 備品購入費 253,000 円 負担金補助及び交付金 690,000 円</p>	<p>決算</p>	<p>決算総額 4,172,758 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 107,500 円 旅 費 117,006 円 需 用 費 574,462 円 役 務 費 0 円 委 託 料 364,640 円 使用料及び賃借料 2,478,850 円 備品購入費 149,600 円 負担金補助及び交付金 380,700 円</p>

<p>評 価</p>	<p>○各校が取り組んだ事業名と事業の効果(報告書より)は以下のとおりである。</p> <p>①川内小・中学校 (Society5.0を力強く生き抜くためのスキルアップチャレンジ事業)          ・『夢の授業』では、自己肯定感の向上と共に、挑戦することの意義を学び、前向きな行動が多く見られた。また、大学訪問では高等教育機関の役割を理解し、進学や将来の職業選択に対する興味関心が高まった。</p> <p>②むつ中学校 (むつ中生みんなで応援・おもてなしボランティア)          ・県中学校駅伝大会でのボランティア活動において、出場チームから感謝されたり、生徒たちに向けてのメッセージ付きの色紙と手紙が送られたりしてきた。このように、自分たちが取り組んだことの意味を大会参加者から高く評価されたことによって、達成感を感じさせることができた。</p> <p>③奥内小学校 (夢に向かって、すすんで学ぼう!ふるさとへ出かけよう!応援事業)          ・教育目標の「夢の実現」に向けて、学習プリントは幅広い内容のものを購入し、進んで学習する意欲に繋がった。また、プロジェクターを学芸会等で活用することで、直接会場の反応を感じられ、達成感を得られた。</p> <p>④大畑小学校 (デジタルとアナログを融合させた、表現力を高める実践事業)          ・様々な表現方法のよさに気付き、自分たちの活動にも生かそうとする意識をもてるようになってきた。また、高学年は集会活動などでの発表する場面で、伝わりやすい話し方や工夫した表現方法で発表できるようになってきた。</p> <p>⑤近川中学校 (英語コミュニケーション力育成事業)          ・職場体験により、教科書で学んだ表現を積極的に使おうとする様子が見られた。また、本校は内向的な生徒が多いが、「交流が楽しかった」という感想を書いている。なお、今の3年生は中学校3年間異文化交流学習を継続しているため、自信を持って交流活動に臨む様子が見られた。</p> <p>⑥田名部中学校 (高い志をはぐくむキャリア教育推進事業)          ・多くの生徒が気付き、考える機会を得たことで、日常においても自己を見つめ、他者との繋がりを大切にするようになってきた。また、頑張りたいことに打ち込む姿も見られるようになってきた。さらに、集団への不適応を見せる生徒が進んで活動に参加することができた。</p> <p>⑦大畑中学校 (大畑中学校学力向上プラン)          ・むつ市総合学力調査では、各学年において5教科平均が市を上回ったことから、内容の確実な定着が図られてきていることがわかる。</p> <p>※キャリア教育講演会実施校と講師          ①むつ中学校 (クラフトビール醸造家：ギャレス・バーンズ)          ②田名部中学校 (星のリゾート青森屋 総支配人：須藤 玲奈)</p>			
<p>課題</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>・希望制の事業であり、各校の計画によるとは言え、事業の効果(各校への予算配分)にバラつきがある。</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>今後の方針</p> </td> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> <p>・希望する学校の児童生徒数に応じた予算措置を考慮することにより、事業の公平性を保つ。</p> <p>・次年度の希望を募るにあたり、本事業の趣旨がより各校に伝わるよう、実施要項等の見直しを図る。</p> </td> </tr> </table>	<p>・希望制の事業であり、各校の計画によるとは言え、事業の効果(各校への予算配分)にバラつきがある。</p>	<p>今後の方針</p>	<p>・希望する学校の児童生徒数に応じた予算措置を考慮することにより、事業の公平性を保つ。</p> <p>・次年度の希望を募るにあたり、本事業の趣旨がより各校に伝わるよう、実施要項等の見直しを図る。</p>
<p>・希望制の事業であり、各校の計画によるとは言え、事業の効果(各校への予算配分)にバラつきがある。</p>	<p>今後の方針</p>	<p>・希望する学校の児童生徒数に応じた予算措置を考慮することにより、事業の公平性を保つ。</p> <p>・次年度の希望を募るにあたり、本事業の趣旨がより各校に伝わるよう、実施要項等の見直しを図る。</p>		

事業名	学校支援員配置事業		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	入学児童が多く、学年に複数学級を有する学校に対して、学校支援員（旧名称：スクールサポートスタッフ）を配置し、学級担任等に代わって、教材等の印刷や必要物品の準備などの業務をサポートすることにより、学級担任等が事務的な職務に費やす時間を削減し、児童への指導や支援に専念できるようにする。		
計画	○入学児童が多く、学年に複数学級を有する小学校に、人員を配置する。	実績・成果	○令和6年度は、次の小学校3校に人員を配置した。  第二田名部小学校、太平小学校、 苫生小学校
予算	予算総額 5,643,000 円 (内訳) 報酬 4,585,000 円 職員手当等 892,000 円 旅費 166,000 円	決算	決算総額 6,137,867 円 (内訳) 報酬 5,138,969 円 職員手当等 910,098 円 旅費 88,800 円
評価	事業開始2年目であるが、配置校からは「学級担任の負担が軽減された」など、本事業について高評価をいただいている。		
課題	各校の業務負担軽減を考えると、学校支援員を市内全小・中学校に配置する必要がある。	今後の方針	県の事業でも、スクールサポートスタッフの配置を全小・中学校に拡充したことから、当事業としての配置は廃止とする。しかし、一人で2校を兼務しているケースもあることから、市内全小・中学校に1名ずつ配置されるよう県への働きかけをしていく。

## (2) 学力向上対策の充実

事業名	学力向上に向けた協議会開催		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	むつ市学校教育の課題である学力向上に資するため、小学校から大学までの切れ目のない学習指導の在り方を検討する協議会を開催し、児童生徒に身に付けさせるべき資質・能力や、各調査の分析結果から明らかになった課題への方策等について協議し、市内小中学校での授業改善の取組を支援する。		
計画	○委員を委嘱し、学力向上に向けた協議会を、年に2回開催する。	実績・成果	○委員12名を委嘱 ○第1回協議会：7月16日(火) ○第2回協議会：11月26日(火) ○協議会議事録の小・中学校への送付
予算	予算総額 118,000 円 (内訳) 報償費 40,000 円 旅費 78,000 円	決算	決算総額 80,623 円 (内訳) 報償費 30,000 円 旅費 50,623 円
評価	第1回では、3つの協議テーマを設定し、それぞれについて委員から情報提供いただいた。第2回では、当市の「学校教育プラン推進目標」の実現に向けて話し合い、様々な視点から意見を伺うことができた。		
課題	協議会では、委員の方々に「やる気スイッチについて」「非認知能力の育成」などの情報提供いただいている。今後、より充実した場となるよう取り上げる内容を更に工夫していく必要がある。	今後の方針	各委員にお願いしていた情報提供については、講師に講演をお願いすることも検討する（取り上げる内容によっては、協議会の実施時期や実施回数も考慮していく）。

事業名	総合学力調査・知能検査実施		
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定		
概要	児童生徒対象の学力検査及び知能検査に関する実態把握を通し、学力向上に向けた基礎資料の作成を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市総合学力調査を小学校4年生から中学校3年生まで実施する。</li> <li>○知能検査を小学校2年生、5年生、中学校1年生で実施する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月に小学校4年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施した。また、結果を指導に生かすための資料を作成して各校に提供した。</li> <li>○4月に小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に知能検査を実施し、市全体の傾向を分析した。</li> </ul>
予算	予算総額 4,301,000 円 (内訳) 消耗品費 335,000 円 委託料 3,966,000 円	決算	決算総額 4,069,275 円 (内訳) 消耗品費 343,195 円 委託料 3,726,080 円
評価	市全体の児童生徒の学力の実態（正答率分布）を把握し、結果を授業改善に生かすことの重要性を各校に周知することができた。		
課題	小学校においては、複数教科の実施による時間的な負担がある。	今後の方針	総合学力調査の実施教科と、知能検査の小学校での実施回数を検討していく。

事業名	新聞を活用した学習への支援		
大綱施策	1-(1)-②教員の資質向上		
概要	むつ市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身に付けるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、市内全ての小学校5、6年生と中学校全学年を対象に、希望する新聞を各学級1部配備する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内小学校5、6年生と中学校全学年を対象に、希望する新聞を配備する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞配備部数 小学校：55部 中学校：48部</li> <li>○出前授業 小学校4校 中学校2校</li> <li>○授業の他に、短学活でのニュース発表や個人新聞の作成などで活用を図った。</li> <li>○全小中学校で東奥日報電子版を活用できるよう、環境を整えた。</li> </ul>
予算	予算総額 2,940,000 円 (内訳) 新聞購読料 2,890,000 円 教材等 50,000 円	決算	決算総額 3,129,312 円 (内訳) 新聞購読料 3,129,312 円 教材等 0 円
評価	紙媒体とデジタルの新聞を各校が児童生徒の実態に応じて継続して活用することで、新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身に付けることができる。		
課題	購読料の値上げ等により、各校の希望に添った部数を配備することが難しい。	今後の方針	児童生徒が新聞に触れたり活用したりする機会は維持する必要があることから、東奥日報電子版を活用できるよう、各校に最低限東奥日報1部を購読していただく。

(3) ICTを活用した教育活動の充実

事業名	ICT推進事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	むつ市学校教育プラン推進の柱の一つである「ICTを活用した教育活動の充実」に資するため、教育活動に活用できる資料提供や、ICT機器または教材を配備する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを活用した実践例を紹介する。</li> <li>○中学校1校に自動採点機能ソフトを配備する。</li> <li>○情報モラル教材を配備する。</li> <li>○電子黒板、ディスプレイ、サイネージ(電子掲示板)を配備する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動採点機能ソフト配備 田名部中学校</li> <li>○情報モラル教材配備 ・小学校(第二田名部、第三田名部) ・中学校(田名部、むつ、大平)</li> <li>○電子黒板配備33台配備 ・小学校(第一田名部、第二田名部、第三田名部、大平、大湊、苫生、川内、大畑) ・中学校(田名部、むつ、大湊、大平、大畑、川内)</li> <li>○大型ディスプレイ59台配備 市内小中学校20校すべてに配備</li> <li>○サイネージ16台配備 ・小学校(第一田名部、第二田名部、第三田名部、関根、大平、大湊、苫生、川内、大畑) ・中学校(田名部、むつ、近川、大湊、大平、大畑、川内)</li> </ul>
予算	予算総額 54,034,000 円 (内訳) 需用費 708,000 円 備品購入費 53,326,000 円	決算	決算総額 53,707,643 円 (内訳) 需用費 699,655 円 備品購入費 53,007,988 円
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金の活用により、電子黒板等を配備することができた。活用の仕方については、各校が実態に応じて工夫を凝らしている(授業、掲示板、作品紹介等)。</li> <li>・タブレット端末を使用した学習機会が増加するため、「情報モラル教材」を活用することで、児童生徒に対して効果的に指導することができる。</li> </ul>		
課題	指導に生かすICTの取組に関しては、前年度よりも活性化されたものの、校務に生かすICTの取組は進んでいない。加えて、学校間、教員間で個人差が大きい。	今後の方針	事業を統合し、指導・校務に生かすICTの取組を一体的に推進していく。また、事業の取組を積極的に共有し、市内全体の取組を推進していく。

事業名	オンライン活用事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	教員の指導力向上や児童生徒の学力向上に資するため、教育委員会が管轄するホームページの活用を推進する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員用ホームページの情報更新</li> <li>○一般用ホームページの情報更新</li> <li>○授業目的公衆送信補償金制度の活用</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員用には学力調査分析結果や、講座案内、研究会の報告書等をアップした。</li> <li>○一般用には、事業案内、教育相談室の紹介等をアップした。</li> </ul>
予算	予算総額 542,000 円 (内訳) 負担金 542,000 円	決算	決算総額 484,374 円 (内訳) 負担金 484,374 円
評価	教職員用には、学力調査の分析結果を掲載することで、指導力向上のための情報共有をタイムリーにできるようになった。		

課題	今後も、児童生徒、保護者、教職員のニーズにあったホームページの掲載内容・掲載時期等を検討していく必要がある。	今後の方針	ホームページは、いつ頃、何をアップするのか見通しを立てるために、年間計画を作成する。
----	--	-------	--

事業名	デジタル教育推進事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	一人一人の実態に合った教材を配備するため、AIを搭載したデジタル教材を配備する。また、児童生徒のICTに係るスキルの向上のために、アプリケーションを市内全小・中学校に配備する。		
計画	○知識・技能の定着に向け、小学校には4教科（国語、社会、算数、理科）の、中学校には5教科（国語、社会、数学、理科、英語）のデジタル教材を配備する。	実績・成果	○デジタル教材購入 ・小学校：2240名分 ・中学校：1240名分
予算	予算総額 3,828,000 円 (内訳) 消耗品費 3,828,000 円	決算	決算総額 3,773,000 円 (内訳) 消耗品費 3,773,000 円
評価	学校訪問時に、各校からデジタル教材の活用状況を尋ねたところ、学校によつて使用回数や活用場面に差があることがわかった。		
課題	学校からのフィードバックをもとに、デジタル教材の活用を継続していくか考慮していく必要がある。	今後の方針	・学力調査結果を受けた取組の一つとしてデジタル教材を活用するなど、具体的な活用場面について周知していく。 ・次年度のデジタル教材の購入について検討する。

事業名	学習者用デジタル教科書配備事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や、特別な支援を必要とする児童生徒の学習上の困難低減のために、学習者用デジタル教科書を配備する。		
計画	○文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加し、全ての小学校（対象：小学5、6年生）と中学校に対して英語を、希望する学校には算数・数学を配備する。	実績・成果	○文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加し、英語（すべての学校）と算数・数学（小学校6校、中学校4校）の学習者用デジタル教科書を配備した。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	タブレット端末の配備により、学習者用デジタル教科書の必要性が高まっている。		
課題	学習者用デジタル教科書の具体的な使用については、より効果的に活用できるようにしていく必要がある。	今後の方針	文部科学省で作成する実践事例集やガイドブック等を用いるなど、具体的かつ効果的な活用方法について、学校へ周知する。

(4) 教育研修センター講座等の充実

事業名	教職員研修講座開設		
大綱施策	1-(1)-②教員の資質向上		
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を高めるために授業改善等に係る研修講座を開催する。また、講座内容の改善を図るため、各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○弘前大学教育学部との連携による授業づくり講座など12講座を開催する。</li> <li>○各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開設講座：12講座 全講座を予定通り実施することができた。受講者数は延べ351人。</li> <li>○全国的な研修会への参加 10大会に参加し、講座や助言等に生かすことができた。</li> </ul>
予算	予算総額 262,000 円 (内訳) 報償費 161,000 円 旅費 79,000 円 消耗品費 22,000 円	決算	決算総額 248,970 円 (内訳) 報償費 152,000 円 旅費 74,989 円 消耗品費 21,981 円
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も弘前大学教育学部との連携により、6講座に弘前大学の先生方をお招きして研修講座を開催することができた。また、青森県総合学校教育センターや弘前大学教職大学院、高等学校教諭などに講師を依頼し、充実した講座となるよう努めた。</li> <li>・以下の全国的な研修会に参加し、講座内容の計画立案や学校訪問等における指導・助言に生かすことができた。 「駒場アクティブラーニングワークショップ」「不登校対策研究講座(教育フォーラムinあおもり)」「Well-Beingイノベーションサミット2025」「筑波大学附属小学校学習公開・初等教育研修会」「宮城教育大学附属小学校公開研究会」「全国小学校国語教育研究大会山口大会」「全国中学校社会科教育研究大会北海道大会」「新潟大学附属小学校初等教育研究会」「青森県へき地・複式教育研究大会東青大会」「LEG仙台第二回イベントin宮城」</li> </ul>		
課題	県総合学校教育センターの講座において当センターと類似した内容の講座がある。また、小規模校においては、同じ教員が複数の講座に参加しなければならない現状にある。	今後の方針	講座の内容を見直し、受講者のアンケート等も参考にしながら、統合・廃止を進めていく。

(5) 幼・保・小連携及び小中一貫教育の充実

事業名	小中一貫教育の充実		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	学力向上、生徒指導及び特別支援教育などの学校現場における課題解決のため、小・中学校間で連携した指導により、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境の構築を図る。複式教育の解消や乗り入れ授業など、学力向上と生徒指導の充実に向けて学校や各中学校ブロックの実態に即した指導を可能とするために、小中一貫教育非常勤講師として教員免許保持者を配置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内の9つの中学校ブロックへ、施設や児童生徒数といったブロックの実状に応じた小中一貫教育の充実に資する研究を依頼する。</li> <li>○小中一貫教育全国連絡協議会主催の小中一貫教育全国サミットへ参加する。</li> <li>○小中一貫教育非常勤講師をブロックごとに配置する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全9ブロックの研究実施計画書集を集約し、各学校へ配付した。</li> <li>○小中の連携した指導により、落ち着いた学校生活環境の中で、充実した教育活動が実践されている。</li> <li>○9月27日(金)に、広島県府中市で開催された小中一貫教育全国サミットに、指導主事2名が参加した。</li> <li>○脇野沢中ブロックを除く8ブロックに、小中一貫教育非常勤講師を配置した。</li> </ul>

予 算	予算総額	22,115,000 円	決 算	決算総額	20,959,564 円
	(内訳) 報酬	17,561,000 円		(内訳) 報酬	17,265,355 円
	手当	3,485,000 円		手当	3,300,969 円
	旅費	1,039,000 円		旅費	363,240 円
	負担金	30,000 円		負担金	30,000 円
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校ブロックでは、規模や校舎の設置状況など実状に合わせて工夫しながら小中一貫教育の取組を推進している。</li> <li>各ブロックに配置された小中一貫教育非常勤講師は、少人数指導やチームティーチングなど、ブロックの実状に応じて児童生徒の指導に当たっている。</li> <li>児童生徒を対象としたアンケートでは、小中連携の取組について肯定的な回答割合が87.1%であり、概ね目的は達成されていると言える。</li> </ul>				
課題	小中一貫非常勤講師は、教員免許保持者であることが採用の条件であることから、例年、非常勤講師の確保が困難な状況になっている。		今後の方針	小中一貫非常勤講師の人員の確保は難しい現状であるが、各ブロックの乗り入れ授業や少人数指導、複式授業の解消等を補助するために不可欠であり、学力の向上や生徒指導の充実に大いに役立っていることから、今後も継続して配置したい。	

#### (6) 大学との連携強化

事業名	教育研修センター講座等連携				
大綱施策	1-(1)-②教員の資質向上				
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を高めるため弘前大学と連携した研修講座を開設する。				
計画	長期休業中を中心に、6つの研修講座を開設する。		実績・成果	予定していた講座を、すべて開催することができた。(国語授業づくり講座、算数・数学授業づくり講座、社会授業づくり講座、理科授業づくり講座、外国語活動・英語授業づくり講座、心と体の健康教育講座)	
予算	予算総額	240,000 円	決算	決算総額	226,989 円
	(内訳) 報酬	161,000 円		(内訳) 報酬	152,000 円
	旅費	79,000 円		旅費	74,989 円
評価	6つの講座すべてにおいて、受講者の肯定的評価(4段階におけるA+B評価)が約9割であった。				
課題	小規模校においては、同じ教員が複数の講座に参加しなければならない現状にある。		今後の方針	受講者のアンケート等も参考にしながら、講座の精選及び講座内容の改善等を進めていく。	

事業名	学生との交流		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	普段の学習では体験することのない実験を行うラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことを通して科学への関心を高めるとともに、弘前大学の大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。		
計画	○小学校を対象とし、「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績・	○ラボ・バス実験教室 ・令和6年9月26日(木) 奥内小学校(全校児童13名)
予算	予算総額 45,000 円 (内訳) 消耗品費 45,000 円	決算	決算総額 45,000 円 (内訳) 消耗品費 45,000 円
評価	弘前大学教育学部の教授や学生の指導のもと、参加した児童全員が、次の4つの実験ブースを巡回しながら科学実験を楽しむことができた。 ①空気力を体験しよう ②どっちに進む？ダンゴムシ ③液体窒素を使った超低温の世界 ④ポテトキャノン		
課題	子どもたちに人気があるが、理科教育関係の事業が同時期に4つ重なっていることから、整理統合を図る必要がある。	今後の方針	JAMSTECと弘前大学等が連携した海洋STEAM教育を展開していく。パイロット校として、施設の近隣校である関根小学校を中心に事業を展開する。

事業名	高等教育機関等との連携		
大綱施策	1-(3)-④高等教育機関との連携		
概要	児童生徒のキャリア発達を促し、進路選択や将来のビジョンの幅を広げるために、下北管内高等教育機関との連携を推進することを目的とする。		
計画	○研修講座「学びの連携推進講座」開催	実績・	○「学びの連携推進講座」開催 期日：7月23日(火) 内容：高等学校の「総合的な探究の時間」について 情報提供者：大湊高等学校、むつ工業高等学校、田名部高等学校
予算	予算総額 240,000 円 (内訳) 報償費 161,000 円 旅費 79,000 円 役務費 0 円	決算	決算総額 226,989 円 (内訳) 報償費 152,000 円 旅費 74,989 円 役務費 0 円
評価	「学びの連携推進講座」参加者のポジティブ評価が100%であったことから、講座の目的は達成されたと考える。		
課題	講座1年目は、進路等に関わる内容に重点を置いたが、今回のように小・中・高の学習(教科)のつながりにも目を向けることは大切な視点であった。	今後の方針	講座開設1年目は青森大学むつキャンパスでの開催、2年目はむつ下北管内高等学校から「総合的な探究の時間」の情報提供を実施し、大学・高校双方の内容を終え、それぞれとのつながりも深まったことから本事業は廃止とする。



課題	申込者数は、令和5年度15名、6年度11名と多くはなかった。特に6年度は県立保健大の希望により大学祭と同時開催としたため、むつ市内2中学校の文化祭や下北吹奏楽祭と同日となった。	今後の方針	県内の大学では、中学生も参加可能な説明会や体験イベントを実施している。さらに、大学訪問をする中学校も増えてきていることから、本事業は廃止する。
----	--	-------	---

事業名	関係機関との連携		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	海洋研究開発機構むつ研究所による海洋教室や、東北放射線科学センターによる理科教室を行うことにより、科学への関心を高めるとともに、研究者との交流を通して、夢と希望を育てる。		
計画	○小・中学校において、海洋教室及び理科教室を開催する。 ・海洋教室：むつ中学校 ・理科教室：川内中学校	実績	○海洋教室：11月7日（木） むつ中学校1学年2学級 ○理科教室：10月29日（火） 川内中学校2学年23名
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	学校の授業では、容易に取扱うことができない放射線や海洋に関する内容について、体験的に学びながら研究者と交流することができた。		
課題	海洋教室及び理科教室は、外部講師が専門家のため、子どもたちのレベルに合わせるのが難しい。また、小学校・中学校の割当で行っているのので、どの発達段階に合わせて実施するのか難しい。	今後の方針	地の利を生かし、関根小学校をパイロット校にし、理科関係の事業を海洋STEAM教育として事業統合する。また、ラボバス実験教室も本事業に統合し、一体的に事業を展開する。

事業名	むつ市こども議会		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	むつ市の小学生が、議会傍聴をとおして市政と市議会のしくみを理解するとともに、次代を担う市民としての自覚を深める機会とする。 また、むつ市の中学生が、共通のテーマをもとに自校の活動や取組を紹介し、他校の参考となる取組を学ぶことで、各校のよりよい学校生活に活かす。		
計画	○市内小学6年生を対象として、9月議会の一般質問（議員1名）を傍聴する。 ○市内中学生を対象として、いじめに向けた取組に関わるこども議会を開催する。	実績	○9月議会の傍聴 ⇒9月4日（水）・5日（木） 児童26名傍聴 ○こども議会 ⇒11月5日（火）開催 参加生徒29名、参観児童4名
予算	予算総額 22,000 円 (内訳) 旅 費 0 円 (内訳) 需 用 費 22,000 円	決算	決算総額 20,042 円 (内訳) 旅 費 0 円 (内訳) 需 用 費 20,042 円
評価	9月議会を傍聴した児童の肯定的評価は100%であった。また、こども議会の児童アンケートの肯定的評価も100%であったことから、目的は達成できたといえる。 傍聴体験は修学旅行等の学校行事と時期が重なる学校があったが、9月議会での実施が妥当である。		
課題	中学生によるこども議会は、事前に発表練習や打ち合わせ等を重ねた上で実施したいが、学校負担を考慮すると、最低限に留める必要がある。	今後の方針	毎年、小学生は9月議会の傍聴、中学生は11月にこども議会を実施していく。 こども議会の内容は、ホスト校の要望を優先しつつ、市への提言や市長との対話などが可能なテーマになるよう調整する。

事業名	むつ市子ども夢育成基金		
大綱施策	2-(1)-①スポーツ活動の推進		
概要	むつ市を担う子どもたちを育成するため「むつ市子ども夢育成基金」を活用し、市内の小・中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援する。		
計画	<p>○むつ市の小・中学生が参加する文化・芸術活動の大会派遣に係る経費について補助する。</p> <p>○むつ市の小・中学生が参加するスポーツ活動の大会派遣に係る経費について補助する。</p>	実績・成果	<p>○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動 大会派遣補助 1,861,300円 ・ピティナ・ピアノコンペティション ・小・中学生東北アンサンブルコンテスト</p> <p>○むつ市の小・中学生のスポーツ活動 大会派遣補助 6,987,800円 ・東北中学校体育大会 (陸上、ソフトテニス、柔道、剣道、 駅伝、スキー) ・全国中学校駅伝大会 等</p> <p>※スポーツ活動：78件、文化・芸術活動：5件</p>
予算	<p>予算総額 9,021,000 円</p> <p>(内訳) 補助金 4,500,000 円 積立金 4,521,000 円</p>	決算	<p>決算総額 13,369,294 円</p> <p>(内訳) 補助金 8,849,100 円 積立金 4,520,194 円</p>
評価	新型コロナウイルスの影響も少なくなり、申請件数は昨年度より19件の増となった。基金の活用により、大会参加における経済的負担の抑制が図られている。		
課題	東北・全国につながる大会が増えており、補助金が増加傾向にある。	今後の方針	財政担当と連携し、財源確保に努めるとともに、補助制度の見直しを検討する。

### (9) 特別支援教育体制の充実

事業名	スクールサポーター配置		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	<p>○36人を配置する。</p> <p>○1日6時間以内、年間1,218時間以内で活用する。</p>	実績・成果	<p>○配置人数：36人 ・小学校：8校27人・中学校：4校9人</p> <p>○任期：令和6年4月1日～ 令和7年3月31日</p> <p>○1日6時間以内、年間1,218時間以内で任用</p>
予算	<p>予算総額 62,065,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 48,965,000 円 手当 11,097,000 円 旅費 2,003,000 円</p>	決算	<p>決算総額 64,656,192 円</p> <p>(内訳) 報酬 51,491,172 円 手当 11,949,429 円 旅費 1,215,591 円</p>
評価	各学校からのスクールサポーターへの需要が高く、事業の継続を望んでいる。		
課題	各学校の要望により増員配置したが、活用状況については差がある。また、勤務管理、給与事務に関する問合せが多い。加えて、スクールサポーターの支援の質の向上を図っていく必要がある。	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>当課所管の会計年度職員の勤務を、総務課と連携しながら業務改善していく。</li> <li>特別支援教育体制の充実に資するため、スクールサポーターの配置を維持する。</li> </ul>

事業名	むつ市特別支援教育推進委員会開催																																		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実																																		
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで能力及び特性に応じたきめ細かな指導や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断に向けた専門検査を実施する。																																		
計画	○定例会は年4回の開催だが、必要に応じ、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績・成果	○定期開催：4回 ・第1回：令和6年5月9日（木） ・第2回：令和6年9月12日（木） ・第3回：令和6年11月14日（木） ・第4回：令和7年2月13日（木） ○臨時開催：6回 ○対象児童生徒数：99人																																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,002,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>134,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>658,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>102,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>2,000 円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>46,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,002,000 円	(内訳) 報酬	134,000 円	旅費	658,000 円	消耗品費	102,000 円	食糧費	2,000 円	手数料	60,000 円	備品購入費	0 円	負担金	46,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>967,185 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>151,500 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>490,411 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>110,836 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>1,838 円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>11,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>157,300 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>44,300 円</td> </tr> </table>	決算総額	967,185 円	(内訳) 報酬	151,500 円	旅費	490,411 円	消耗品費	110,836 円	食糧費	1,838 円	手数料	11,000 円	備品購入費	157,300 円	負担金	44,300 円
予算総額	1,002,000 円																																		
(内訳) 報酬	134,000 円																																		
旅費	658,000 円																																		
消耗品費	102,000 円																																		
食糧費	2,000 円																																		
手数料	60,000 円																																		
備品購入費	0 円																																		
負担金	46,000 円																																		
決算総額	967,185 円																																		
(内訳) 報酬	151,500 円																																		
旅費	490,411 円																																		
消耗品費	110,836 円																																		
食糧費	1,838 円																																		
手数料	11,000 円																																		
備品購入費	157,300 円																																		
負担金	44,300 円																																		
評価	学校や幼保園と情報共有し、支援が必要な子どもと、その保護者との面談や検査を適切に遂行することができた。よって、目的は達成できたといえる。しかし、第2回、第3回の審議対象者が多く、専門検査の日程調整や当日の進行等において難しい面があった。今後も、審議対象者数の増加が予想される。																																		
課題	専門調査員については、教員が多忙な時期もあるので、教員以外の専門調査員にお願いしたいが、予算の確保が難しい。	今後の方針	審議対象者が増加傾向のため、社会生活能力検査の用紙代、保育・教育状況説明者の費用弁償等の増額を検討する。また、知能検査ツールであるWISC-Vセットの購入も検討する。																																

(10) 国際化に対応する教育と郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

事業名	外国語指導助手配置																		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実																		
概要	小学校での外国語活動・外国語、中学校での外国語の授業や、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。																		
計画	○ALT 5名を小学校に配置するとともにうち2名には中学校も兼務させ、外国語活動、外国語の授業等において活用を図る。	実績・成果	○ALT配置人数 ・小学校：5名 ・中学校：2名（小学校と兼務） ○1学級あたりの年間活用時間 ・小学校：約35時間 ・中学校：約12時間																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>18,601,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>17,361,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>624,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>616,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	18,601,000 円	(内訳) 報酬	17,361,000 円	旅費	624,000 円	負担金	616,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>18,161,226 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>17,316,019 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>230,187 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>615,020 円</td> </tr> </table>	決算総額	18,161,226 円	(内訳) 報酬	17,316,019 円	旅費	230,187 円	負担金	615,020 円
予算総額	18,601,000 円																		
(内訳) 報酬	17,361,000 円																		
旅費	624,000 円																		
負担金	616,000 円																		
決算総額	18,161,226 円																		
(内訳) 報酬	17,316,019 円																		
旅費	230,187 円																		
負担金	615,020 円																		
評価	児童生徒へのアンケート結果において、「ALTの先生との学習で、もっと英語によるコミュニケーションをしてみたいと思った」と答えた割合は85.3%であり、国際理解及び英語学習に対する意欲を高めることができた。																		
課題	小学校への訪問の充実を優先しているため、各中学校への派遣回数が少ない状況が続いている。	今後の方針	ALT 5人体制を継続していくとともに、連絡を密にし、学校現場の意図を伝えながらニーズに合わせた英語及び異文化教育指導ができるようALTを育成していく。																

事業名	Enjoy English for Elementary、All English Day for JHS 実施						
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実						
概要	ALTとの活動を通して、児童生徒が英語でコミュニケーションすることの楽しさを体感し、英語学習への興味・関心を高め、学力向上を目指す。						
計画	○Enjoy English for Elementaryの実施 (小学5・6年生を対象) ○All English Day for JHSの実施 (中学生を対象)	実績・成果	○Enjoy English for Elementary ・令和7年3月1日(土)実施 ・申込25名(参加24名) ○All English Day for JHS ・令和6年10月27日(日)実施 ・申込15名(参加13名)				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>24,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	24,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>22,695 円</td> </tr> </table>	決算総額	22,695 円
予算総額	24,000 円						
決算総額	22,695 円						
評価	中学生対象のAll English Day及び小学5～6年生対象のEnjoy Englishともに、参加児童生徒の肯定的評価は100%であったことから、目的は達成された。 また、市内全小学校5・6年生及び全中学生にチラシを配付したり、申し込みをオンライン化したりしたことで、特に小学生の申込者数に大きな増加が見られた。						
課題	現在の開催場所である教育研修センターから、やや離れている地区からの参加者が少ない。	今後の方針	中学生向けは10月中～下旬、小学生向けは2月末～3月上旬の実施を今後も継続する。また、継続して参加する生徒がいることから、内容を工夫する。 西通地区での開催など、開催場所を検討していく。				

事業名	むつ市ジュニア大使派遣																																		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実																																		
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルス市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。																																		
計画	○中学生10名を6泊8日の行程で派遣する。 ○事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書を作成する。	実績 果・	○ジュニア大使の決定(10名) ○派遣期間 : 令和7年1月4日(土) ~11日(土) ○報告会開催日: 令和7年2月5日(水)																																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>8,557,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>93,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>1,811,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>40,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>55,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>596,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>15,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>5,947,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	8,557,000 円	(内訳) 報償費	93,000 円	旅費	1,811,000 円	消耗品	40,000 円	印刷製本費	55,000 円	食糧費	596,000 円	役務費	15,000 円	委託料	5,947,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>12,253,194 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>76,760 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>1,946,469 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>84,700 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>95,040 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>595,965 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>9,454,260 円</td> </tr> </table>	決算総額	12,253,194 円	(内訳) 報償費	76,760 円	旅費	1,946,469 円	消耗品	84,700 円	印刷製本費	95,040 円	食糧費	595,965 円	役務費	0 円	委託料	9,454,260 円
予算総額	8,557,000 円																																		
(内訳) 報償費	93,000 円																																		
旅費	1,811,000 円																																		
消耗品	40,000 円																																		
印刷製本費	55,000 円																																		
食糧費	596,000 円																																		
役務費	15,000 円																																		
委託料	5,947,000 円																																		
決算総額	12,253,194 円																																		
(内訳) 報償費	76,760 円																																		
旅費	1,946,469 円																																		
消耗品	84,700 円																																		
印刷製本費	95,040 円																																		
食糧費	595,965 円																																		
役務費	0 円																																		
委託料	9,454,260 円																																		
評価	ジュニア大使10名は、市内中学生の代表という自覚をもって活動に取り組む様子が見られた。また、現地での発表や交流について好評を得た。帰国後も周囲に「伝える」という使命を果たそうとする姿や英語学習を一層頑張ろうとする姿が見られ、目標は達成されたと考える。																																		
課題	実施時期が新年始まってすぐということから、ホームステイ先の確保が難しい状況が続いている。また、現地中学校での新年休み明けが訪問日となる。	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度は中学生海外派遣事業として12月に4泊5日で台湾・陽明中を訪問する。</li> <li>選考会では集団面接を実施する。</li> <li>担当者と連絡・調整を続けていくが、ポートエンジェルス市側の負担も考慮し、台湾への派遣事業と隔年で開催する。</li> </ul>																																



ジュニア大使派遣事業

事業名	中華民国陽明國民中学との友好交流																																						
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実																																						
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明國民中学（以下「陽明中」）の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問をとおして交流を図る。																																						
計画	○陽明中からの訪問団を受け入れ、市内の中学校訪問等をとおして交流する。 ○市内全中学と陽明中との姉妹校拡大締結を実施する。	実績・成果	令和6年度は、予定されていた陽明中からむつ市への訪問が、先方の事情により取りやめとなった。																																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>641,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>230,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>16,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>309,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>35,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	641,000 円	(内訳) 報償費	230,000 円	旅費	16,000 円	消耗品	30,000 円	食糧費	309,000 円	印刷製本費	35,000 円	役務費	10,000 円	委託料	0 円	使用料	11,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算額</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算額	0 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	消耗品	0 円	食糧費	0 円	印刷製本費	0 円	役務費	0 円	委託料	0 円	使用料	0 円
予算総額	641,000 円																																						
(内訳) 報償費	230,000 円																																						
旅費	16,000 円																																						
消耗品	30,000 円																																						
食糧費	309,000 円																																						
印刷製本費	35,000 円																																						
役務費	10,000 円																																						
委託料	0 円																																						
使用料	11,000 円																																						
決算額	0 円																																						
(内訳) 報償費	0 円																																						
旅費	0 円																																						
消耗品	0 円																																						
食糧費	0 円																																						
印刷製本費	0 円																																						
役務費	0 円																																						
委託料	0 円																																						
使用料	0 円																																						
評価	令和6年度の訪問はなかった。																																						
課題	令和6年度は、陽明中からむつ市への訪問はなかったため、予定していた姉妹校拡大締結は次年度以降へ持ち越しとした。	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>陽明中との姉妹校拡大締結の準備を進め更なる交流促進を図る。</li> <li>訪問については、ジュニア大使派遣事業によるポートエンジェルズ市訪問と、中学生海外派遣事業による台湾訪問を隔年実施する。</li> </ul>																																				

事業名	ジオパーク体験活動推進		
大綱施策	1-(4)-①ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育		
概要	ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を助成する。		
計画	○ジオサイトを活用した校外学習にあたって、必要な経費の一部を助成する。  (令和6年度は、教材費等の助成を廃止しバス借上料のみを助成する。)	実績・成果	○小学校6校、中学校6校へ助成している。見学先では、ちぢり浜、尻屋崎、北部海岸、釜臥山、恐山、水源地公園・芦崎湾等であった。また、ジオパーク推進課や生涯学習課から講師を招いての事前学習や、体験活動を取り入れている学校が多い。 ○本事業を活用していない学校でも地域学習は継続的に行われている。
予算	予算総額 1,727,000 円 (内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 0 円 消 耗 品 費 0 円 使用料及び賃借料 1,727,000 円	決 算	決算総額 1,364,170 円 (内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 0 円 消 耗 品 費 0 円 使用料及び賃借料 1,364,170 円
評価	児童生徒のアンケートでは、「学習後の感想は？」に対して「自分たちが住んでいる地域のことに関心をもつようになった」「地域学習で学んだ場所に行ってみたいと思った」の回答が約7割であったことから、本事業の目的は達成されたと言える。		
課題	本事業の活用の有無に関わらず、ジオパーク学習は実施されていることから、今後も各校に対するできる限りの支援を継続していく必要がある。	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を継続し、各校のジオパークを含めた地域学習を支援していく。</li> <li>・助成は、自動車借上料のみとする（今後値上がりすることも考慮して）。</li> </ul>

(11) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名	むつ市いじめ問題対策委員会開催		
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成		
概要	むつ市のいじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、不断の見直しを行う。		
計画	○いじめ問題対策委員会を開催する。 (年1回、委嘱期間2年)	実績・成果	○いじめ問題対策委員会を7月1日(月)に開催し、委員の方々に前年度のいじめ防止に関する取組を報告するとともに、今年度の取組について確認いただいた。
予算	予算総額 96,000 円 (内訳) 報 酬 46,000 円 旅 費 20,000 円 負 担 金 30,000 円	決 算	決算総額 75,877 円 (内訳) 報 酬 32,500 円 旅 費 16,377 円 負 担 金 27,000 円
評価	委員の方々に実施状況を点検、評価していただき、「様々な団体が地域にあるので、学校・教育委員会だけでなく自分たちでやれるものはやるなど、力を合わせていじめ防止について一丸となった取組をしていければと思う。」などの意見をいただいた。		
課題	本委員会では出された意見や要望を各校に周知し、各校のいじめ防止基本方針の点検と見直しをしていく必要がある。	今後の方針	校長会と教育委員会との合同会議や学校警察連絡協議会、いじめ防止リーフレット等を活用し、各校・地域への周知を図る。

(12) 教育相談体制の充実

事業名	むつ市教育相談室開設		
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成		
概要	いじめや不登校などの悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する一般教育相談・就学相談並びに不登校支援などを行うことによって、児童生徒が健全に成長するよう援助する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市教育研修センターに教育相談員2人を配置する。</li> <li>○同センターにむつ市教育相談室を開設し教育相談員を中心に、児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談員配置人数：2人</li> <li>○任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日</li> <li>○教育相談来室件数：207件</li> <li>○電話・メール相談件数：55件</li> <li>○適応指導教室利用者数：36名</li> </ul>
予算	予算総額 5,670,000 円 (内訳) 報酬 4,599,000 円 手当 897,000 円 報償費 70,000 円 旅費 104,000 円	決算	決算総額 5,524,648 円 (内訳) 報酬 4,637,712 円 手当 749,434 円 報償費 70,000 円 旅費 67,502 円
評価	教育相談来室件数、電話・メール相談件数、適応指導教室利用者数とも昨年度に比べて増加したことから、より多くの児童生徒と関わることができていると言える。また、複数回相談に至ったケースや相談室通室につながった例も多くみられたことから、相談機能の充実が図られたと考えられる。		
課題	教育相談室をハード、ソフト面での強化を図るとともに、関係機関との連携を図ってきた。相談件数の増加、相談内容の複雑化に対応するため、引き続きスタッフの資質向上を図ることが課題である。	今後の方針	今年度の実績、他都道府県の視察を参考に、相談室の機能の充実を図るとともに、教育研修センター移転を進め、子どもの居場所づくりに寄与する。 また、生徒指導提要に合わせて、名称を「むつ市教育支援センター」と改称する。

事業名	「新たな学びの場」検証事業		
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成		
概要	不登校児童生徒（特に学校や相談機関とつながっていない児童生徒）を対象に、メタバース（インターネット上の仮想空間の学校）を活用した不登校支援の検証を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メタバース事業操作研修会：4～5月</li> <li>○メタバース操作体験会：6～7月</li> <li>○メタバース検証事業：2学期の3ヶ月間</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メタバース辞令交付式・操作説明・演習開催期日：7月8日（月） 開催場所：むつ市教育研修センター 交付対象者：通室生23名、スタッフ6名（※アドバイザーとして）</li> <li>○メタバーストライアル 7月10日（水）・17日（水）</li> <li>○メタバース検証事業開始：10月～12月</li> </ul>
予算	予算総額 2,852,000 円 (内訳) 消耗品費 13,000 円 委託料 2,342,000 円 使用料 9,000 円 備品購入費 488,000 円	決算	決算総額 2,841,570 円 (内訳) 消耗品費 12,000 円 委託料 2,341,570 円 使用料 0 円 備品購入費 488,000 円
評価	メタバースの利用者は48人で、内訳はセンター通室生34人、それ以外は14人であった。聞き取りの範囲内での感覚では、利用することで意欲向上につながっているようであり、時代に合わせた新しい学びの場の必要性がうかがえた。		

課題	<p>学校や相談機関とつながっていない児童生徒が多く在籍していることが数年来の課題である。時代に合わせた新たなアプローチを検証しながら、どの子どもも安心できる居場所づくりに取り組む必要がある。</p>	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の成果と課題をもとに、メタバースの活用を含めた不登校支援を行う。</li> </ul>
----	--	-------	--

■ 学校教育課の重点項目の総括評価 ■

令和6年度は、これまでの事業内容を見直し統廃合したことによって、一つ一つの事業の目的がより明確となり、充実した事業を展開することができた。

児童生徒の学習意欲向上に向けた取組では、AI機能を備えたデジタルドリルを導入し、個々の日常の取組が紐付けされる環境を整えることができた。また、不登校支援においては、メタバースを活用した取組を検証するなど、一人一人が抱えている困難さに柔軟な対応をするための下地を整えることができた。

このように、当課の事業においてもICTやオンライン等の活用が進み、デジタルを活用した教育支援はなくてはならないものとなっている。今後は、学校現場の声を聞きながら成果や課題を集約し、児童生徒にとって必要なものを精査していく必要がある。

また、施設の老朽化が進んでいた教育研修センターは、令和8年度から旧田名部カトリック幼稚園跡地へ移転することが決まり、新たな環境のもと新たな出発を迎えることとなった。引き続き、不登校児童生徒への支援の一層の充実を図っていく。

## 4 公民館

### ■ 具体的な取組の評価 ■

#### (1) 公民館の適正管理と運営の充実

事業名	公民館運営審議会の開催		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	<p>公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものである。</p> <p>むつ市公民館条例第5条に基づき公民館運営審議会の委員を委嘱する。委員の定数は、15人以内とし、任期は2年とする。審議会は、むつ市中央公民館長が必要に応じて招集し開催する。</p>		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員の委嘱(令和5年9月1日～令和7年8月31日)</li> <li>○審議会開催</li> <li>○青森県公民館研究フォーラムに参加 令和6年10月2日 六ヶ所村</li> <li>○全国公民館研究集会・東北地区公民館大会に参加 令和6年11月14日～15日青森市</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和6年4月25日 第187回公民館運営審議会開催 (R5 現況報告、R6 事業概要説明) 11名出席</li> <li>○令和6年10月2日 青森県公民館研究フォーラム (六ヶ所スワニー) 9名参加</li> <li>○令和6年11月14日～15日青森市 全国公民館研究集会・東北地区公民館大会 (青森市民ホール、アスパム) 3名参加</li> </ul>
予算	<p>予算総額 321,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 195,000 円 旅費 106,000 円 需用費 20,000 円</p>	決算	<p>決算総額 166,594 円</p> <p>(内訳) 報酬 104,000 円 旅費 57,594 円 需用費 5,000 円</p>
評価	<p>公民館運営審議会を開催し、運営状況及び今後の運営方針について審議していただいた。10月、11月は研究フォーラム、研究集会に参加し、計画を実行することができた。</p>		
課題	<p>事業実施計画について、過去の事業実績や運営方法について確認作業が必要である。</p>	今後の方針	<p>過去の実績を踏まえ、現在の社会情勢に合った運営方法を丁寧に説明しながら事業を推進していく。</p>

事業名	公民館の適正管理		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	<p>川内公民館、大畑公民館は開館してから50年以上経過しており、設備等が老朽化していることから適宜点検を実施し、不具合については、計画的な修繕改修を行う。木野部地区公民館改修事業は屋根改修及び雨漏りによる水損箇所修繕を実施。</p>		
計画	○木野部地区公民館改修事業	実績・成果	<p>○木野部地区公民館改修事業 設計業務委託完了 工事請負契約完了(着工済み) 契約額: 11,000,000円 (繰越明許費の設定により工期を令和7年9月とした。繰越額: 13,989,000円)</p>
予算	<p>予算総額 15,636,000 円</p> <p>(内訳) 委託費 2,898,000 円 工事費 12,738,000 円</p>	決算	<p>決算総額 1,646,700 円</p> <p>(内訳) 委託費 1,646,700 円 工事費 0 円</p>

評価	不具合のあった館内設備を改修し市民により快適な環境で公民館を利用していただくことができるように業務を進めることができた。		
課題	各公民館、地区公民館の改修、維持管理に係る予算の確保が困難となっている。	今後の方針	適切な維持補修に努めるとともに、移転、建替えに係る検討を行う。

事業名	地区公民館・分館の管理運営		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	むつ市公民館組織等規則第4条に基づき地区館長・分館長を任命し、運営についての協議を行うとともに、年間の事業計画及び報告等を行うことによって、適正な管理運営を行う。		
計画	地区館長・分館長の任期は2年となっており、令和5年4月1日から引き続きの任命とし、運営についての会議を開催する。	実績・成果	○令和6年4月26日 中央公民館分館長会議 14名出席 ○令和6年11月8日 川内公民館地区館長会議 12名出席 ○令和6年4月24日 大畑公民館地区館長会議 6名出席
予算	予算総額 1,119,000 円 (内訳) 報酬 977,000 円 旅費 142,000 円	決算	決算総額 980,368 円 (内訳) 報酬 917,833 円 旅費 62,535 円
評価	公民館で実施する事業の内容について、参加条件に関連する意見をいただくなど公民館の運営改善に必要な役割が果たされている。		
課題	施設の老朽化が進み、安全・安心に利用できない地区館が見受けられる。分館で社会教育事業の実施が少ない。	今後の方針	地区公民館は、老朽化の程度を調査検討していく。分館については現在の状況を確認しながら今後の対応を協議していく。

○各公民館の利用状況

(回、人)

		令和6年度	令和5年度	令6-令5増減	令和4年度	令和3年度
中央	回数	1,331	1,544	▲ 213	1,418	1,164
	人数	23,048	27,850	▲ 4,802	23,631	18,154
川内	回数	219	183	36	192	146
	人数	2,592	2,427	165	2,386	2,293
大畑	回数	559	672	▲ 113	700	592
	人数	7,175	9,265	▲ 2,090	7,711	6,653
脇野沢	回数	263	313	▲ 50	321	304
	人数	2,122	3,265	▲ 1,143	2,849	2,461
計	回数	2,372	2,712	▲ 340	2,631	2,206
	人数	34,937	42,807	▲ 7,870	36,577	29,561

(2) 公民館事業の推進

事業名	青少年教育事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを行い、児童の健全育成を推進する。		
計画	<p>①こどもゼミナール（中央公民館） ・小学生を対象に、体験型の講座を提供する。</p> <p>②こどもお楽しみ会（中央公民館） ・幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施</p> <p>③ものづくり体験（川内公民館）</p> <p>④その他・教室・講習会等（大畑公民館） ○ねぶた囃子講習会 ○大畑町子どもねぶた合同運行 ○大畑町子ども会冬期レクリエーション大会</p>	実績・成果	<p>①こどもゼミナール（中央公民館） 別表のとおり</p> <p>②こどもお楽しみ会（中央公民館） 開催日：令和6年12月22日 参加者：87人</p> <p>③その他・教室・講習会等（川内公民館） 川内ねぶた囃子講習会 開催日：令和6年7月17・25・31日 8月8日 参加者：参加者 22人（延べ50人）</p> <p>④その他・教室・講習会等（大畑公民館） ○ねぶた囃子講習会 開催日：令和6年7月29～31日 参加者：延べ116人 ○大畑町子どもねぶた合同運行 開催日：令和6年8月4日8団体参加 ○大畑町子ども会冬期レクリエーション大会 開催日：令和7年1月26日 15人</p>
予算	<p>予算総額 537,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 356,000 円 旅費 81,000 円 需用費 97,000 円 役務費 3,000 円</p>	決算	<p>決算総額 415,295 円</p> <p>(内訳) 報償費 289,390 円 旅費 52,737 円 需用費 70,689 円 役務費 2,479 円</p>
評価	こどもゼミナールの人気講座は定員の倍の申込があった、アンケート調査の満足度は「とても楽しかった」及び「楽しかった」と回答した割合は99%であった。川内ねぶた囃子講習会は初めての試みであったが参加者から好評であった。大畑町ねぶた囃子講習会、こどもねぶた合同運行は関係機関の協力を得て予定どおり実施することができ、地域の伝統行事を支援することができた。		
課題	こども向け講座で調理を行う場合は、原材料費の高騰により来年度は参加費の値上げが予定される。	今後の方針	料理講座お菓子づくり講座は人気もあり満足度も高いことから、高騰する原材料を吟味し工夫をこらした講座内容を講師と協議していく。

別表 ①こどもゼミナール（中央公民館）

ゼミナール名称	開催日	参加者	ゼミナール名称	開催日	参加者
科学実験講座	R6.5.26	28人	パソコン講座	R6.12.1	13人
あそんでうんどう講座	R6.6.9	16人	お菓子づくり講座	R6.12.14	29人
料理講座	R6.6.23	11人	わくわくおえかき講座	R7.1.19	11人
ファッションデザイン講座	R6.9.8	15人	和菓子講座	R7.1.26	22人
やまあるき講座	R6.10.6	6人			

事業名	かきぞめ大会の開催		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	子どもたちが筆に親しみ、日本の伝統美に対する心を養うことを目的に、小・中学生を対象としたかきぞめ大会を開催し、作品の展覧会を行う。		
計画	①かきぞめ大会（4地区で実施） ○むつ会場（中央公民館） ○川内会場（川内公民館） ○大畑会場（大畑公民館） ○脇野沢会場（脇野沢地域交流センター） ②展覧会 ○中央公民館	実績・成果	①かきぞめ大会 下記表のとおり開催 ②展覧会 ○中央公民館 ・開催日：令和7年1月18日～26日 ・入場者：649人 ・入賞数：49点 （特選10点、準特選14点、入選25点）
予算	予算総額 173,845 円 (内訳) 報償費 86,000 円 旅費 16,145 円 需用費 71,700 円	決算	決算総額 139,395 円 (内訳) 報償費 64,000 円 旅費 14,507 円 需用費 60,888 円
評価	かきぞめ大会の参加は前年度より微増し、伝統行事を体験希望する参加者のニーズに応えることができた。		
課題	全体的に参加する児童・生徒はほぼ固定化されている。	今後の方針	かきぞめは特別な道具が必要であるため、参加の条件を緩和する等、市外の実施状況を調査していく必要がある。

### かきぞめ大会参加状況

会場	開催日	参加者		
		小学生	中学生	合計
むつ	R7.1.11	39名	15名	54名
川内	R7.1.10	2名	0名	2名
大畑	R7.1.11	9名	1名	10名
脇野沢	R7.1.9	3名	2名	5名



かきぞめ大会脇野沢会場（脇野沢公民館）



こどもお楽しみ会（中央公民館）



こどもゼミナール（料理講座）

事業名	市民大学及び成人教育事業																																																
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																																																
概要	市民大学では自然、芸術、社会、歴史、生活、健康など学習ニーズに対応した講座を開設し、地域の方々の教養の向上、健康の増進、情操の涵養に資することで、心豊かな地域社会を目指す。婦人教育では婦人学級を通して、地域課題、生活課題に向き合うため「自ら学ぶ」ことを基本とした学習活動を展開する。																																																
計画	<p>①市民大学</p> <p>○公開講座 5月から2月まで月1回開催。講演会形式で登録者以外でも受講可能としている。</p> <p>【主な講座】 ・健康食品、防災・気象、縄文遺跡など</p> <p>○ゼミナール : 17講座 実技等を伴う講座で、1講座当たり数回の開催 ・中央公民館 : 8講座 ・川内公民館 : 1講座 ・大畑公民館 : 4講座 ・脇野沢公民館 : 4講座</p> <p>【主な講座】 ・書道、美術、料理、IT、運動、陶芸 歴史、数学</p> <p>○修了証の交付 受講登録者で、規定の単位を取得した方に修了証を交付</p> <p>②成人教育（川内公民館）</p> <p>○自然歴史体験事業 ・下北の自然と歴史・文化を知る事業を実施する。</p> <p>③成人教育（中央公民館）</p> <p>○婦人学級 2学級 ・各学級毎に年間事業計画を立てて活動するほか、他の学級等との合同学習会に参加し交流を深める。</p>	実績・成果	<p>○公開講座開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>聴講者数</td> <td>延 422人</td> <td>延 375人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>60人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ゼミナールの公民館別開催状況 (上段：講座数 下段：登録者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>8 講座</td> <td>10 講座</td> </tr> <tr> <td>68 人</td> <td>90 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内</td> <td>1 講座</td> <td>2 講座</td> </tr> <tr> <td>10 人</td> <td>24 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑</td> <td>4 講座</td> <td>4 講座</td> </tr> <tr> <td>61 人</td> <td>61 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢</td> <td>4 講座</td> <td>4 講座</td> </tr> <tr> <td>55 人</td> <td>54 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>17 講座</td> <td>19 講座</td> </tr> <tr> <td>194 人</td> <td>229 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○修了証の交付者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了者数</td> <td>33人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②成人教育（川内公民館） ・恐山西参道登山 開催日：令和6年10月12日参加者：12人</p> <p>③成人教育（中央公民館） ・婦人学級長会議 開催日：令和6年4月19日 ・郷土料理教室 開催日：令和6年10月16日参加者：13人</p>		令和6年度	令和5年度	公開講座	10回	10回	聴講者数	延 422人	延 375人	登録者数	60人	61人	公民館	令和6年度	令和5年度	中央	8 講座	10 講座	68 人	90 人	川内	1 講座	2 講座	10 人	24 人	大畑	4 講座	4 講座	61 人	61 人	脇野沢	4 講座	4 講座	55 人	54 人	計	17 講座	19 講座	194 人	229 人		令和6年度	令和5年度	修了者数	33人	36人
	令和6年度	令和5年度																																															
公開講座	10回	10回																																															
聴講者数	延 422人	延 375人																																															
登録者数	60人	61人																																															
公民館	令和6年度	令和5年度																																															
中央	8 講座	10 講座																																															
	68 人	90 人																																															
川内	1 講座	2 講座																																															
	10 人	24 人																																															
大畑	4 講座	4 講座																																															
	61 人	61 人																																															
脇野沢	4 講座	4 講座																																															
	55 人	54 人																																															
計	17 講座	19 講座																																															
	194 人	229 人																																															
	令和6年度	令和5年度																																															
修了者数	33人	36人																																															
予算	<p>予算総額 1,055,540 円</p> <p>(内訳) 報償費 616,000 円 旅費 396,540 円 需用費 33,000 円 役務費 0 円 使用料及び賃借料 10,000 円</p>	決算	<p>決算総額 820,890 円</p> <p>(内訳) 報償費 500,000 円 旅費 294,005 円 需用費 26,065 円 役務費 0 円 使用料及び賃借料 820 円</p>																																														
評価	多彩な公開講座、ゼミナールを実施し、市民が望む学びの場を提供することができた。参加者は昨年度より増加した。婦人学級で活動しているのは2つであり活動も減少方向にあるが、学びを楽しみ、仲間たちとのつながりを深める効果がある。																																																

課題	公開講座は誰でも参加できる集客スタイルとしているが、新規の受講者が少なく、全体の受講者数も減少傾向にある。婦人学級に新規入会がなく、会員数の減少、学級生の高齢化が進んでおり、合同学習会が開催できない状況である。	今後の方針	公開講座、ゼミナールを開催し、引き続き、新規受講者の増を目指し、魅力ある「むつ市民大学」を実施していく。活動している婦人学級を継続して支援していく。
----	---	-------	--

事業名	分館地域づくり講座開催																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																						
概要	地域住民が共に集い、学び合う場を提供し、活気あふれる地域社会づくりの推進を目的とする。																						
計画	分館長会議を開催し、地域づくり講座の説明をしながら実施について促していく。 (対象：16分館)	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり講座 (若松町分館) 講座内容：金魚ねぶたづくり講座 開催日：令和6年7月8日 参加者：14人 講座内容：救急法講習会 開催日：令和6年9月9日 参加者：14人</li> <li>(大曲分館) 講座内容：認知症について・AED使用方法について 開催日：令和6年11月10日 参加者：12人</li> </ul>																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>47,320 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>24,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>16,320 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>3,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>4,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	47,320 円	(内訳) 報償費	24,000 円	旅費	16,320 円	需用費	3,000 円	使用料及び賃借料	4,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>17,681 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>12,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>5,681 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算総額	17,681 円	(内訳) 報償費	12,000 円	旅費	5,681 円	需用費	0 円	使用料及び賃借料	0 円
予算総額	47,320 円																						
(内訳) 報償費	24,000 円																						
旅費	16,320 円																						
需用費	3,000 円																						
使用料及び賃借料	4,000 円																						
決算総額	17,681 円																						
(内訳) 報償費	12,000 円																						
旅費	5,681 円																						
需用費	0 円																						
使用料及び賃借料	0 円																						
評価	参加者は講座内容によって楽しく活動したり、講師の説明に真剣に向き合ったりと充実した学びの時間を提供することができた。																						
課題	開催に消極的な分館に対するアプローチを考えていく必要がある。	今後の方針	開催した講座の概要について分館で情報共有を図るなど、事業実施を支援していく。																				

(3) 社会教育関係団体等の育成支援

事業名	各団体への指導・助言及び支援		
大綱施策	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成		
概要	<p>婦人教育分野、団体育成について社会教育指導員を配置し、直接指導及び学習相談に応じるなどして育成を行う。少年教育分野、団体育成については職員の人的援助等により助成、育成を行う。</p>		
計画	<p>○中央公民館に社会教育指導員(1名)を配置し、婦人教育の直接指導及び学習相談、並びに社会教育関係団体の育成を行う。</p> <p>○各団体の活動を支援するため人的支援及び補助金等を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市連合婦人会</li> <li>・下北地区子ども会育成連合会</li> <li>・むつ市子ども会育成会連絡協議会</li> <li>・青森県子ども会安全会負担金</li> </ul>	実績・成果	<p>○むつ市連合婦人会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市婦人体育まつり</li> <li>開催日：令和6年7月21日</li> <li>場 所：むつマエダアリーナ</li> <li>参加者：14団体112名</li> </ul> <p>○下北地区子ども会育成連合会事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度下北地区子ども会指導者・育成者研修会</li> <li>開催日：令和6年12月8日</li> <li>場 所：中央公民館講堂</li> <li>参加者：22人</li> </ul> <p>・第40回下北地区子ども会郷土芸能発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：令和7年2月9日</li> <li>場 所：下北文化会館</li> <li>来場者：499人</li> </ul> <p>○むつ市子ども会育成会連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費補助金支出</li> </ul> <p>○青森県子ども会安全会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県子ども会育成連合会へ負担金支出</li> </ul>
予算	<p>予算総額 585,000 円</p> <p>(内訳) 負担金 585,000 円</p>	決算	<p>決算総額 521,200 円</p> <p>(内訳) 負担金 521,200 円</p>
評価	<p>むつ市婦人体育まつりは、むつ市連合婦人会の主催となり、会場をマエダアリーナとし、快適な環境で実施した。下北地区子ども会郷土芸能発表会は第40回の記念大会で、下北郡内のゆるキャラも出演、共催団体のイベントも同時開催し盛況となり、必要な支援を行うことができた。</p>		
課題	<p>婦人団体は、会員数の減少及び高齢化が進み、体力を使う事業は難しくなっている。子ども会は、地域の児童・生徒数の減少や活動の多様化により、子ども会の活動減少さらには子ども会の存続が危うい状況にある。</p>	今後の方針	<p>婦人団体は今現在の体力を考えた活動を支援していく。子ども会活動も地区により縮小傾向に差があるため、支援のあり方を地区ごとに検討していく。</p>

事業名	公民館まつりの開催																																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																																						
概要	各中央館（中央、川内、大畑、脇野沢）の利用団体等が制作した作品の展示や、日頃の活動の成果を発表する場を設け、各団体との交流と活動の更なる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。																																						
計画	<p>○公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び実演・体験指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。各中央館で開催する。</p>	実績・成果	<p>来場者は延人数</p> <p>○中央公民館 ・開催日：令和6年8月21日～8月24日</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>27団体</td> <td>22団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>329人</td> <td>246人</td> </tr> </table> <p>○川内公民館 ・開催日：令和6年10月26日</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>1団体</td> <td>1団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>380人</td> <td>420人</td> </tr> </table> <p>○大畑公民館 ・開催日：令和6年10月19日～20日 令和6年11月4日</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>12団体</td> <td>10団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>524人</td> <td>445人</td> </tr> </table> <p>○脇野沢公民館 ・開催日：令和6年11月2日～10日</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>4団体</td> <td>3団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>48人</td> <td>42人</td> </tr> </table>		令和6年度	令和5年度	参加団体	27団体	22団体	来場者数	329人	246人		令和6年度	令和5年度	参加団体	1団体	1団体	来場者数	380人	420人		令和6年度	令和5年度	参加団体	12団体	10団体	来場者数	524人	445人		令和6年度	令和5年度	参加団体	4団体	3団体	来場者数	48人	42人
	令和6年度	令和5年度																																					
参加団体	27団体	22団体																																					
来場者数	329人	246人																																					
	令和6年度	令和5年度																																					
参加団体	1団体	1団体																																					
来場者数	380人	420人																																					
	令和6年度	令和5年度																																					
参加団体	12団体	10団体																																					
来場者数	524人	445人																																					
	令和6年度	令和5年度																																					
参加団体	4団体	3団体																																					
来場者数	48人	42人																																					
予算	<p>予算総額 322,500 円</p> <p>(内訳) 報償費 183,000 円 消耗品費 93,500 円 役務費 46,000 円</p>	決算	<p>決算総額 154,273 円</p> <p>(内訳) 報償費 66,000 円 消耗品費 69,243 円 役務費 19,030 円</p>																																				
評価	中央公民館は参加団体からの希望で展示期間を長くし作品を多くの方に見てもらった。新たな試みとして市役所関連課の協力を得て、防災コーナー、スマホ相談コーナーを開設し好評であった。川内公民館については来場者数が減少したものの、他イベントと同時開催するなど各館で活動活性化のための取組が図られている。																																						
課題	<p>会員の高齢化により、積極的に参加できない団体が増加している。今後は若い世代と交流できる機会が必要との意見があった。</p>	今後の方針	<p>参加団体を、公民館活動団体以外で公民館に関わりある機関にも呼びかけ、開催時期および実施形態についても見直しをしながら進める。</p>																																				

事業名	社会教育指導員配置事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、婦人教育分野についての直接指導及び学習相談、並びに社会教育関係団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。		
計画	○中央公民館に社会教育指導員を1人配置する。	実績・成果	○社会教育指導員1名配置 ○任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日 ○婦人学級や婦人会等女性団体の事業並びに青少年教育事業について指導・支援し各種教育の振興に効果的な役割を果たした。
予算	予算総額 2,202,000 円 (内訳) 報酬 1,881,000 円 職員手当等 297,000 円 旅費 24,000 円	決算	決算総額 2,609,864 円 (内訳) 報酬 2,186,011 円 職員手当等 399,853 円 旅費 24,000 円 ※決算総額のうち960,000円は電源立地地域対策交付金
評価	婦人活動及び子ども会活動、各団体の指導及び相談等を的確に行い、育成支援に寄与している。		
課題	関係団体の会員数が減少する中で、社会教育活動を継続していくために、社会教育指導員に期待される役割が大きくなっている。	今後の方針	以前ほど活発な活動が難しい団体に対応した適切な支援や、組織維持に重点を置いた支援を考えていく。

#### (4) 生涯学習関連機関等との連携促進

事業名	下北美術展の開催		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から書道、絵画、版画、写真の作品を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の出品作品を展示及び表彰する。下北美術展は、下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施する。		
計画	○児童・生徒の部 開催 (絵画、版画、書道)  ○高校・一般の部 開催 (絵画、写真、書道)	実績・成果	○児童・生徒の部 ・出品数：2,705点 ・入賞数：552点 ・展覧会 期間：令和6年8月3日～18日  ○高校・一般の部 ・出品数：77点(審査対象のみ) ・入賞数：29点 ・展覧会 期間：令和6年10月4日～14日
予算	予算総額 370,000 円 (内訳) 報償費 25,000 円 負担金 345,000 円	決算	決算総額 370,000 円 (内訳) 報償費 25,000 円 負担金 345,000 円

評価	<p>高校・一般の部は新規応募の方もあり、昨年度より応募数が増加した。表彰式後の入賞作品を前にして講評を聞く機会は好評であり、参加者に浸透してきた。</p>		
課題	<p>ここ数年、他町村での展覧会（移動展）が行われていない。作品保管及び展覧会開催のため講堂等を確保する日程の兼ね合いから、審査会から展覧会開始までが短期間であることから、目録等作成が大変困難である。</p>	<p>今後の方針</p>	<p>下北美術展は地域の芸術文化の振興に寄与することを目的とした事業であるため、久しく開催していない移動展覧会展以外に、広く下北管内の方々に、下北美術展を認知していただく手段を検討していく。</p>

事業名	<p>高等教育機関との連携</p>		
大綱施策	<p>2-(2)-②社会人の学び直しの推進</p>		
概要	<p>社会が大きく変わる中で、それに対応する新たな知識を得ることができるよう、市民大学一日体験入学や市内にある高等教育機関と連携しながら学びの場を提供する。</p>		
計画	<p>青森大学むつキャンパスを会場として市民大学公開講座を開催。</p>	<p>実績・成果</p>	<p>令和6年9月26日 会場：青森大学むつキャンパス 講師：青森大学 薬学部教授 清水 保明 氏 参加者：35人（市民大学聴講者数に含む）</p>
予算	<p>予算額 0 円</p>	<p>決算</p>	<p>決算額 0 円</p>
評価	<p>青森大学むつキャンパスにおいて健康食品に関する講座を対面方式で実施し、内容も大変分かりやすく、参加者から質問も多く好評であった。</p>		
課題	<p>市民の方にも大学の雰囲気を味わいながら講座を受けていただく機会ができたが、教室の大きさから、受入人数に限りがある。</p>	<p>今後の方針</p>	<p>青森大学むつキャンパス事務局と協議しながら、公開講座実施を継続していくが、むつ市にある他の高等教育機関での開催も検討していく。</p>

## ■ 公民館の重点項目の総括評価 ■

<p>公民館の主催事業の主なもの、成人事業である市民大学、公民館まつり、青少年事業であるこどもゼミナール、かきぞめ大会等があり、ほとんどの事業をほぼ予定どおり実施し、市民が望む学びの場を提供することができた。</p> <p>利用者数については、前年度より大幅に減少した。要因として、少子高齢化や人口減少、生涯学習の多様化により近年、団体・サークルの活動が減少してきたことや、団体・サークルの活動終了が相次いでいることが考えられる。公民館では多くの市民が参加しやすい自主事業の内容を検討し、可能な範囲で学習の場の確保に努め、公民館利用者にとって、安心安全で使いやすい施設とするため、修理や改修等、施設内の適正管理に努めていく。</p>
--

## 5 図書館

### ■ 具体的な取組の評価 ■

#### (1) 図書館の適正管理

事業名	図書館協議会の開催		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行うサービスについて館長に意見を述べる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館協議会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員定数：10人以内</li> <li>・任期：2年</li> </ul> </li> <li>○会議の開催と先進地視察の実施</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館協議会委員：9人               <ul style="list-style-type: none"> <li>・任期：令和5年5月1日～令和7年4月30日</li> </ul> </li> <li>○協議会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・辞令交付及び第1回協議会 令和6年5月22日</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 273,000 円 (内訳) 報酬 156,000 円 費用弁償 117,000 円	決算	決算総額 79,016 円 (内訳) 報酬 52,000 円 費用弁償 27,016 円
評価	協議会では、事業報告及び事業計画、特別展示や北日本図書館大会青森大会参加についての説明等を行った。各委員からは、クリーニングシェルターとシネマの利用状況の確認や、図書館事業の広報活動についての意見が出された。		
課題	図書館の事業や運営だけではなく、県内先進地図書館の多様な情報等を積極的に提供していくことが必要である。	今後の方針	定期的を開催し、様々な知見からの助言をいただく機会を確保し、地域に貢献できる図書館運営に努めていく。

#### (2) 資料の収集・保存と活用

事業名	資料の購入																																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																																						
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、視聴覚資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応じていく。																																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小説、思想・哲学、歴史、社会科学（法律、経済、教育等）、自然科学（物理・化学、医学等）、技術（工学、機械、家政等）産業、芸術の全ての分野を網羅した選書を行い、年鑑、白書、統計等、年度更新が必要な資料について、利用者のニーズに応じた購入を定期的に行う。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○購入数               <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般：1,451冊</li> <li>・児童：584冊</li> <li>・郷土：65冊</li> <li>・AV資料：30点</li> <li>・その他：7冊</li> </ul> </li> <li>○蔵書状況（令和7年3月31日）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>前年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>116,357</td> <td>115,155</td> <td>1,202</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>41,213</td> <td>40,544</td> <td>669</td> </tr> <tr> <td>郷土</td> <td>22,326</td> <td>21,976</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>非図書</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>図書計</td> <td>179,961</td> <td>177,740</td> <td>2,221</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>3,208</td> <td>3,132</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>AV</td> <td>3,806</td> <td>3,743</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>186,975</td> <td>184,615</td> <td>2,360</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度	前年度	増減	一般	116,357	115,155	1,202	児童	41,213	40,544	669	郷土	22,326	21,976	350	非図書	65	65	0	図書計	179,961	177,740	2,221	雑誌	3,208	3,132	76	AV	3,806	3,743	63	合計	186,975	184,615	2,360
	令和6年度	前年度	増減																																				
一般	116,357	115,155	1,202																																				
児童	41,213	40,544	669																																				
郷土	22,326	21,976	350																																				
非図書	65	65	0																																				
図書計	179,961	177,740	2,221																																				
雑誌	3,208	3,132	76																																				
AV	3,806	3,743	63																																				
合計	186,975	184,615	2,360																																				

予算	予算総額 4,800,000 円 (内訳) 備品購入費 4,800,000 円	決算	決算総額 4,943,874 円 (内訳) 備品購入費 4,943,874 円
評価	<p>損傷や劣化が激しい児童書等の更新、法改正や技術革新により現状にそぐわなくなっている社会科学・自然科学・技術分野の更新を計画的に進めている。また、データベースの活用についても段階的に進めており、利用者のニーズに応えることができている。</p>		
課題	<p>損傷や劣化が激しい資料の更新、現状にそぐわなくなっている分野の更新を継続していくため、選別作業の時間が必要である。</p>	今後の方針	<p>経過年数や各分野の蔵書構成を把握しながら、現状にそぐわなくなった分野の更新を計画的に行い、データベースの利活用を進めていく。</p>

事業名	寄贈資料受入		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	郷土資料の受け入れや、団体からの寄贈の申し出に対応するとともに、雑誌スポンサー制度を周知し、資料提供の機会を広げる。		
計画	<p>○寄贈資料の受領に関する取扱基準に基づき、受入処理を適切に行う。</p> <p>○雑誌スポンサー 雑誌の購入費用を負担してもらい、提供いただいた最新号のカバーにスポンサーの名称や広告を掲載する。</p>	実績・成果	<p>○寄贈の状況 1,547冊 (令和6年度に登録作業を行った過年度寄贈資料を含む)</p> <p>○団体寄贈 2団体 (寄贈品：図書、紙芝居)</p> <p>○雑誌スポンサー 2者(3誌)</p>
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	寄贈いただいた資料に関しては順次、資料登録を行い、地域の寄贈資料についても内容確認をしながら登録を行った。		
課題	<p>市民からの寄贈の申し出の多くが、受領基準に達しない図書のためお断りしている。雑誌スポンサーの新規申込みがない状態が続いている。</p>	今後の方針	<p>受領基準の説明とともに、その根拠についても明確に説明を行いつつ受け入れしていく。雑誌スポンサー募集の広報を継続していく。</p>

事業名	資料の貸出事業				
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進				
概要	図書館運営の基礎となる、資料の貸出をスムーズに行うとともに、利用者の利便性に配慮した特別貸出やリクエストの受付を行う。				
計画	<p>○蔵書点検や年末年始の休館中にも図書を読めるよう、特別貸出を実施する。</p> <p>○蔵書数の少ない分館の利用者へ本館と同様に図書館サービスが受けられるようリクエストサービスを受け付ける。</p>	実績・成果	<p>○蔵書点検による休館中に貸出期間を通常より1週間延長した。</p> <p>○利用状況（別表のとおり） 開館日数（本館） 令和6年度：322日 令和5年度：328日</p> <p>○リクエスト受付件数 川内分館 22件 大畑分館 205件 脇野沢分館 15件</p>		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円
評価	<p>セルフ貸出機の導入により、以前より資料の貸出がスムーズになった。また、インターネットから本の貸出延長が可能となったことにより電話での問い合わせが少なくなった。</p> <p>令和6年度は、システム改修のため開館日数が前年度より少なくなり、利用人数、貸出冊数の減に繋がったものと考えられる。</p>				
課題	セルフ貸出機に慣れない方への丁寧な説明や、新機能を知らない利用者への周知が必要である。	今後の方針	貸出機や読書推進の新機能の周知について、どのような手段が有効か検討し広報を行っていく必要がある。		

別表 各図書館等の利用状況

		6年度	5年度	増減
本館	利用人数	34,313	35,252	▲ 939
	貸出冊数	130,516	142,048	▲ 11,532
移動	利用人数	2,981	3,335	▲ 354
	貸出冊数	10,054	10,444	▲ 390
川内	利用人数	86	116	▲ 30
	貸出冊数	256	399	▲ 143
大畑	利用人数	327	278	49
	貸出冊数	703	744	▲ 41
脇野沢	利用人数	143	187	▲ 44
	貸出冊数	344	369	▲ 25

(令和7年3月31日現在)

(3) 図書館サービス活動の充実

事業名	図書館奉仕員配置事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	図書館奉仕員の有する技能・技術を市民対象の講習会等へ活用し、図書活動及び図書サービスの充実を図るため継続した任用を行う。また、図書館業務の中で最も重要であるレファレンス（調査相談業務）への対応を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館奉仕員を配置し、窓口サービスの充実を図る。</li> <li>○レファレンス（調査相談業務）への対応</li> <li>○図書館奉仕員を講師とした図書館ボランティア向け講習会を実施する。（ブックコート講習、修理講習）</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館奉仕員（会計年度任用職員）配置人数：15人</li> <li>○レファレンス件数：21件</li> <li>○ブックコート講習会 5月16日（木） 3名参加</li> </ul>
予算	予算総額 33,555,000 円 （内訳） 報 酬 28,484,000 円 職員手当 4,648,000 円 旅 費 423,000 円	決算	決算総額 38,807,105 円 （内訳） 報 酬 32,639,079 円 職員手当 5,628,406 円 旅 費 539,620 円 ※決算総額のうち14,920,000円は、電源立地地域対策交付金
評価	熟練した奉仕員が揃っているので利用者の要求に迅速に対応できている。講習会に関しても親切、丁寧な指導で参加者から好評を得た。		
課題	専門的なレファレンスサービスを求める利用者が増加傾向にあり、サービス強化を進めていく必要がある。	今後の方針	より良いサービスを提供できるよう情報共有しながら課内研修を行い、スキルアップを図る。

事業名	相互貸借事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	むつ市立図書館で所蔵していない資料を全国の図書館から借用して利用者へ貸出することで利用者のニーズに応える。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者のリクエストに応じ、県内外の図書館の所蔵を調査し、借用依頼する。</li> <li>○学習支援のため、希望する学校へ貸出する。</li> <li>○他の図書館からの借用依頼にも対応する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相互貸借件数 借受数 640点（49館） 貸出数 229点（35館）</li> </ul>
予算	予算総額 84,000 円 （内訳） 手数料 84,000 円	決算	決算総額 88,455 円 （内訳） 手数料 88,455 円
評価	リクエストサービス（予約含む）の一部を相互貸借で対応しており、他館と連携しながらリクエスト申込者のニーズに応えることができた。		
課題	電子版もある資料は、紙の本がすぐに入手困難となる傾向があるため、相互貸借でしかリクエストに応える手段がない場合が増加しつつある。	今後の方針	他図書館と連携を深めながらも、新刊のリクエストは相互貸借せず、購入対応するために、脆弱な分野の把握をしつつ図書購入費の予算確保に努める。

事業名	各種企画事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	各種事業を開催することで、図書館に親しんでもらう機会を提供し、読書意欲の向上と来館者の増加を目指す。		
計画	<p>○図書館展示ホールやあすなろホールを使用し、コンサートの開催やAV資料を活用した児童及び一般向け映画の上映会を開催するほか、川島雄三監督映画上映会も実施する。</p> <p>○貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリーや、図書の無料配布を主体としたブックフェスティバル等を開催する。</p>	実績・成果	<p>○日曜シネマ（毎月第2日曜日） 9回上映 参加者：257人</p> <p>○川島雄三WEEK ・企画展 「起点・川島雄三」 令和6年6月9日～16日 来館者：255人</p> <p>・上映会 令和6年6月9～16日 参加者：32人</p> <p>○スタンプラリー ・読書週間 参加者：453人 令和6年10月27日～11月30日</p> <p>○ブックフェスティバル 令和6年11月9日 参加者：649人 無料配布冊数：2,796冊</p>
予算	<p>予算総額 196,000 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 79,000 円</p> <p>映像資料上映許諾使用料 117,000 円</p>	決算	<p>決算総額 124,451 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 58,451 円</p> <p>映像資料上映許諾使用料 66,000 円</p>
評価	各種企画事業では、来館者の増加に繋がるよう工夫しながら計画、実施した。ブックフェスティバルにおいても、無料配布コーナーやトークイベント等を実施し好評であった。		
課題	来館者の増加に繋がるような魅力あるイベントを企画立案していく必要がある。	今後の	読書意欲の向上と来館者の増加を図るために、各種イベントの情報発信を積極的に実施していく。



川島雄三WEEK



児童展示

事業名	詩歌コンクール事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	詩、短歌、俳句、川柳の4部門において、創作に対する関心を高め、読書と創作のつながりを設けることと、読書意欲向上のため詩歌コンクールを実施する。		
計画	<p>○応募資格 むつ市内の小・中・高校生の方（むつ市に通学する方も含む）</p> <p>○応募方法 ・作品は未発表のオリジナル作品 ・各部門とも、小学生・中学生・高校生ごとに審査する。</p>	実績・成果	<p>○むつ市詩歌コンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間 令和6年8月1日～9月7日</li> <li>・応募作品数：1,354点</li> <li>・入賞作品数：170点</li> <li>・優秀作品展：令和7年2月5日～2月19日</li> </ul>
予算	<p>予算総額 144,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 104,000 円 消耗品費 40,000 円</p>	決算	<p>決算総額 136,988 円</p> <p>(内訳) 報償費 91,000 円 消耗品費 45,988 円</p>
評価	全体の応募数は減少傾向ではあるが、個々の感性が感じられる作品が多く入賞しており、読書と創作意欲の向上が少なからず図られているものととらえている。		
課題	<p>作品中に、剽窃や盗作と見られるものがあり、応募者への周知や倫理観の醸成が必要。</p> <p>応募作品が減少傾向にあるため、応募数を増やす手立てが必要である。</p>	今後の方針	<p>ネット環境の普及により、盗作や不適切な使い方をした応募作品が多くなっており、こうした作品を探しながら審査することが非常に難しくなっている。</p> <p>今後は、コンクールの在り方についても検討していく必要がある。</p>

事業名	集会施設の貸出事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	市民の身近な公共施設として、社会教育活動及び生涯学習の推進及び支援をする。		
計画	<p>○市民の社会教育及び生涯学習の活動場所を提供するため集会施設の貸出を行う。</p> <p>○猛暑による熱中症対策のため集会施設エリアを開放し市民に涼みどころを提供する。また、図書館独自でクーリングシネマを実施。</p>	実績・成果	<p>○集会施設の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会室：118回 1,378人</li> <li>・会議室：111回 767人</li> <li>・視聴覚ホール：17回 355人</li> <li>・展示ホール：23回 1,708人</li> </ul> <p>○クーリングシェルター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年7月7日～令和6年9月30日</li> <li>・利用者数：9,018人（延べ）</li> </ul> <p>○クーリングシネマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年7月7日～令和6年8月31日</li> <li>・利用者数：399人</li> </ul>
予算	<p>予算額 0 円</p>	決算	<p>決算額 0 円</p>
評価	熱中症対策のため、クーリングシェルターを設置。同時に単独事業でクーリンシネマ（映画上映）を開催しているが、利用者からは非常に好評である。		
課題	<p>年数がたつて古くなった機器及び備品について、安心して利用できるよう順次、計画的に整備する必要がある。</p>	今後の方針	<p>老朽化に伴い不具合箇所が多くなっている機器等を計画的に改修し、身近な市民の公共施設として活用できるよう努める。</p>

(4) 子どもの読書活動の推進

事業名	子育て・子ども向け事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	季節に関連した図書やテーマ展示を行い、子どもたちの読書活動の意欲を高める。図書館見学や映画上映会、工作教室を企画し、図書館に親しむ機会を増やし、読書推進へつなげる。		
計画	○子ども向けの特別展示・季節の展示	実績・成果	○特別展示:55回・季節の展示:12回 ○イースターエッグハント 令和6年4月20日 参加者:30人 ○ぬいぐるみお泊まり会 令和6年10月3日~12日 参加者:31体(31人) ○工作教室 令和7年2月16日 参加者:15人
予算	予算総額 36,000 円 (内訳) 消耗品費 36,000 円	決算	決算総額 40,868 円 (内訳) 消耗品費 40,868 円
評価	特別展示や季節の展示は好評で、展示している本の貸し出しも多く、利用者のニーズにあった内容になっている。また、児童特別展示では子どもたちの読書活動の意欲を高める内容となっているため人気があった。		
課題	時代の変化を捉え、利用者のニーズにあった展示の企画はやりがいがあるが難しさもある。また、事業全体がマンネリ化しないように留意する必要がある。	今後の方針	読書意欲の向上と子どもから大人まで親しみを持てるような事業展開を図る。

事業名	おはなし会等の開催		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催する。また、季節ごとに大規模なおはなし会も開催し、子どもたちの読書推進を図る。		
計画	○毎週土曜日開催 「土曜おはなし会」 ○季節の「おはなし会」 ・はるのひのおはなし会 ・あきのひのおはなし会 ・ふゆのひのおはなし会  ○国際交流員による英語の読み聞かせ (ムチュリーディング)	実績・成果	○「土曜おはなし会」 午前11時~11時30分 37回:231人 ○季節の「おはなし会」 ・はるのひのおはなし会 令和6年5月19日:24人 ・あきのひのおはなし会 令和6年10月12日:26人 ・ふゆのひのおはなし会 令和6年12月14日:13人 ○ムチュリーディング 第2土曜日7回:46人
予算	予算総額 79,000 円 (内訳) 消耗品費 79,000 円	決算	決算総額 18,000 円 (内訳) 消耗品費 18,000 円
評価	定期的に開催していることもあり、毎回、工夫しながら実施している。参加者には楽しみにしている方も多く、読書意欲の高揚に繋がった。		
課題	事業の安定的な運営も必要だが、読み手の世代交代を視野に入れての継続が必要である。	今後の方針	高校や大学との連携を図りながら、新たな読み手の育成と活動の場を提供する。

事業名	職場体験・見学の受け入れ				
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進				
概要	学校からの依頼により館内見学や利用体験、調べ学習の場として活用いただくとともに、職場体験学習の受け入れを積極的に行う。				
計画	○市内及び郡内等の学校及び幼稚園から図書館見学・職場体験学習を受け入れる。	実績・成果	○施設見学 ・小学校 (15校) : 332人 ・中学校 (2校) : 14人 ・高等学校(1校) : 10人 ・大学 (1校) : 11人 ○職場体験 (インターンシップ) ・中学校 (8校) : 14人 ・高等学校(1校) : 2人 ・大学 (1校) : 1人		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円
評価	職場体験、見学とも依頼があれば、日程を調整しながら可能な限り受け入れることができた。				
課題	職場体験の時期が重なり、各学校との調整に苦勞する場合がある。申込から受入まで十分な準備期間がなく担当者の負担が増加する傾向が見受けられる。	今後の方針	職場体験の申込み時期について、各学校へ準備期間の必要等、詳しい周知を図っていく。		



あきのひのおはなし会



移動図書館車でのおはなし会

(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進

事業名	移動図書館車の運行事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	本館から離れた遠隔地に居住する市民へ移動図書館車を運行する。また、市内の公園、イベントへ出張し図書館資料の利用拡大を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小・中学校、幼稚園、保育所、公民館、集会所等20ステーションに2週間おきに運行する。</li> <li>○運行期間 5月～12月まで（120日間）</li> <li>○出張図書館 夏休みの特別運行 イベント、行事への参加</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運行期間 令和6年5月～12月（120日間）</li> <li>○利用人数：2,981人（延べ）</li> <li>○貸出冊数：10,054冊</li> <li>○出張移動図書館車イベント特別出張 おはなし会、工作コーナー、本の貸出 「ひと涼み」7/21：下北文化会館 「MGF2024」10/19～20：しもきた克雪ドーム 「codama（コダマ）」10/27：薬研地区</li> </ul>
予算	予算総額 1,382,000 円 (内訳) 需用費 340,000 円 役務費 40,000 円 委託料 967,000 円 公課費 35,000 円	決算	決算総額 1,364,047 円 (内訳) 需用費 385,550 円 役務費 40,060 円 委託料 903,437 円 公課費 35,000 円
評価	「ブックラン♪」（新移動図書館車）は、各種イベントにおいて非常に好評である。市内の集会施設を新たに追加し巡回したことにより、図書館の宣伝効果も向上している。		
課題	子どもたちの読書意欲を向上させるために、ニーズにあった本を選書する必要がある。また、一般図書についても同様である。	今後の方針	遠隔地にこだわらず、要望への対応を検討しながら、新規ステーションの開拓に努める。また、「人と本でつながるまちづくり事業」と合わせ新規事業の検討にも努める。



移動図書館車（薬研地区）



移動図書館車（下北文化会館）

事業名	図書館ボランティア事業														
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進														
概要	本の温もりを地域に届ける「人と本をつなげるまちづくり」を進めるにあたり、地域と図書館の架け橋となる図書館ボランティア活動の推進を図る。														
計画	○ボランティア活動 ①個人参加 ・返却本の配架 ・本の修理 ②団体参加 ・読み聞かせ	実績・成果	○ボランティア活動 ・土曜おはなし会を実施する読み聞かせ団体の他、新たに個人ボランティアの募集をし、活動を支援した。 <table border="1" data-bbox="901 504 1407 766"> <tr> <td></td> <td>個人参加</td> <td>団体参加</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td>返却本の配架 本の修理</td> <td>読み聞かせ (おはなし会)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>9人</td> <td>3団体 (計16人)</td> </tr> <tr> <td>活動回数</td> <td>延べ329回</td> <td>39回</td> </tr> </table>		個人参加	団体参加	活動内容	返却本の配架 本の修理	読み聞かせ (おはなし会)	参加者	9人	3団体 (計16人)	活動回数	延べ329回	39回
	個人参加	団体参加													
活動内容	返却本の配架 本の修理	読み聞かせ (おはなし会)													
参加者	9人	3団体 (計16人)													
活動回数	延べ329回	39回													
予算	予算総額 4,000 円 (内訳) 需用費 0 円 保険料 4,000 円	決算	決算総額 2,800 円 (内訳) 需用費 0 円 保険料 2,800 円												
評価	本の好きな方々が応募してくださり図書館の仕事をお手伝いいただく事業であるが、個人参加、団体参加ともに、図書館の運営において大きな支援となっている。														
課題	読み聞かせボランティアの活動は、図書館や各学校等からの依頼も多く、ボランティア団体の負担が増加傾向にある。	今後の	ボランティア向けの研修内容を充実させ、図書館内活動等を協働で行うことができる新たな人材を育成していく。												



おはなし会

■ 図書館の重点項目の総括評価 ■

図書館ICT化事業実施により、セルフ貸出をメインに読書推進機能を強化する等、利用者の利便性と読書環境の充実に努めた。蔵書については適切な資料等の整備を行い蔵書の充実に務めたが、部分的にしかできていない分野もあり、今後も継続していく必要がある。主催事業や子どものための事業においては、より多くの方々に参加していただけるように、企画内容の検討も踏まえ事業を実施してきた。更新した移動図書館車を積極的に活用し、新規ステーションを開拓しており、図書館資料の利用拡大に繋げることができている。

## 6 地域クラブ企画推進課

### ■ 具体的な取組の評価 ■

#### (1) クラブの運営

事業名	地域文化・スポーツクラブ推進事業																																																								
大綱施策	2-(1)-①スポーツ活動の推進、2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																																																								
概要	<p>令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁から新たに公表されたガイドラインでは、令和5年度から令和7年度末までを改革推進期間として位置づけ、休日の中学校の運動部活動及び文化部活動の地域への移行を可能な限り早期の実現を目指すこととしている。このため、令和5年度より中学校部活動の段階的な地域移行を進めながら、令和7年度末までの完全移行を目指すとともに、令和8年度からの運営について検討していく。</p>																																																								
計画	<p>令和5年度に地域移行したサッカー、柔道、水泳、文化クラブ（吹奏楽を除く）の運営を行いながら、各関係団体及び関係者と協議を行い、令和6年度には下記の部活動の地域移行を行う。</p> <p>&lt;令和6年度の地域移行&gt; 吹奏楽、陸上、ソフトボール、バドミントン、剣道</p>	実績	<p>○計画した5つの部活動の地域移行の実施 ○各種協会等との意見交換 ○生徒・保護者向けの説明会 ○令和7年度に地域移行する部活動の検討及び公表</p> <p>&lt;令和7年度の地域移行&gt; 野球、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール、卓球、スキー</p>																																																						
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>190,632,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬等</td> <td>38,664,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費・費用弁償</td> <td>3,017,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>70,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>46,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>300,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>300,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>148,235,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	190,632,000	円	(内訳)			報酬等	38,664,000	円	旅費・費用弁償	3,017,000	円	需用費	70,000	円	役務費	46,000	円	使用料及び賃借料	300,000	円	備品購入費	300,000	円	負担金	148,235,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>185,682,498</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬等</td> <td>34,550,785</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費・費用弁償</td> <td>2,495,240</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>69,347</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>33,006</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>6,630</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>292,490</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>148,235,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	185,682,498	円	(内訳)			報酬等	34,550,785	円	旅費・費用弁償	2,495,240	円	需用費	69,347	円	役務費	33,006	円	使用料及び賃借料	6,630	円	備品購入費	292,490	円	負担金	148,235,000	円
予算総額	190,632,000	円																																																							
(内訳)																																																									
報酬等	38,664,000	円																																																							
旅費・費用弁償	3,017,000	円																																																							
需用費	70,000	円																																																							
役務費	46,000	円																																																							
使用料及び賃借料	300,000	円																																																							
備品購入費	300,000	円																																																							
負担金	148,235,000	円																																																							
決算総額	185,682,498	円																																																							
(内訳)																																																									
報酬等	34,550,785	円																																																							
旅費・費用弁償	2,495,240	円																																																							
需用費	69,347	円																																																							
役務費	33,006	円																																																							
使用料及び賃借料	6,630	円																																																							
備品購入費	292,490	円																																																							
負担金	148,235,000	円																																																							
評価	<p>既に地域移行していたクラブの運営を行いながら、予定どおり吹奏楽クラブを含めた5クラブの地域移行が完了した。また、関係団体等と協議を深めながら、令和7年に移行するスポーツのクラブ設立準備を整えることができた。</p>																																																								
課題	<p>活動の核となる指導者や活動場所の確保に努めなければならない。 令和8年度以降のクラブ運営の方針について検討を深める必要がある。</p>	今後の方針	<p>引き続きクラブの円滑な運営に努める。 令和7年度に全ての部活動を地域移行する目処が立っており、今後は適切な運営及び運営方針について検討していく。</p>																																																						

事業名	下北Project		
大綱施策	2-(1)-①スポーツ活動の推進、2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	プロ選手を招聘したスポーツ教室を開催し、子どもたちの夢を応援するとともに、大人を対象とした講習会を開催し地域の指導者育成・確保に努める。また、イベント等の開催を通して、活動人口、交流人口の増加を目指す。		
計画	○指導者講習会等開催  ○有名スポーツ選手等招聘	実績	○むつ☆かつ指導者更新研修会 中尾睦宏（昭和大学教授、ストレスマネジメント研究所所長） 参加者：80人  ○下北Project「バレーボール教室」 大山加奈、佐藤あり紗 参加者：100人
予算	予算総額 4,320,000 円 (内訳) 委託料 4,320,000 円	決算	決算総額 3,795,000 円 (内訳) 委託料 3,795,000 円
評価	指導者更新研修会では、心療内科医の講義により、ストレスマネジメントの観点から受講者の資質向上を図ることが出来た。また、バレーボール教室ではトップレベルの選手の指導により基礎力の向上や地域クラブ立ち上げに際し気運を高めることが出来、概ね良好と判断する。		
課題	むつ☆かつでは多種目のスポーツクラブを運営しているが、予算の都合上1年で1つのクラブしかスポーツ教室等を開催することが出来ない。	今後の方針	引き続き予算の範囲内で事業の継続をしていきたい。

### ■ 地域クラブ企画推進課の重点項目の総括評価 ■

<p>令和5年度から開始した中学校部活動の地域移行は、令和7年度には完了する目処がたっており、当初の目標を達成している。今後は、中学生以外の年代の取組や持続可能な運営方法について検討する必要がある。</p> <p>下北Projectでの事業は、参加者から好評であり、引き続き事業を継続することにより、生徒の意欲向上やスキルアップ、そして、指導者の育成等に努めていきたい。</p>
---

## 点検・評価対象事務事業一覧（令和6年度の実績）

担当課	実施事業	むつ市教育大綱における施策内容
総務課	<b>(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備</b>	
	スクールバス運行管理事業	
	GIGAスクール端末等購入事業	1-(1)-③主体的な学習の推進
	校務用パソコン等購入事業	1-(1)-③主体的な学習の推進
	学校情報通信環境管理運営事業	1-(1)-③主体的な学習の推進
	小学校整備事業（第二田名部小学校オイルタンク改修工事）	
	小学校整備事業（第一田名部小学校駐車場整備工事）	
	小学校冷房設備整備事業	
	小学校環境整備事業（市立小学校トイレ改修事業）	
	中学校整備事業（田名部中学校駐輪場設置事業）	
	中学校冷房設備整備事業	
	中学校環境整備事業（市立中学校トイレ改修事業）	
	<b>(2) 教職員の適正・適切な配置</b>	
	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	
	<b>(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編</b>	
	むつ市通学区域審議会の設置	
	<b>(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討</b>	
	学校規模適正化のための地域説明会等の開催	1-(2)-②安全・防災教育の推進
	<b>(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助</b>	
	要保護児童生徒援助事業	
	準要保護児童生徒援助事業	
	医療的ケア児童生徒就学支援事業	1-(3)-②特別支援教育の充実
	特別支援教育就学奨励事業	1-(3)-②特別支援教育の充実
	<b>(6) コミュニティ・スクール制度の推進</b>	
	学校運営協議会の設置	1-(4)-②コミュニティ・スクールの推進
	<b>(7) 奨学金制度の充実</b>	
	奨学金貸付事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進
	むつ市大学医学部修学助成金交付事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進
	<b>(8) 学校保健の充実</b>	
	健康診断委託事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり
	学校医委託事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり
	学校災害共済給付事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり
	学校災害入院補償事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり
<b>(9) 学校給食の充実</b>		
学校給食管理事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	
学校給食設備整備事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	
（仮称）防災食育センター建設事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	
学校給食費無償化事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	
給食弁当代替者支援事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	
<b>(10) 教職員の働き方改革の推進</b>		
校務支援システム導入事業		
時間外電話切替機導入事業		
生涯学習課	<b>(1) 生涯学習の推進</b>	
	社会教育委員の設置	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	社会教育指導員による学習支援	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	二十歳の集い	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	<b>(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進</b>	
	地域学校協働活動推進事業	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成
	<b>(3) 社会教育施設の機能充実</b>	
	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	むつ市下北自然の家の管理・運営	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	<b>(4) 芸術・文化活動の奨励と振興</b>	
むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	
東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	

担当課	実施事業	むつ市教育大綱における施策内容
生涯学習課	<b>(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用</b>	
	むつ市の芸術、文化団体、民俗芸能の保存と伝承等支援事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	文化財・自然その他調査事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	文化財保護審議会の設置	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	文化財収蔵庫の管理・運営	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	北の防人大湊に関すること（ガイド活動支援等）	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	埋蔵文化財発掘調査事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	文化財保護、保存管理事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	重要文化財保存修理事業（二枚橋2遺跡出土品） // （旧大湊水源地水道施設）	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
学校教育課	<b>(1) 質の高い教育課程の創造</b>	
	むつ市学校教育プラン検証委員会開催	1-(1)-①明確な目標設定
	指導の方針と重点に関する指導・支援事業	1-(1)-①明確な目標設定
	児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進
	学校支援員配置事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進
	<b>(2) 学力向上対策の充実</b>	
	学力向上に向けた協議会開催	1-(1)-③主体的な学習の推進
	総合学力調査・知能検査実施	1-(1)-①明確な目標設定
	新聞を活用した学習への支援	1-(1)-②教員の資質向上
	<b>(3) ICTを活用した教育活動の充実</b>	
	ICT推進事業	1-(1)-③主体的な学習の推進
	オンライン活用事業	1-(1)-③主体的な学習の推進
	デジタル教育推進事業	1-(1)-③主体的な学習の推進
	学習者用デジタル教科書配備事業	1-(1)-③主体的な学習の推進
	<b>(4) 教育研修センター講座等の充実</b>	
	教職員研修講座開設	1-(1)-②教員の資質向上
	<b>(5) 幼・保・小連携及び小中一貫教育の充実</b>	
	小中一貫教育の充実	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進
	<b>(6) 大学との連携強化</b>	
	教育研修センター講座等連携	1-(1)-②教員の資質向上
	学生との交流	1-(1)-③主体的な学習の推進
	高等教育機関等との連携	1-(3)-④高等教育機関との連携
	<b>(7) 健康教育・安全教育の充実</b>	
	「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり
	<b>(8) キャリア教育の充実</b>	
	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業	1-(3)-①キャリア教育の充実
	関係機関との連携	1-(3)-①キャリア教育の充実
	むつ市こども議会	1-(3)-①キャリア教育の充実
	むつ市子ども夢育成基金	2-(1)-①スポーツ活動の推進
	<b>(9) 特別支援教育の充実</b>	
	スクールサポーター配置	1-(3)-②特別支援教育の充実
	むつ市特別支援教育推進委員会開催	1-(3)-②特別支援教育の充実
	<b>(10) 国際化に対応する教育と郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進</b>	
	外国語指導助手配置	1-(3)-①キャリア教育の充実
	Enjoy English for Elementary、All English Day for JHS実施	1-(3)-①キャリア教育の充実
	むつ市ジュニア大使派遣	1-(3)-①キャリア教育の充実
	中華民国陽明国民中学との友好交流	1-(3)-①キャリア教育の充実
	ジオパーク体験活動推進	1-(4)-①ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育
	<b>(11) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化</b>	
	むつ市いじめ問題対策委員会開催	1-(3)-③豊かな心の育成
	<b>(12) 教育相談活動の充実</b>	
	むつ市教育相談室開設	1-(3)-③豊かな心の育成
「新たな学びの場」検証事業	1-(3)-③豊かな心の育成	

担当課	実施事業	むつ市教育大綱における施策内容
(公民館 中央、 川内、 大畑、 脇野沢)	(1) 公民館の適正管理と運営の充実	
	公民館運営審議会の開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	公民館の適正管理	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	地区公民館・分館の管理運営	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	(2) 公民館事業の推進	
	青少年教育事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	かきぞめ大会の開催	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	市民大学及び成人教育事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	分館地域づくり講座開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	(3) 社会教育関係団体等の育成支援	
	各団体への指導・助言及び支援	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成
	公民館まつりの開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	社会教育指導員配置事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	(4) 生涯学習関連機関等との連携促進	
下北美術展の開催	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	
高等教育機関との連携	2-(2)-②社会人の学び直しの推進	
図書館	(1) 図書館の適正管理	
	図書館協議会の開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	(2) 資料の収集・保存と活用	
	資料の購入	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	寄贈資料受入	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	資料の貸出事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	(3) 図書館サービス活動の充実	
	図書館奉仕員配置事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	相互貸借事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	各種企画事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	詩歌コンクール事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	集会施設の貸出事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
	(4) 子どもの読書活動の推進	
	子育て・子ども向け事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進
おはなし会等の開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	
職場体験・見学の受け入れ	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	
(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進		
移動図書館車の運行事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	
図書館ボランティア事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	
企画 地域 推進 クラブ	(1) クラブの運営	
	地域文化・スポーツクラブ推進事業	2-(1)-①スポーツ活動の推進 2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実
	下北Project	2-(1)-①スポーツ活動の推進 2-(1)-②生涯を通じた学びの推進